

はっらっ岡谷スポーツプラン

第3次岡谷市スポーツ推進計画

スポーツで 笑顔あふれる 元気なまち



2025年度 - 2028年度

岡谷市教育委員会

はじめに

人生100年時代と言われるなかで、生涯を通じてスポーツに親しむことは、体を動かす爽快感だけでなく、体力の維持増進、健康寿命の延伸など、心身の健康に大きな役割を果たすとともに、人生をより豊かにするうえで必要不可欠なものであります。

本市では、令和2年3月に第2次岡谷市スポーツ推進計画「はつらつ岡谷スポーツプラン」を策定し、市民ひとり1人スポーツの実現をめざしながら、安全、安心なスポーツ環境の充実を図るための施設整備などを推進してまいりました。

この期間中、新型コロナウイルス感染症の影響により、当たり前に行っていたスポーツ活動は大きく制限され、体力の低下を招くとともに、仲間との交流の機会が減少するなど、さまざまなストレスを感じた方も多かったのではないのでしょうか。同時に、スポーツのもつ力や素晴らしさが、私たちの日々の生活や社会に活力を与えることを改めて認識する機会となり、市民生活の向上のため、スポーツが果たす役割に期待が高まっています。

また、近年、ライフスタイルの多様化や少子高齢化の進行、子どもの体力の低下、中学校運動部活動の地域クラブ活動への移行など、本市のスポーツを取り巻く環境は大きく変化してきています。

こうした状況を踏まえ、「スポーツで笑顔あふれる元気なまち」を基本理念に掲げた「第3次岡谷市スポーツ推進計画」を新たに策定しました。

本計画は、第2次計画の基本的な考え方を継承しつつ、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の3つの視点から、多様なニーズに対応したスポーツ環境の充実を図るとともに、プロスポーツチームとの連携を通じて新たなスポーツ機会を創出するなど、市民一人ひとりが笑顔で元気に、はつらつとした暮らしを送ることができるよう願いを込めた計画としております。

さらに、本計画の最終年となる令和10年には、第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会が長野県で開催されることから、本市においても大会の開催に必要なスポーツ施設の改修等を進めながら、市民のスポーツに対する機運を高め、喜びや感動をもたらす魅力ある大会にしてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただいた「岡谷市スポーツ推進計画策定委員」の皆様をはじめ、多くの皆様に心から感謝を申し上げますとともに、本市のスポーツ推進に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

令和7年3月

岡谷市教育委員会
教育長 宮坂 享



目次

第1章 計画の基本的な考え方

1	計画策定の趣旨と背景	1
2	計画の性格と位置づけ	2
3	計画の期間	3
4	国、県の方針	4

第2章 スポーツ環境の現状と課題

1	岡谷市の現状	5
2	岡谷市民のスポーツに関する意識調査	8
3	第2次岡谷市スポーツ推進計画における総括評価	14
4	岡谷市のスポーツ振興における課題	16

第3章 計画の基本理念とこれからの施策展開

1	計画の基本理念	19
2	第3次岡谷市スポーツ推進計画施策展開体系表	20
	【基本目標1】市民ひとり1スポーツの実現	22
	【基本目標2】競技力の向上	25
	【基本目標3】子どものスポーツ機会の充実	27
	【基本目標4】スポーツ環境の整備・充実	30
	【基本目標5】第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会の推進	33

第4章 計画の推進体制と評価

1	計画の推進体制	35
2	計画の検証と評価	35
3	計画の見直し	35

資料編

	資料編	36
--	-----	----

第1章 計画の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨と背景

スポーツは、「する」ことによって楽しさや喜びに加え、体力向上やストレス発散など心身の両面にわたる健康増進に重要な役割を果たしています。

本市では、平成27年3月にスポーツの推進に関する具体的施策を定めた岡谷市スポーツ推進計画を策定、令和元年3月にはその内容を継承した第2次岡谷市スポーツ推進計画を策定し、「スポーツに親しみ 夢と感動が生まれるまち」を基本理念に、様々な施策に取り組んできました。

しかし、令和2年から急速に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ活動を含めたすべての社会経済活動が制限され、体力の低下や精神的抑圧の増加、スポーツを通じた地域交流の減少など、私たちの日常生活に様々な影響を及ぼしました。

一方で、スポーツには、日常生活や社会に活力を与えるなど優れた力や重要な価値があることを再認識する機会となりました。

このようななか、国においては、令和4年3月に「第3期スポーツ基本計画」を策定し、国民がスポーツを「する」「みる」「ささえる」ことを真に実現できる社会をめざすため、「つくる／はぐくむ」「あつまり、ともに、つながる」「誰もがアクセスできる」の3つの新たな視点を取り入れ、スポーツの価値を高める施策を推進するとしています。

また、長野県においても、令和5年3月に「スポーツの力で切り拓く長野県の未来」を基本理念とした「第3次長野県スポーツ推進計画」を策定し、今後のスポーツ振興のために必要な具体的施策が定められました。

本市では、第2次計画の計画期間満了にあたり、本市のスポーツを取り巻く現状や課題を踏まえ、さらなるスポーツ振興と充実を図るため、国の「第3期スポーツ基本計画」や県の「第3次長野県スポーツ推進計画」を参考に、第2次計画を見直すとともに、令和10年に長野県で開催予定の第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会(信州やまなみ国スポ・全障スポ)を見据えながら「第3次岡谷市スポーツ推進計画」を策定します。

※本計画においての「スポーツ」とは、国の第3期スポーツ基本計画にも示されているとおり、競技スポーツに加え、散歩、ダンス、健康体操、サイクリングや、スポーツ・レクリエーション活動等、目的を持った身体活動を含むものとし、文化としての身体活動を意味する広い概念として使用しています。

さらに、「する」スポーツだけでなく、観戦等の「みる」スポーツや、審判、ボランティア活動等の「ささえる」スポーツなどもスポーツ活動として捉えています。

2 計画の性格と位置づけ

本計画はスポーツ基本法（平成 23 年法律第 78 号）第 10 条第 1 項に基づき、第 5 次岡谷市総合計画後期基本計画と第 3 期岡谷市教育大綱の個別計画と位置づけ、今後の本市のスポーツ振興に必要な具体的施策を示した推進計画とします。

第 5 次岡谷市総合計画後期基本計画

～人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷～
【教育・文化の施策方針】 未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち

教育施策
の大綱

第 3 期岡谷市教育大綱

【教育理念】 自立し共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり

個別計画

《スポーツ》

第 3 次岡谷市スポーツ推進計画
(はつらつ岡谷スポーツプラン)

《参考》 スポーツ基本法

【国】 第 3 期スポーツ基本計画

【県】 第 3 次長野県スポーツ推進計画

相
互
連
携

教育施策
を推進

《学校教育》

岡谷市魅力と活力ある
学校づくり推進プラン

《生涯学習》

岡谷市生涯学習推進計画
(岡谷市学びの紡ぎ応援プラン)

教育振興基本計画

3 計画の期間

令和7(2025)年度を初年度とし、令和10(2028)年度を目標年度とする4年間の計画とします。
 なお、計画期間内に社会情勢の変化などにより、新たに計画に盛り込むべき事項が発生した場合は、必要に応じて見直しを検討するものとします。

- ・第2次計画の期間
 令和2年度～令和6年度の5年間
- ・第3次計画の期間
令和7年度～令和10年度の4年間

[理由]

岡谷市スポーツ推進計画は、国・県の計画期間と同様に5年間の計画としていますが、計画基となっている岡谷市総合計画及び岡谷市教育大綱と計画期間が1年異なることから、教育に関する施策をより効果的に推進するため、本計画の期間を4年間とし、調整することとします。

【計画の位置づけ】

	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)
国	第3期スポーツ基本計画(2022～2026)					
県	第3次長野県スポーツ推進計画(2023～2027)					
市			第3次岡谷市スポーツ推進計画(2025～2028)			
市総合計画		第5次岡谷市総合計画後期基本計画(2024～2028)				
市教育大綱		第3期岡谷市教育大綱(2024～2028)				

4 国、県の方針

○国の動向

第3期スポーツ基本計画

第3期スポーツ基本計画は、令和4年度から令和8年度までの5年間の計画であり、今後のスポーツのあり方を見据えて国等が取り組むべき施策や目標を定め、東京オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーの継承・発展や新たな視点として、スポーツを「つくる／はぐくむ」、スポーツで「あつまり、ともに、つながる」、スポーツに「誰もがアクセスできる」という3つを取り入れた施策を推進するとしています。

○県の動向

第3次長野県スポーツ推進計画

県では、令和5年3月に策定した「第3次長野県スポーツ推進計画」において、スポーツの持つ力や価値を活用し、県民一人ひとりの生活や心がより豊かになるといった「ウェルビーイング」の実現をめざし、県が推進していくスポーツの施策を明らかにするべく、基本理念「スポーツの力で切り拓く長野県の未来」としてスポーツ推進計画を推進しています。

○SDGs(持続可能な開発目標)の視点を踏まえた計画の推進

SDGs(持続可能な開発目標)は、令和12(2030)年までに達成をめざす国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓っています。スポーツ庁はSDGsの達成にスポーツで貢献しようという姿勢を示しており、スポーツの持つ、人々を巻き込む力や人を集める力を活用し、SDGsの認知度向上や社会におけるスポーツの価値の向上に取り組むとしています。

本市がめざすスポーツ推進計画の方向性と重なる部分も多いことから、本計画ではSDGsの目標達成に向けた取組を推進します。

持続可能な世界を実現するための17のゴール

岡谷市のスポーツ振興における目標



第2章 スポーツ環境の現状と課題

1 岡谷市の現状

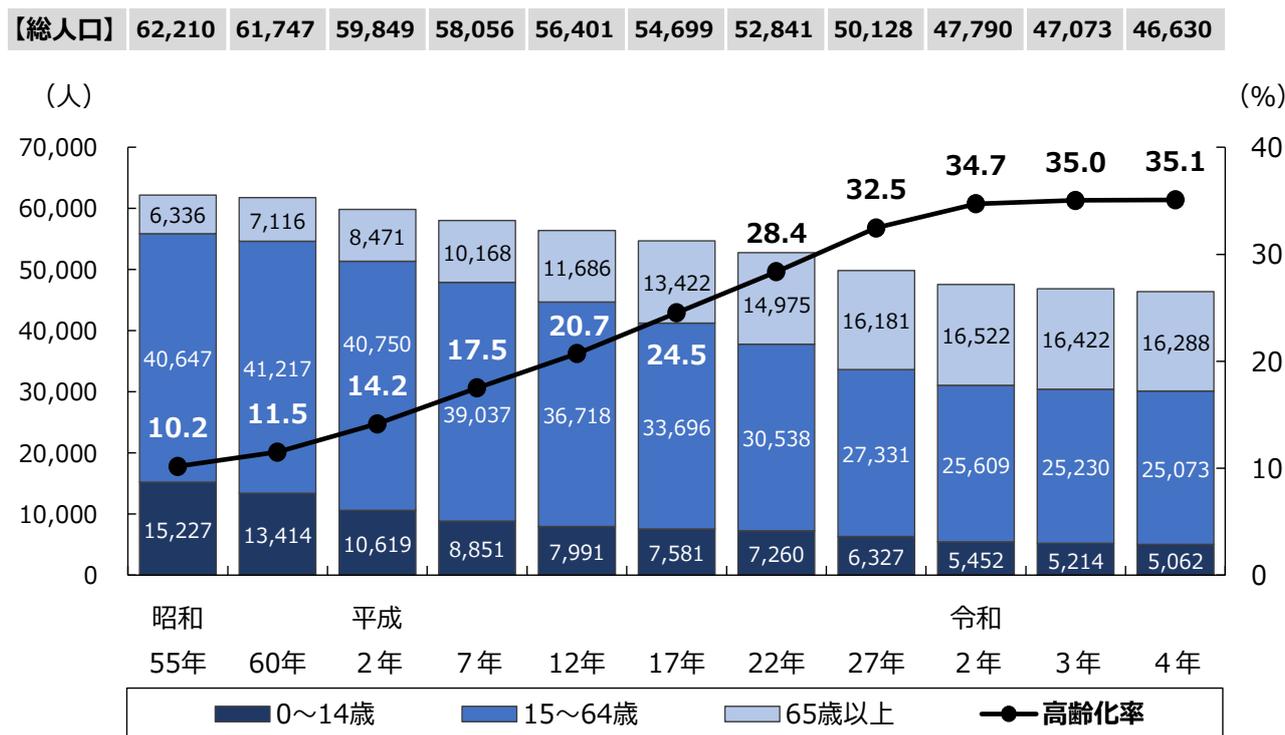
(1) 岡谷市の人口動態

現在、全国的に人口減少及び高齢化が課題となっているなか、本市においても15歳未満の人口は減少傾向が続く一方で65歳以上の人口は増え続けており、高齢化率は上昇しています。

生産年齢人口の減少により、市民生活や地域社会全体においても社会保障制度や生活インフラの維持が困難になるなどの影響を及ぼすことが見込まれ、地域の担い手不足を招き、本市全体の活力が低下していくことが課題となってきます。今後、この人口構造の変化への対応として、地域やまちの機能や活力等の増進、安心して結婚や出産、子育てができる環境の充実、日常生活を支える基盤の確保、地域の支えあいの強化や産業の担い手確保などが重要となります。

スポーツの分野においても、日常生活を健康に過ごすために、利用者のニーズに合わせたスポーツ機会の維持、創出に取り組む必要があります。

〇年齢3区分別人口の推移と高齢化率（第5次岡谷市総合計画後期基本計画から抜粋）



※総人口には年齢不詳者を含む。

※高齢化率は年齢不詳者を除いた総人口を分母とする。

【出典】国勢調査、毎月人口異動調査（令和3年以降各年10月1日現在）

(2) スポーツ施設の利用状況

本市では、岡谷市民総合体育館をはじめとした7つのスポーツ施設を所有するとともに、市内小中学校の体育館や校庭を市民の方に開放しています。

令和5年度施設利用者数の合計は35万7,917人となっており、コロナ禍による利用者減の影響を受けましたが、現在はスポーツ活動も再開され、活発化してきています。

しかし、コロナ禍前の令和元年度と比較すると5万8,931人の減少となっており、各施設とも回復に至っていない状況のため、さらなる利用促進に努めていく必要があります。

○岡谷市のスポーツ施設利用状況(利用者数)

(単位：人)

施設名		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市民総合体育館		173,552	98,846	102,762	120,949	158,212
市民水泳プール		41,698	31,933	33,383	26,927	33,319
市営庭球場		37,869	27,256	33,568	34,021	32,843
市営岡谷球場		12,675	5,688	6,370	7,680	8,983
湖畔広場		11,252	4,394	6,260	4,429	9,078
川岸スポーツ広場		4,397	2,715	1,239	2,187	3,238
やまびこ 国際スケートセンター		24,365	18,038	11,182	14,700	13,703
学校 体育 施設	体育館	82,849	43,202	47,160	52,017	79,400
	校庭	28,191	19,740	16,276	18,546	19,141
	小計	111,040	62,942	63,436	70,563	98,541
合計		<u>416,848</u>	<u>251,812</u>	<u>258,200</u>	<u>281,456</u>	<u>357,917</u>

○岡谷市のスポーツ施設一覧(岡谷市スポーツ施設条例によるもの)

No	施設名		建設年月	所在地	規模	
1	岡谷市民総合体育館	西体育館 (スワンドーム)	H11.3	岡谷市南宮 3-2-1	4,617.52 m ²	
		東体育館	S50.3 (改修H11.8)		4,322.47 m ²	
2	岡谷市民水泳プール		S56.3 (改修R5.4)		2,940.8 m ²	
3	岡谷市営庭球場		S60.11 (改修R6.12)		8,779.7 m ²	
4	市営岡谷球場		S24.8 (改修S61.9)		岡谷市神明町 1-1-1	37,917 m ²
5	岡谷市民スポーツ広場	湖畔広場	S61.8		岡谷市湖畔 4-10020-11	18,260 m ²
6		川岸スポーツ広場	S55.10 (改修H9.3)		岡谷市川岸上 3-1945-14	11,286.55 m ²
7	岡谷市やまびこ 国際スケートセンター		H6.9	岡谷市内山 4769-14	148,724.84 m ²	

2 岡谷市民のスポーツに関する意識調査

本計画の策定にあたり、市民の運動やスポーツについての考えや意見を伺い、今後の施策や事業に反映させることを目的に「スポーツ振興に関するアンケート調査」を実施しました。

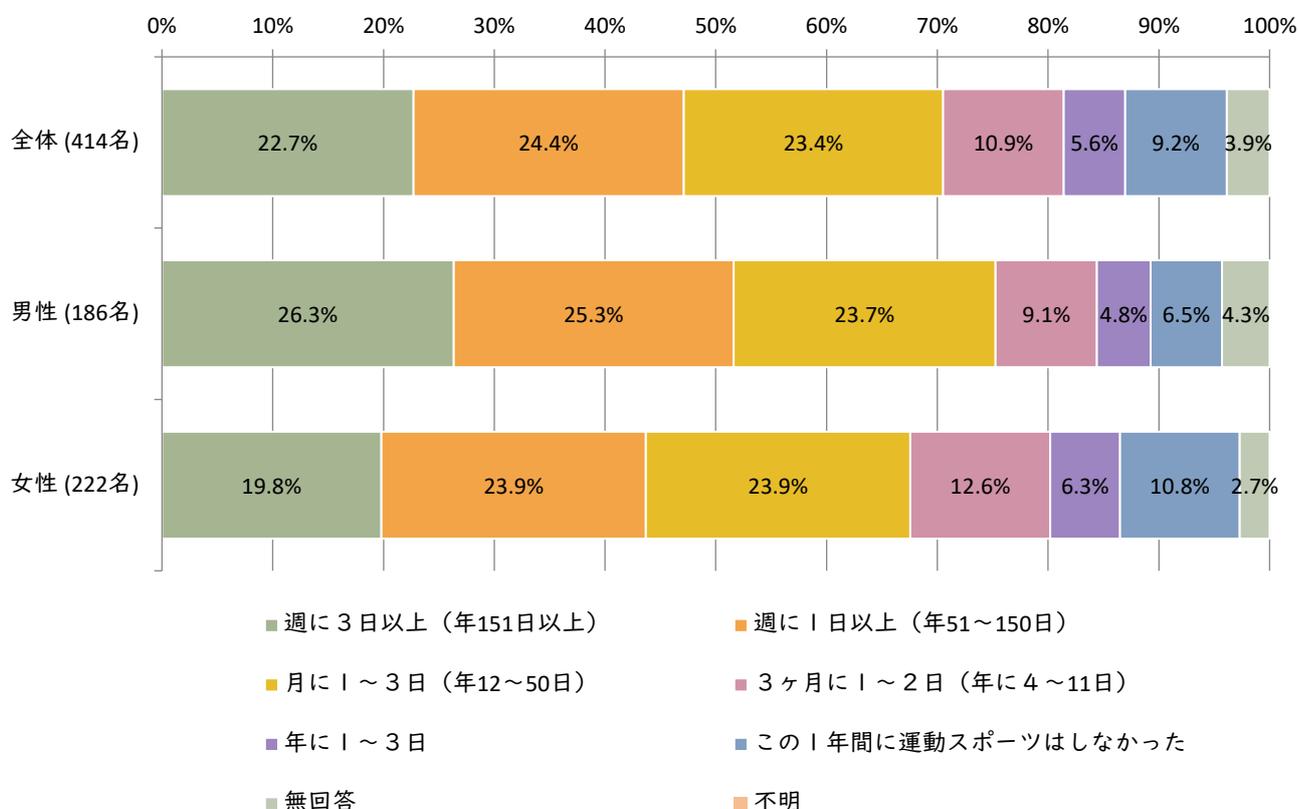
調査対象	岡谷市在住の満18歳以上の1,000人(住民基本台帳から無作為抽出)
調査方法	郵送による配布、郵送または電子アンケートによる回収
調査期間	令和6年7月16日(火)から8月5日(月)まで
回収状況	回収数414票(回収率41.4%)

(1) スポーツや運動の実施状況

① 1年間に運動・スポーツした日数

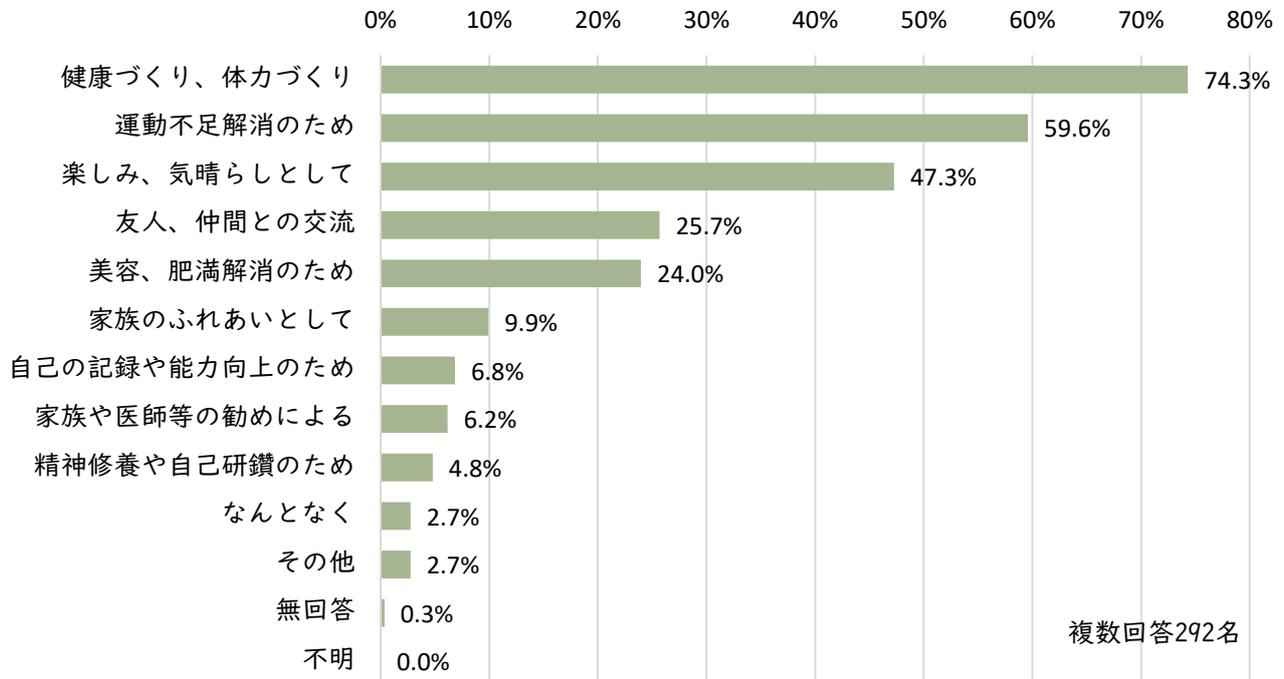
アンケート調査によると、スポーツや運動を行っている日数は、「週に3日以上」が22.7%、「週1日以上(3日未満)」が24.4%、「月に1~3日」が23.4%であり、全体として週1日以上運動している人は47.1%となっています。前回調査した令和元(2019)年度の55.2%と比較すると8.1ポイント減少しています。

※性別、年代別は資料編51~52ページ



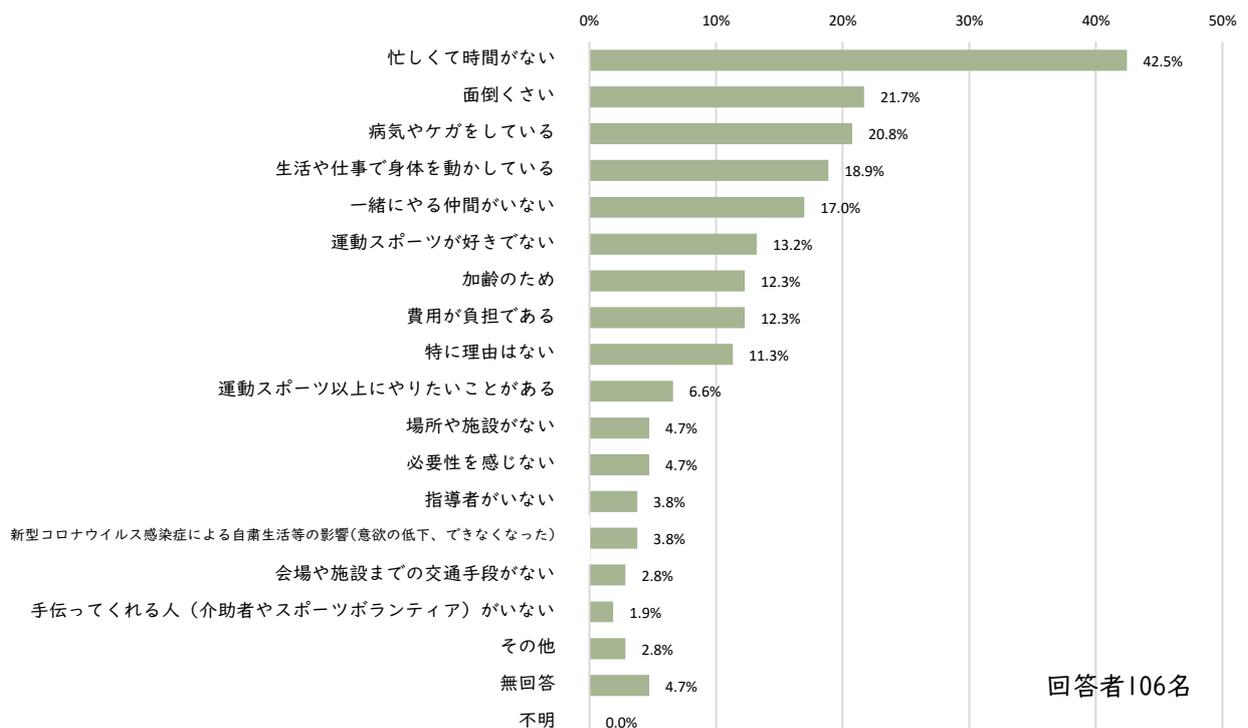
② 運動・スポーツをする目的(複数回答可)

運動・スポーツをする目的については、「健康づくり、体力づくり」が74.3%、「運動不足解消のため」が59.6%、「楽しみ、気晴らしとして」47.3%であり、多くの人が心身の健康を維持していくために運動やスポーツを行ったことがわかります。 ※性別、年代別は資料編53～57ページ



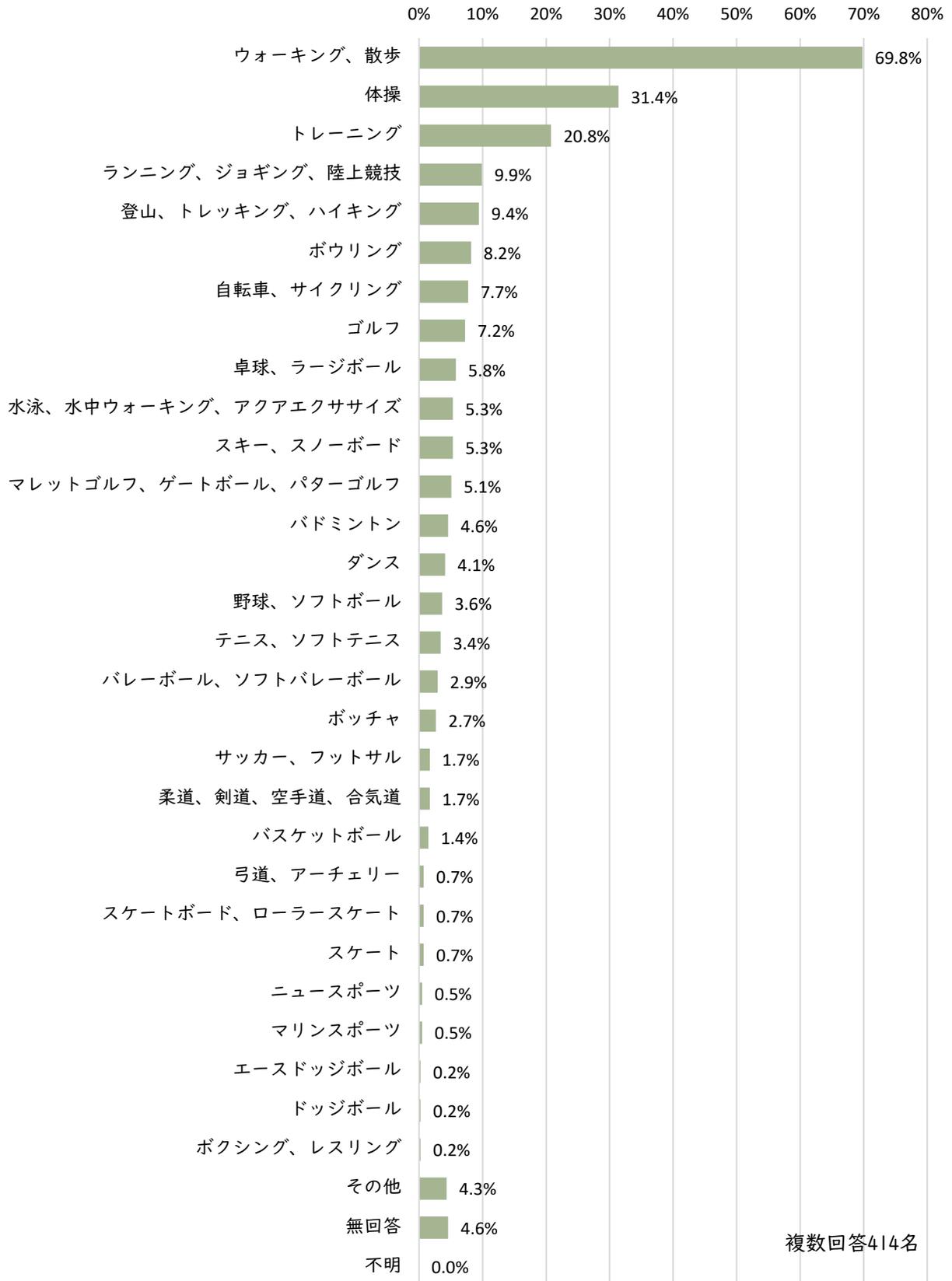
③ 1年間にスポーツをした日数が1～3日以下であった理由

スポーツをした日数が1～3日以下であった主な理由は、「忙しくて時間がない」(42.5%)が最も高く、次いで「面倒くさい」(21.7%)、「病気やケガをしている」(20.8%)の順となっています。



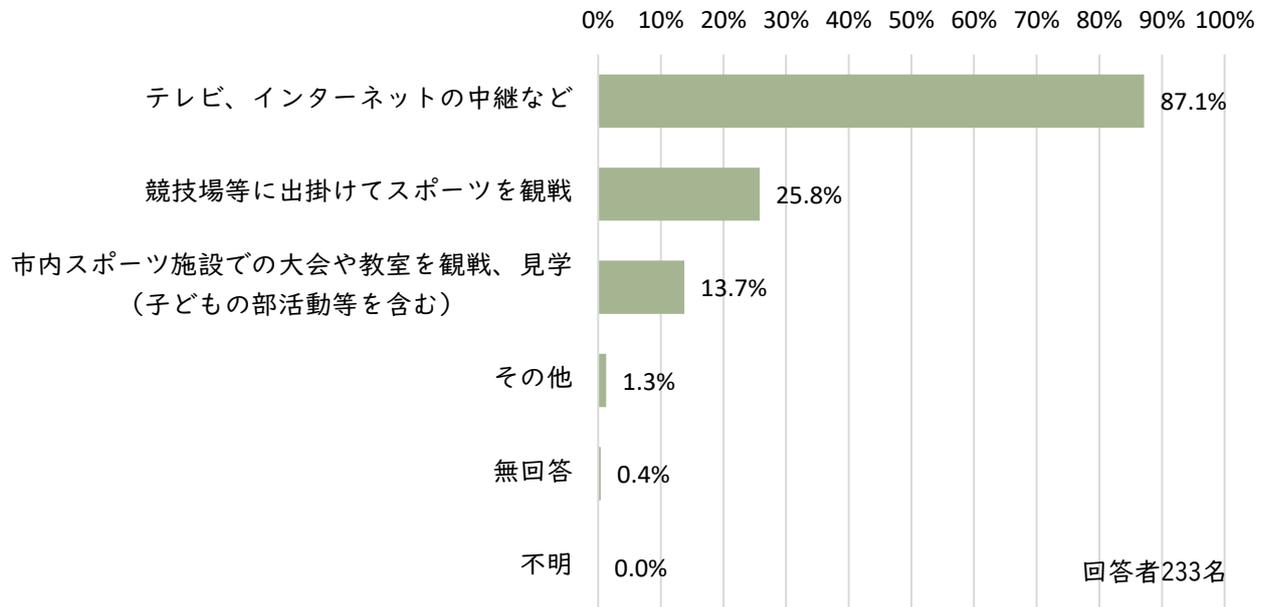
④ 1年間で行ったスポーツ種目(複数回答可)

この1年間にに行った運動、スポーツは、「ウォーキング、散歩」(69.8%)が最も高く、次いで「体操」(31.4%)、「トレーニング」(20.8%)の順となっています。



⑤ 1年間のスポーツ観戦の有無

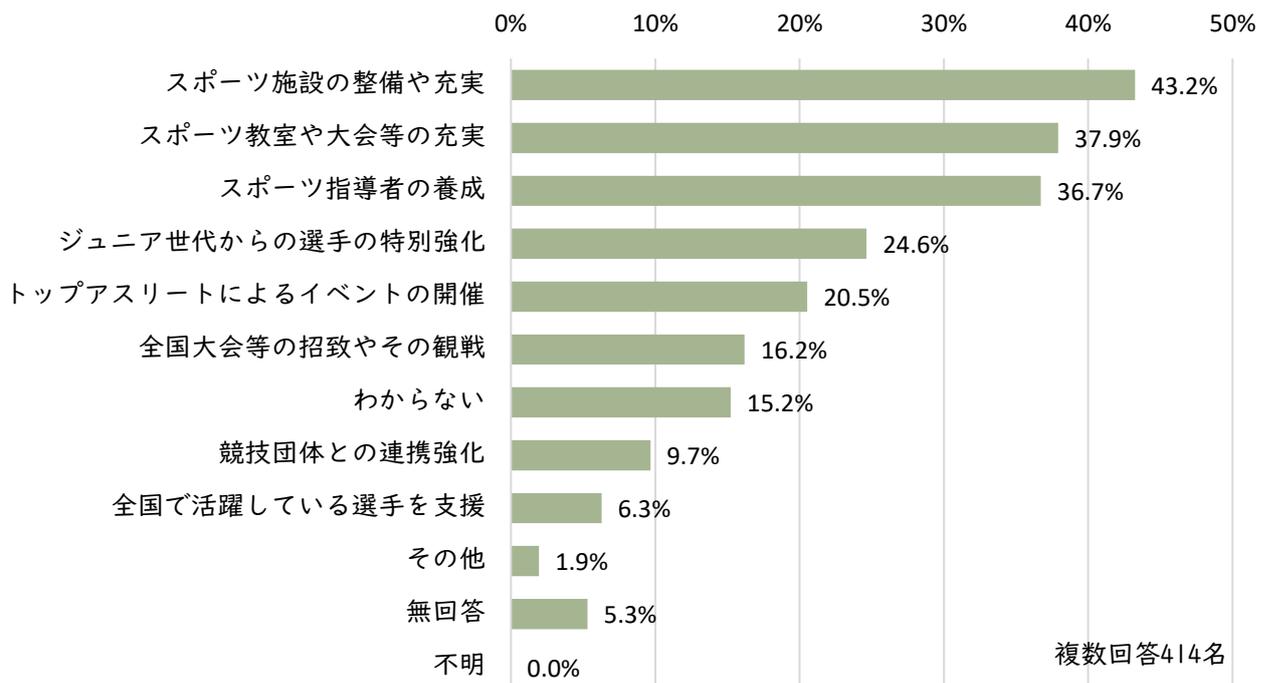
1年間にスポーツ観戦をしたことがあるかは、「ある」(56.3%)、「なし」(39.6%)となっており、観戦をしたことがあると答えた方の観戦方法としては、「テレビ、インターネットの中継など」(87.1%)が最も高く、次いで「競技場等に出掛けてスポーツを観戦」(25.8%)、「市内スポーツ施設での大会や教室を観戦、見学(子どもの部活動等を含む)」(13.7%)の順となっています。



(2) 競技力の向上

競技力向上を図るために必要なこと(複数回答可)

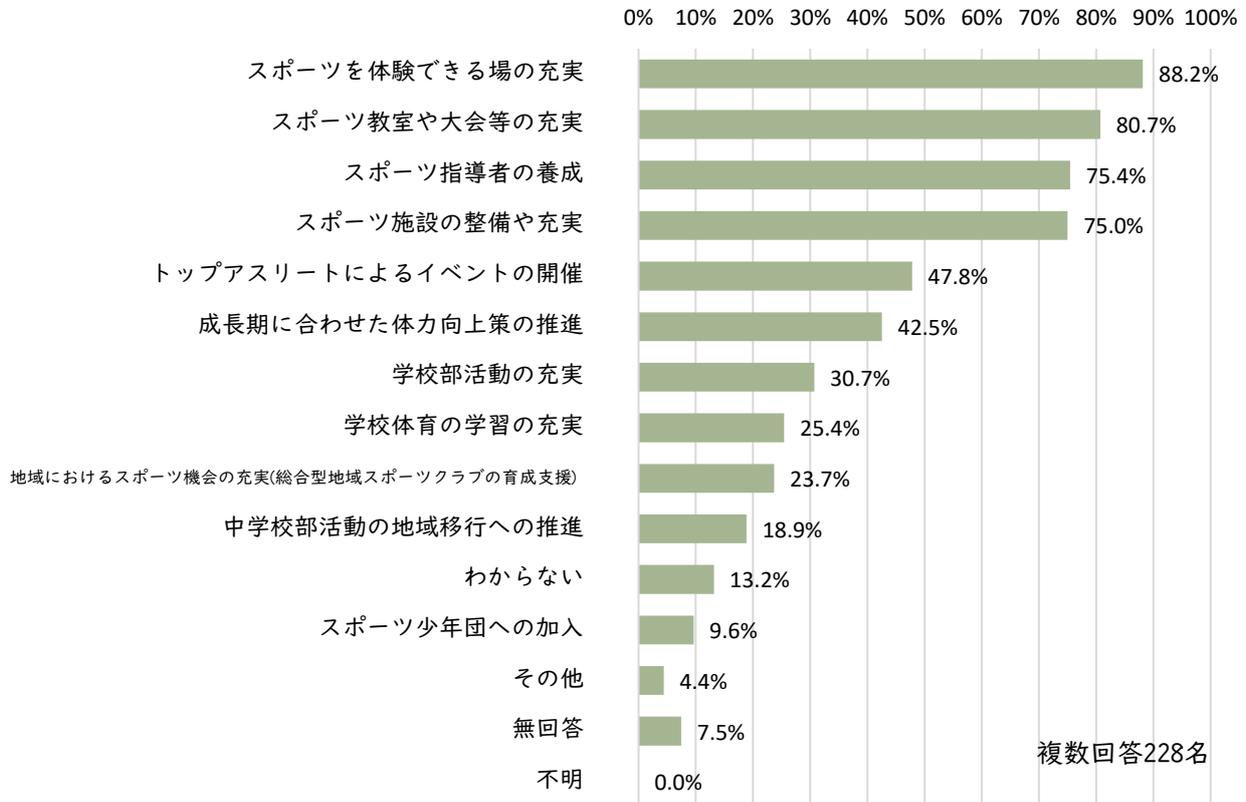
競技力向上を図るためにどんなことが必要だと思うかは、「スポーツ施設の整備や充実」(43.2%)が最も高く、次いで「スポーツ教室や大会等の充実」(37.9%)、「スポーツ指導者の養成」(36.7%)の順となっています。



(3)子どもの運動・スポーツ環境

子どものスポーツ活動等の推進等(複数回答可)

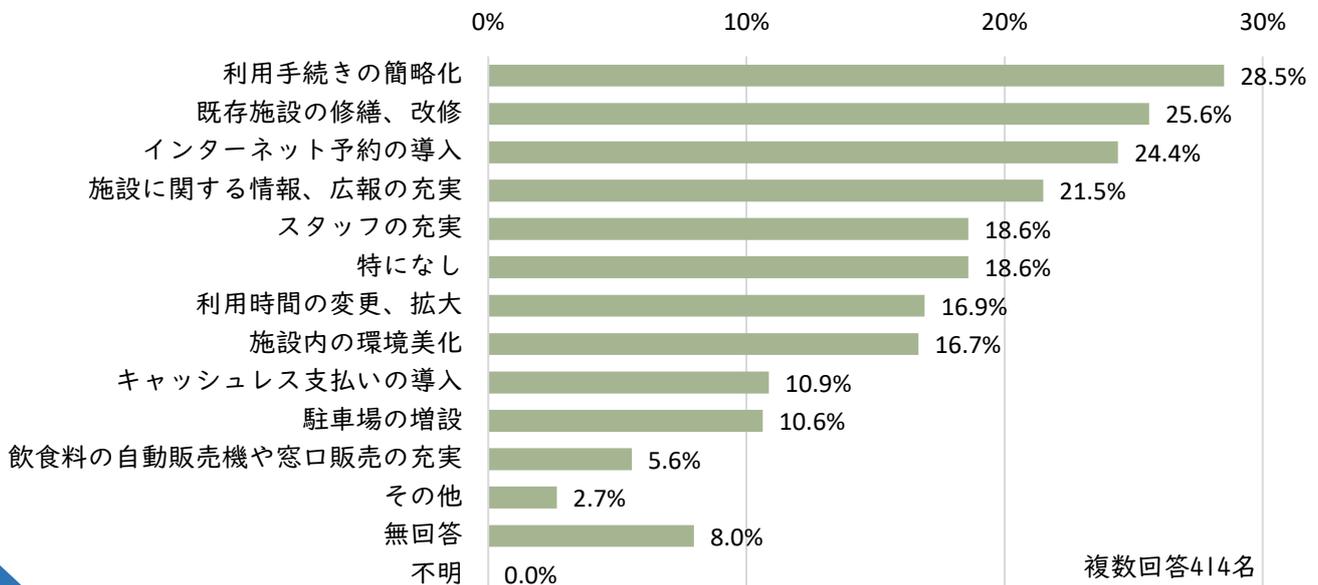
子どもたちのスポーツ活動や運動を推進するためにどんなことが必要だと思うかは、「スポーツを体験できる場の充実」(88.2%)が最も高く、次いで「スポーツ教室や大会等の充実」(80.7%)、「スポーツ指導者の養成」(75.4%)の順となっています。



(4)スポーツや運動施設の環境

岡谷市のスポーツ施設への要望(複数回答可)

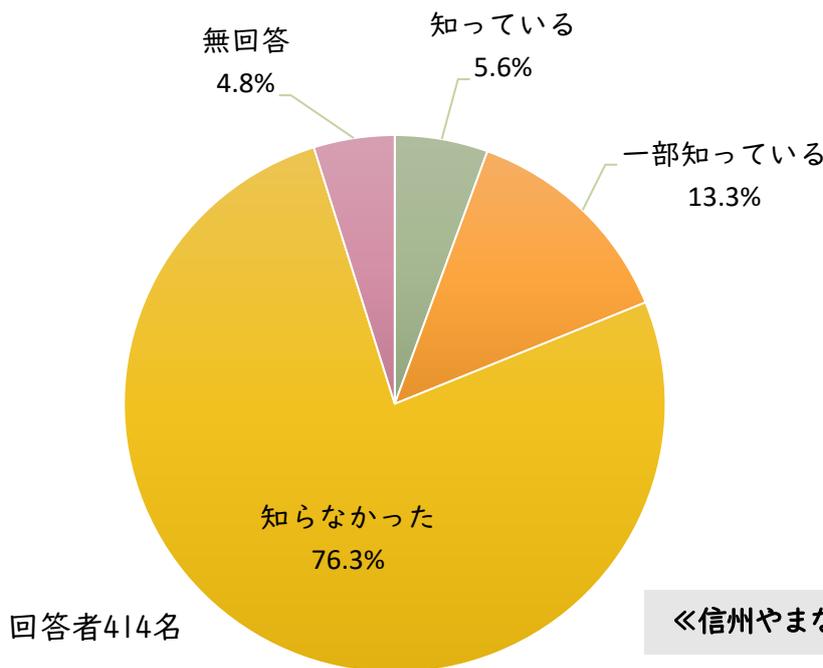
スポーツ施設についての要望は、「利用手続きの簡略化」(28.5%)が最も高く、次いで「既存施設の修繕、改修」(25.6%)、「インターネット予約の導入」(24.4%)の順となっています。



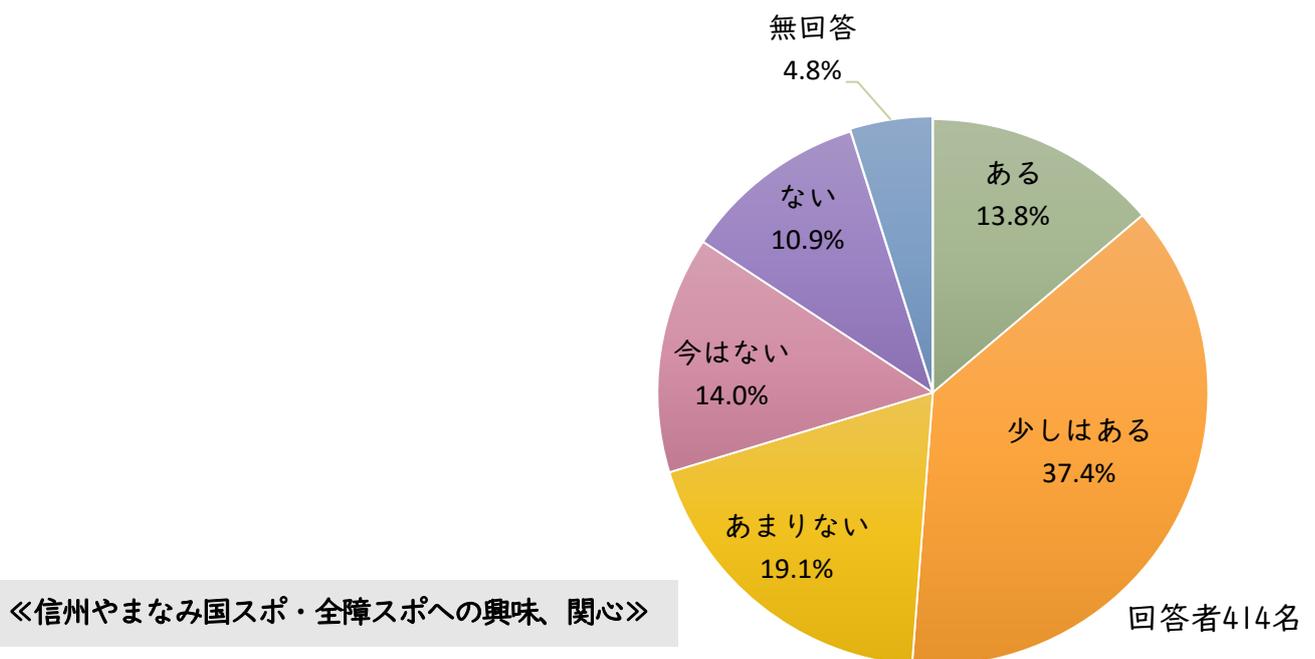
(5)信州やまなみ国スポ・全障スポについて

令和 10(2028)年に長野県で開催される第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会の認知度、岡谷市で開催される国民スポーツ大会への興味、関心。

長野県で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催され、正式競技として、本市で卓球競技、トライアスロン競技、アイスホッケー競技が開催される予定を知っているかは、「知らなかった」(76.3%)が最も高く、次いで「一部知っている」(13.3%)、「知っている」(5.6%)の順となっています。興味、関心があるかは、「少しはある」(37.4%)が最も高く、次いで「あまりない」(19.1%)、「今はない」(14.0%)の順となっています。



《信州やまなみ国スポ・全障スポの認知度》



《信州やまなみ国スポ・全障スポへの興味、関心》

3 第2次岡谷市スポーツ推進計画における総括評価

第2次岡谷市スポーツ推進計画の評価

第2次計画は、「スポーツに親しみ 夢と感動が生まれるまち」を基本理念とし、市民一人ひとりがスポーツを通して、心と体を養い、はつらつとした暮らしを送ることができるよう願いを込めて策定しました。

計画の主な取組である「市民ひとり1スポーツ」、「競技力の向上」、「子どものスポーツ機会の充実」、「スポーツ環境の整備・充実」の4つを柱に様々な施策を推進してきました。

第2次岡谷市スポーツ推進計画の総括的な評価は、以下のとおりです。

(1) 市民ひとり1スポーツの実現

スポーツを「する」「みる」「ささえる」といった様々な関わり方で親しむことができるよう、市民ひとり1スポーツの実現を推進してきました。

計画期間中の新型コロナウイルス感染症拡大により、スポーツ活動の制限や自粛等があったなかで、市民が心身の健康維持には適度な運動やスポーツが必要であると再認識できたことはプラスの材料となりました。

今回のアンケート調査の結果では、週1回以上運動・スポーツを行う人の割合は47.1%（令和6年度）で、時間的余裕がない等の理由から目標値の65%には達していません。また、スポーツ教室参加者数においても、第2次計画策定時より2割ほど減少しており、目標値の人数を下回っています。

これらの要因としては、少子化に伴うスポーツ人口の減少のほか、ライフスタイルやスポーツの楽しみ方の多様化などが考えられます。

幅広い年齢層の市民や障がい者が気軽にスポーツに参加できる環境づくりを推進し、スポーツの力で心身ともに健康ではつらつとした暮らしを送ることができるよう、多様な施策を講じていく必要があります。

(2) 競技力の向上

競技力向上のためのスポーツ教室や大会を開催し、選手及び指導者の育成を推進するとともに、成長期に合わせた運動プログラムを取り入れ、将来的な競技力の向上につなげてきました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、大会等の中止や自粛等もあったなかで、現在は大会をはじめとしたスポーツイベントも開催できるようになっていますが、全国大会や国民スポーツ大会への出場者数等の目標値は未達成となっています。

今後も、選手が全国レベルの大会で活躍できるよう、岡谷市スポーツ協会等と連携しながら、継続した指導体制のもと選手の育成や強化を図るとともに、スポーツ指導者の資質向上に努める必要があります。

(3) 子どものスポーツ機会の充実

スポーツをする子どもとしない子どもの二極化が進んでいるなかで、スポーツを楽しみ、体を動かす喜びを感じてもらうため、多様なスポーツ機会の提供や子どもの成長期に合わせた体力、運動能力の向上をめざしてきました。

市内小中学生の体力については、国、県の平均を上回る学年もありますが、平均的な水準に達していない学年もあり、目標値の平均体力合計点には達していません。

また、岡谷市スポーツ少年団においては、少子化やライフスタイルの多様化に伴って登録単位団数や団員数も減少しており、目標値は未達成となっています。

引き続き、子どもがスポーツに親しむ機会の充実と、継続的な運動習慣を身に付けるよう環境を整えていくことが必要となっています。

(4) スポーツ環境の整備・充実

令和2年度に策定した公共施設個別施設計画に基づき、利用者の安全と安心の確保に向け、計画的にスポーツ施設の整備を推進してきました。

スポーツ施設の老朽化に伴い、指定管理者と連携しながら各施設の点検や修繕業務を実施してきたほか、主な施設整備として、市民水泳プールは施設の長寿命化を図るための改修工事を実施、市営庭球場の砂入り人工芝コートは全面張替改修工事を実施することにより、安全、快適な環境の整備につなげることができています。

スポーツ施設利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響などにより大幅に減少し、目標値は未達成となりましたが、5類感染症移行に伴い回復傾向にあり、今後の利用者数の増加が期待されます。

今後も市民が安全、快適にスポーツ活動ができるよう、スポーツ環境の整備・充実を推進する必要があります。



4 岡谷市のスポーツ振興における課題

(1) 市民ひとり1スポーツの実現

・アンケート調査では、スポーツ活動ができない理由として「忙しくて時間がない」という回答が多く出ていることから、市民がスポーツ活動にかかわりを持ち、幅広い年齢層の市民や障がい者が気軽にスポーツに参加できる環境づくりを推進し、スポーツ情報等を広く周知する必要があります。

・スポーツが体力、技術力向上のためだけではなく、ウォーキングや体操などの軽度な運動も健康増進、体力増強等の多様な効果に大きく関係していることを改めて認識し、スポーツをすることの大切さを実感してもらう必要があります。

・スポーツを「する」「みる」「ささえる」といった様々な形での「スポーツ参画人口」の拡大をめざし、生涯スポーツ社会の実現に多様な施策を講じていく必要があります。

(達成目標の状況)

指 標 名		第2次計画 策定時実績 (令和元年度)	第2次計画 策定時目標 (令和6年度)	現 状 (令和6年度)	達成状況	目標と現状 の比較
実施率 運動・ スポーツ	週1回以上実施する 人の割合	55.2%	65.0%	47.1%	未達成	△17.9%
	週3回以上実施する 人の割合	35.0%	35.0%	22.7%	未達成	△12.3%
	スポーツをしない 人の割合	21.6%	0に近づける	9.2%	未達成	△9.2%
スポーツ教室参加者数		4,855人 (平成30年度実績)	5,300人	3,832人 (令和5年度実績)	未達成	△1,468人
トップアスリート等による 試合や講習会の開催		1回	2回	5回 (令和5年度実績)	達 成	+3回

(2) 競技力の向上

・少子化やライフスタイルの多様化などにより、市内のスポーツ関係団体数や会員数が減少し、優秀な選手の輩出が難しくなっています。本市出身選手の活躍は、選手のスポーツに対する意識の向上につながるばかりでなく、市民に勇気と希望を与えます。そのため、将来のオリンピック・パラリンピック、全国レベルの大会、信州やまなみ国スポ・全障スポの地元選手輩出に向けて、岡谷市スポーツ協会や各種競技団体と連携しながら、選手の育成と強化のための環境づくりを進める必要があります。

・競技スポーツのレベルアップを図るには、専門知識を備えたスポーツ指導者を育成するとともに、継続的な指導体制を構築し、選手や指導者が達成感や充実感を得られるよう、努める必要があります。

(達成目標の状況)

指 標 名	第2次計画 策定時実績 (平成30年度)	第2次計画 策定時目標 (令和6年度)	現状(直近実績) (令和5年度)	達成状況	目標と現状 の比較
全国大会に出場する 個人・団体数	29人・団体	40人・団体	24人・団体	未達成	△16人・団体
国民スポーツ大会 出場選手数	36人	38人	32人	未達成	△6人

(3)子どものスポーツ機会の充実

・小中学生の体力低下が全国的な課題となっているなか、本市の小中学生の体力は、学年によっては国、県の平均と比べると高い水準にある学年もありますが、平均的な水準に達していない学年もあるため、子どもが自ら進んで動きたくなるような取組や、年齢や体力に応じたスポーツ機会の充実を図る必要があります。(体力テスト結果は資料編42~43ページ参照)

・少子化やライフスタイルの多様化の影響もあり、岡谷市スポーツ少年団の団体数や団員数が減少傾向にあることやスポーツをする子どもとしない子どもの二極化が顕著となっているため、スポーツをすることの楽しさや充実感を知ってもらうことが必要です。

・これまで学校が主体となって担ってきた中学校の運動部活動は、地域クラブ活動への移行が検討されているなかで、継続してスポーツに親しむことができる機会を確保するため、地域が主体となる新たなスポーツ環境を整備する必要があります。

(達成目標の状況)

指標名	第2次計画 策定時実績 (平成30年度)	第2次計画 策定時目標 (令和6年度)	現状(直近実績) (令和6年度)	達成状況	目標と現状 の比較
体力合計点	49.5点	51点台	50.03点 (R5年度実績)	未達成	△0.97点
岡谷市スポーツ少年団 登録単位団体数	11団体	13団体	9団体	未達成	△4団体
岡谷市スポーツ少年団 団員数	219人	250人	186人	未達成	△64人

(4)スポーツ環境の整備・充実

・建築後30年以上経過しているスポーツ施設の多くで老朽化が進行しているため、公共施設個別施設計画を基本にスポーツ施設の長寿命化や適切な維持管理を計画的に進め、安全で安心な環境を整備する必要があります。また、信州やまなみ国スポ・全障スポ開催に向けた施設整備が必要です。

・新型コロナウイルス感染症の影響により施設の利用者数は大幅に減少していますが、徐々に回復傾向にあります。今後も指定管理者と連携を図り、施設の稼働率の向上に向け、利用者の少ない平日昼間の利用促進や施設の有効活用を図る必要があります。

・スポーツ施設使用料は、社会情勢や他の公共施設とのバランスを考慮しつつ、定期的に見直す必要があります。

(達成目標の状況)

指標名	第2次計画 策定時実績 (平成30年度)	第2次計画 策定時目標 (令和6年度)	現状(直近実績) (令和5年度)	達成状況	目標と現状 の比較
スポーツ施設 利用者数	431,064人	460,000人	357,917人	未達成	△102,083人

(5)第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会の推進

・令和10(2028)年に長野県で開催予定の信州やまなみ国スポ・全障スポでは、本市における開催競技の成功に向け、県や競技団体等と連携して準備を進めるとともに、大会に対する市民の関心と機運の醸成を高める必要があります。※本計画からの新規課題のため、達成目標の状況はなし。

～ 国民スポーツ大会ってなに？ ～

国民体育大会(国体)が、令和6(2024)年の第78回大会から国民スポーツ大会(国スポ)に名称が変更となりました。



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

【国民スポーツ大会とは・・・】

国民スポーツ大会は、日本で毎年開催されるスポーツの祭典です。実施競技によって1-2月の冬季大会と9-10月の本大会とがあり、昭和21年(1946年)に第1回大会が近畿で開催され、以降、各都道府県が持ち回る方式で開催されています。

大会は正式競技の順位を得点に置き換えて都道府県対抗で争われ、冬季大会と本大会の通算で男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯が、女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯が授与されます。

令和10年には長野県で開催される予定となっており、本市では正式競技として卓球、トライアスロン、冬季競技としてアイスホッケーが開催されます。また、総合順位の得点に含まれない公開競技として、綱引も開催される予定です。なお、本大会後には、全国障害者スポーツ大会における卓球競技が開催されることとなっています。

【本大会とは・・・】

本大会は正式競技である卓球、水泳、サッカー、陸上競技、柔道、剣道、フェンシング、レスリング、バレーボール、バスケットボール、野球、相撲等、約40のスポーツ競技が開催されます。

このほか、正式競技への昇格を見据え、試験的に行われる公開競技や、開催都道府県民を対象に、健康増進や体力向上を目的として行われるデモンストレーションスポーツがあります。



【冬季大会とは・・・】

冬季大会は、スケート関連の競技として、フィギュアスケート、スピードスケート、ショートトラック、アイスホッケーが行われます。

また、スキー関連の競技として、大回転競技、ジャンプ競技、ノルディック複合競技、クロスカンтриー競技等の複数の競技が行われます。

【全障スポとは・・・】

全障スポ大会では、障がいのある方がスポーツ大会に参加し、スポーツを楽しむことはもちろん、国民の障がいに対する理解を深め、障がいのある方の社会参加を推進させることを目的に開催される大会です。



第3章 計画の基本理念とこれからの施策展開

1 計画の基本理念

【はつらつ岡谷スポーツプラン基本理念】

～スポーツで笑顔あふれる 元気なまち～

《 基本理念に込めた思い 》

本市がめざすまちづくりの指針として、『すべての市民が主人公として輝くことができ、笑顔と元気があふれる岡谷市をめざす』とあり、基本理念には、スポーツ分野を通して、その一助となる施策展開を進めていくという思いを込めました。

「スポーツ 5つの基本目標」

1 市民ひとり1スポーツの実現

生涯にわたって運動やスポーツに取り組めるように、スポーツ団体やスポーツ推進委員などと連携しながら幅広い年齢層の市民や障がい者が楽しく参加できる各種教室、大会などの多様なスポーツ機会の充実を図り、健康を志向したスポーツ活動を推進します。

2 競技力の向上

全国大会などの誘致や競技力向上のための教室、大会を開催します。また、全国大会で活躍できる選手の育成を支援するとともに、指導者講習会などの開催を通じて、スポーツ指導者の養成を推進します。

3 子どものスポーツ機会の充実

学校体育の学習の充実をはじめ、子どもたちの成長期に合わせた体力向上プログラムにより、体力、運動能力の向上をめざすとともに、スポーツを始めるきっかけづくりとして、多様なスポーツ教室などを開催し、運動やスポーツへの苦手意識を軽減させ、喜びや楽しいと思える機会を提供します。さらに、中学校運動部活動の地域移行に向けた取組を推進します。

4 スポーツ環境の整備・充実

利用者が安全で快適にスポーツ活動を行えるように、スポーツ施設の長寿命化を計画的に進め、安全で安心な環境を整備します。

5 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会(信州やまなみ国スポ・全障スポ)の推進

令和10(2028)年に開催される第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会に向け、機運醸成を図りながら、万全な開催準備を推進します。また、これを契機に、スポーツに対する市民の関心を高めるとともに、大会終了後も大会開催の成果を本市の財産として、未来へ継承します。

2 第3次岡谷市スポーツ推進計画 施策展開体系表

基本理念	基本目標	基本施策	施策の展開
スポーツで笑顔あふれる 元気なまち	【基本目標1】 市民ひとり 1スポーツの実現	1 市民のライフスタイルに合った 「するスポーツ」の充実	111 各種スポーツ教室、大会の充実
			112 家族のスポーツ機会の充実
			113 子育て世代のスポーツ機会の充実
			114 高齢者のスポーツ機会の充実
			115 気軽に取り組めるスポーツの普及、啓発
		2 スポーツ活動を「ささえる」体制の充実	121 岡谷市スポーツ推進委員活動の充実
			122 地域のスポーツ指導者の養成
			123 スポーツボランティア活動の促進
			124 岡谷市スポーツ協会への活動支援
			125 総合型地域スポーツクラブの育成支援
			126 スポーツクラブ等の活動支援
		3 障がい者スポーツの普及、推進	131 障がい者のスポーツ機会の充実
			132 みんなで楽しめるニュースポーツ等の普及
		4 地域活性化につながるスポーツの推進	141 地域におけるスポーツ交流会の充実
			142 スポーツによる地域交流の推進
	5 「みる」スポーツの普及	151 プロスポーツ等との連携	
		152 スポーツ観戦のきっかけづくり	
	【基本目標2】 競技力の向上	1 競技力向上に向けた取組	211 競技力向上スポーツ教室、大会の充実
			212 スポーツ指導者の育成
			221 選手の育成強化、支援による競技力向上
	2 全国や世界で活躍する選手の育成、支援	221 選手の育成強化、支援による競技力向上	
		231 トップアスリートとの交流による競技意欲の増進	
	【基本目標3】 子どものスポーツ 機会の充実	1 成長期に合わせた運動機能、体力向上策の推進	311 年齢に応じた運動プログラムの充実
			321 スポーツきっかけづくり事業の充実
			322 社会体育活動の充実
			323 スポーツ指導者の養成
		324 スポーツ施設の無料開放	
	3 家族でのスポーツ体験の充実	331 親子参加型スポーツイベントの開催	
	【基本目標4】 スポーツ環境の 整備・充実	1 スポーツ施設の整備・充実	411 安全で快適に利用できる施設整備
			2 スポーツ施設の効率的な管理と有効活用
422 スポーツ施設の有効活用の推進			
3 スポーツに関する情報提供の充実	431 スポーツ機会の創出及び周知		
【基本目標5】 第82回国民スポ ーツ大会・第27 回全国障害者スポ ーツ大会の推進	1 信州やまなみ国スポ・全障スポの推進	511 信州やまなみ国スポ・全障スポの推進	
		2 大会に向けた機運の醸成	521 信州やまなみ国スポ・全障スポの魅力発信、機運醸成
			531 岡谷市実行委員会の組織立ち上げ
3 大会に向けた体制づくり	532 スポーツボランティアの募集		

◆ 基本理念に向けたイメージ図

スポーツで 笑顔あふれる 元気なまち

【基本目標1】

市民ひとり1スポーツの実現

市民のライフスタイルに合った「するスポーツ」の充実

スポーツ活動を「ささえる」体制の充実

障がい者スポーツの普及、推進

地域活性化につながるスポーツの推進

「みる」スポーツの普及

競技力向上に向けた取組

全国や世界で活躍する選手の育成、支援

トップアスリートとの連携促進

【基本目標2】 競技力の向上

【基本目標5】

第82回国民スポーツ大会 第27回全国障害者スポーツ大会の推進

信州やまなみ国スポ・全障スポの推進

大会に向けた機運の醸成

大会に向けた体制づくり

【基本目標3】 子どものスポーツ機会の充実

成長期に合わせた運動機能、体力向上策の推進

多様なスポーツ環境の充実

家族でのスポーツ体験の充実

中学校運動部活動における地域移行の推進

【基本目標4】 スポーツ環境の整備・充実

スポーツ施設の整備・充実

スポーツ施設の効率的な管理と有効活用

スポーツに関する情報提供の充実

【基本目標Ⅰ】 市民ひとり1スポーツの実現

生涯にわたって運動やスポーツに取り組めるように、スポーツ団体やスポーツ推進委員などと連携しながら、幅広い年齢層の市民や障がい者が楽しく参加できる各種教室、大会などの多様なスポーツ機会の充実を図り、健康を志向したスポーツ活動を推進します。

◆ 具体的な取組

基本施策Ⅰ 市民のライフスタイルに合った「するスポーツ」の充実

111 各種スポーツ教室、大会の充実

- 市民誰もがスポーツの楽しさを気軽に体験、参加できるよう、幅広い年齢層を対象としたスポーツ教室やスポーツ大会を岡谷市スポーツ協会や関係団体等と連携して開催します。
- 市民のニーズを把握し、需要のあるスポーツ機会を提供することで、満足度の高いスポーツ環境を構築します。

112 家族のスポーツ機会の充実

- 様々なスポーツを家族と一緒に体験し、身体を動かすことの楽しさを知ってもらうため、スポーツを始めるきっかけづくりの場を提供します。

113 子育て世代のスポーツ機会の充実

- 体を動かす時間が不足しがちな子育て世代が、心身ともに健康を維持できるよう、託児付スポーツ教室等、ニーズにあったスポーツ機会を提供します。

114 高齢者のスポーツ機会の充実

- 高齢者の体を動かすきっかけや健康維持と健康寿命の延伸の観点から、定期的に市民総合体育館の一部無料開放や継続して運動することを推進するためのスポーツイベントの開催等、高齢者のスポーツ機会の創出、生きがいづくりの充実を図ります。

115 気軽に取り組めるスポーツの普及、啓発

- 年齢を問わず、誰でも気軽に取り組むことができる体操やニュースポーツ等によるスポーツイベント、出張教室のほか、動画配信サイトを活用した活動等を実施することで、気軽にできるスポーツの普及促進を図り、スポーツ参画人口の創出につなげます。
- 諏訪湖周のサイクリングロードやジョギングロード等、特色ある施設を活用し、気軽にできるスポーツの情報発信、普及へとつなげます。
- 市民総合体育館の一部のスペースを個人利用者向けに確保し、市民のスポーツに親しむ機会の充実と健康寿命の延伸を図ります。

諏訪湖サイクリングロード・ジョギングロード

長野県と湖周3市町で整備を進めていた諏訪湖サイクリングロード・ジョギングロードが令和6年4月に全線開通しました。

1周約16Km、諏訪湖畔からの美しい眺望を見渡しながら、気軽に快適にサイクリングやジョギング、ウォーキングが楽しめます。



基本施策2 スポーツ活動を「ささえる」体制の充実

121 岡谷市スポーツ推進委員活動の充実

- 地域スポーツ活動の実施、連絡調整、指導を担うことを役割とするスポーツ推進委員の活動の充実を図るため、県などが開催する講習会等への積極的な参加を促し、幅広い知識の習得や資質向上に努めます。
- スポーツ推進委員によるニュースポーツの普及や健康づくりへの取組、障がい者スポーツへの支援等について、相互の連携や活動の充実を図ります。

122 地域のスポーツ指導者の養成

- 適切な指導ができる資質の高いスポーツ指導者を養成するため、スポーツ指導者講習会を岡谷市スポーツ協会と連携して開催します。

123 スポーツボランティア活動の促進

- ボランティアとして参加できる大会やイベント等の情報提供を行い、市民のスポーツボランティアへの関心を高め、参加を促進します。
- 信州やまなみ国スポ・全障スポへの市民参加を促進するため、スポーツボランティアのやりがいや活動内容の周知を図ります。

124 岡谷市スポーツ協会への活動支援

- 岡谷市スポーツ協会が、公益性の高い事業展開を図るとともに安定的な事業運営となるよう、組織体制の強化に必要な支援や助言を行います。

125 総合型地域スポーツクラブの育成支援

- 生涯スポーツの振興を目的に活動する総合型地域スポーツクラブの活動支援に努めるとともに、広報おかややホームページ等を通じて広く市民に周知します。

126 スポーツクラブ等の活動支援

- スポーツクラブ等の活動の充実及び活性化を図るため、快適なスポーツ環境整備に努め、岡谷市スポーツ協会や関係団体等と連携し、スポーツクラブ等が活動しやすい環境づくりに努めます。

基本施策3 障がい者スポーツの普及、推進

131 障がい者のスポーツ機会の充実

- 障がいのある方が、スポーツに自主的かつ積極的に取り組み、スポーツに親しめる環境づくりを推進します。
- スポーツ推進委員や岡谷市スポーツ協会と連携して「ささえる」指導者の育成に努めます。
- 障がい者のスポーツ機会の充実に向け、関係各所と連携しながら、イベント等を通じスポーツを気軽に楽しめる機会を提供します。

132 みんなで楽しめるニュースポーツ等の普及

- 障がいのある方が、気軽に取り組めるニュースポーツ等について研究を進めます。
- 障がいの種別や程度に応じて各々がスポーツに取り組めるよう、スポーツ推進委員を中心に適切な指導と普及に努めます。
- 社会福祉施設等と連携し、障がい者がスポーツにかかわれる機会の情報提供を行います。
- スポーツ活動の場が少ない障がい者へのスポーツ推進を図るため、社会福祉施設等と連携し、ニーズを把握しながらスポーツイベントを実施します。

基本施策4 地域活性化につながるスポーツの推進

141 地域におけるスポーツ交流会の充実

- 多様なスポーツ施設を活用し、市民が世代を超えて主体的に運動やスポーツに取り組み、相互の絆を深めることができるよう、岡谷市スポーツ協会や関係団体等と連携し、地域におけるスポーツイベントや各区対抗スポーツ大会などにより、スポーツ機会の充実に努めます。
- 総合型地域スポーツクラブや関係団体等と連携し、地域において開催される高齢者をはじめとした市民の健康増進に向けたスポーツ教室等の充実に努めるとともに参加を促進します。

142 スポーツによる地域交流の推進

- 多様なスポーツ施設、交通アクセス等の利便性を活かし、岡谷市観光協会や関係団体等と連携しながら、スポーツ合宿の誘致等に努めます。
- 豊かな自然に恵まれた環境を活かし、観光と野外活動やスポーツを組み合わせ、地域の活性化を促進します。
- 本市と相互連携協定を締結したプロバレーボールチームのVC長野トライデンツやプロスポーツチームが、本市にもたらす経済効果、スポーツ振興、まちの情報発信など多様なメリット等について、幅広く研究を進めます。
- エースドッジボール等、スポーツによる姉妹都市との交流大会を開催し、スポーツを通じた親善交流のみならず、互いの文化に触れ、情報交換や意見交換を行い、地域の活性化を図ります。

基本施策5 「みる」スポーツの普及

151 プロスポーツ等との連携

- 市民のスポーツに対する関心や意欲向上を図るため、VC長野トライデンツやプロスポーツチーム、トップアスリートと連携して、試合観戦や講習会等の開催により、市民の「みる」スポーツの定着を図ります。

152 スポーツ観戦のきっかけづくり

- プロスポーツや国民スポーツ大会等を通じて、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことでスポーツの価値を認識できるよう、スポーツ観戦によるきっかけづくりを推進します。

●達成指標

指標名		現状 (令和6年度)	目標 (令和10年度)	備考
実施率 スポーツ	週1回以上実施	47.1%	65.0%	一定期間内にスポーツをする成人の割合
	週3回以上実施	22.7%	31.3%	
	スポーツをしない	9.2%	0に近づける	
スポーツ教室参加者数		3,832人 (令和5年度実績)	5,300人	市教育委員会主催教室参加者数
トップアスリート等による 試合や講習会等の開催		5回 (令和5年度実績)	7回	

【基本目標 2】 競技力の向上

全国大会などの誘致や競技力向上のための教室、大会を開催します。また、全国大会で活躍できる選手の育成を支援するとともに、指導者講習会などの開催を通じて、スポーツ指導者の養成を推進します。

◆ 具体的な取組

基本施策 1 競技力向上に向けた取組

2 1 1 競技力向上スポーツ教室、大会の充実

■競技人口の拡大や競技力向上を目的とした各種スポーツ教室、大会を岡谷市スポーツ協会や関係団体等と連携して開催します。

2 1 2 スポーツ指導者の育成

■スポーツ指導者の資質向上を目的に、効果的なトレーニング方法や選手をスポーツ傷害から守るための基礎的な知識を身につけるスポーツ指導者講習会を岡谷市スポーツ協会と連携して開催するとともに、関係機関が開催する講習会等への参加を促進します。

■各競技団体の指導者等が高齢化している現状を踏まえ、これからも団体活動を継続していきけるよう次世代の指導者を養成し、安定的な指導体制づくりを推進します。

基本施策 2 全国や世界で活躍する選手の育成、支援

2 2 1 選手の育成強化、支援による競技力向上

■岡谷市スポーツ協会、岡谷市スポーツ少年団、スポーツクラブ等と連携してジュニア世代を対象とした教室を開催し、競技人口の拡大や競技力の向上を図るとともに、全国や世界の舞台で活躍できる選手の育成強化や組織体制の充実を図ります。

■子どもの成長期に合わせた運動プログラムを取り入れ、遊びを通じた効果的なトレーニングを実施し、運動神経、運動能力の向上を図り、将来的な競技力の向上につなげます。

■優れた競技能力を持つジュニア選手を発掘し、競技力を効果的に向上させるため、岡谷市スポーツ協会、岡谷市スポーツ少年団、スポーツクラブ等や学校と連携を図り、継続した指導体制を構築します。

■国民スポーツ大会出場者に対して壮行会を開催し、激励と支援を行います。

■国民スポーツ大会等に対する選手のモチベーションを高めるため、市民が一丸となって応援できる体制を構築します。

■障がいのある方が、全国障害者スポーツ大会に自主的かつ積極的に参加し、競技者として活躍できるよう関係団体等と連携し、競技力の向上を図ります。

■信州やまなみ国スポ・全障スポに多くの本市出身の選手が会場し、市民に夢と感動を与える活躍ができるよう、岡谷市スポーツ協会や関係団体等と連携して選手の育成強化を推進します。

■市民の競技意欲や指導意欲のさらなる向上のため、優秀な成績を収めた選手、団体、指導者等を対象とした顕彰制度の推進を図ります。

■本市の伝統スポーツの一つであるスケートの振興事業に取り組むことにより、スケートの競技力向上を図ります。

基本施策3 トップアスリートとの連携促進

231 トップアスリートとの交流による競技意欲の増進

- スポーツ選手の競技力向上、市民のスポーツに対する意欲、関心を高めるため、多様な施設環境を活用し、トップアスリートとの交流の機会創出を図ります。
- VC長野トライデンツやプロスポーツチームと連携し、試合観戦や応援、スポーツイベント等を通してトップアスリートに夢や憧れを抱き、チームへの愛着を深めながら競技に挑む意欲の促進と競技力向上を図ります。

●達成指標

指標名	現状 (令和5年度)	目標 (令和10年度)	備考
全国大会に出場する個人・団体の数	24人・団体	40人・団体	国スポ、高校総体は除く (団体は1とする)
国民スポーツ大会出場選手数	32人	38人	【対象者】 本市関係者

～VC長野トライデンツ紹介～



VC長野トライデンツは平成20年以來、6シーズンを最高峰の舞台であるSVリーグ(旧V1リーグ)に参戦している男子バレーボールチームです。

令和6年10月には、本市と相互連携協定を締結し、様々な点で相互に協力していくこととしており、バレーボール教室やイベント等を通して、子どもの競技力の向上を図るとともに、市民がチームへの愛着を深めるよう施策を展開します。

【過年度シーズン成績】

2019-20 シーズン	DIVISION1	10位 (3勝24敗)
2020-21 シーズン	DIVISION1	9位 (4勝32敗)
2021-22 シーズン	DIVISION1	10位 (5勝31敗)
2022-23 シーズン	DIVISION1	9位 (5勝31敗)
2023-24 シーズン	DIVISION1	10位 (2勝31敗)



VC長野トライデンツ
オフィシャルマスコット

#96 MASCOT
グロツテ GURUTTE



岡谷市民総合体育館でのホームゲームの様子

【基本目標3】 子どものスポーツ機会の充実

学校体育の学習の充実をはじめ、子どもたちの成長期に合わせた体力向上プログラムにより、体力、運動能力の向上をめざすとともに、スポーツを始めるきっかけづくりとして、多様なスポーツ教室などを開催し、運動やスポーツへの苦手意識を軽減させ、喜びや楽しいと思える機会を提供します。さらに、中学校運動部活動の地域移行に向けた取組を推進します。

◆ 具体的な取組

基本施策1 成長期に合わせた運動機能、体力向上策の推進

311 年齢に応じた運動プログラムの充実

- 成長期における運動能力の育成のため、新体力テストの結果分析を踏まえ、関係団体と連携し学校体育の学習の充実を図ります。
- 保育士を対象にした運動プログラムの講習会を開催し、保育士の運動保育の資質向上を図るとともに運動教室を実施し、幼児の運動能力を高めます。
- 学校体育以外でも体を動かす機会を設けるとともに、多様なスポーツニーズに対応し、日常的にスポーツができるよう、岡谷市スポーツ少年団や競技団体等と連携してスポーツ機会の創出を図ります。
- 本市特有の自然環境や施設を活かし、市内の幼稚園、保育園における氷上での体験活動やスケート体験のほか、カーリング、アイスホッケー教室等、多様な氷上スポーツに触れることで、子どもの身体機能、体力の向上を図ります。

基本施策2 多様なスポーツ環境の充実

321 スポーツきっかけづくり事業の充実

- スポーツの楽しさを体感し、継続してスポーツに取り組んでもらうため、各種スポーツ教室や体験会を岡谷市スポーツ協会、関係団体等と連携して開催します。
- スポーツをする機会が少ない子どもや苦手意識を持つ子どもに対して、体を動かす楽しさを体感してもらい、スポーツに親しむ習慣を身につけるきっかけづくりに取り組みます。
- 信州やまなみ国スポ・全障スポへの興味、関心を高め、スポーツの楽しさや魅力を伝えることにより、スポーツへの参加促進を図ります。
- 障がいの有無にかかわらず、スポーツを一緒にできる環境づくりを推進します。

322 社会体育活動の充実

- 子どものスポーツ機会の充実を図るため、岡谷市スポーツ協会、岡谷市スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、スポーツクラブ等と連携し、情報提供や活動支援等を行い、成長期にあわせた適正な社会体育活動が行われるよう努めます。
- スポーツや外遊びの機会が減少するなかで、放課後子どもの居場所づくり事業や地域の育成会の活動を通してスポーツの機会を提供し、子どもの健全育成や体力向上につなげます。

- 心身の成長過程にある中学生期において、生徒が生涯にわたってスポーツ活動に親しむ機会を確保し、スチューデントファーストの精神に基づく適切な活動となるよう、新たな地域クラブ活動に向けた環境づくりに努めます。

323 スポーツ指導者の養成

- 各種講習会等により、幅広い知識、技術を身につけ、適切な指導ができるスポーツ指導者を養成するとともに、各指導者が持つ様々な情報の共有と連携を図ります。
- 子どもと一緒にスポーツの楽しさを体験し、親子のコミュニケーションを図る場は、子どもにとって生涯にわたるスポーツへの親しみ方に大きな影響を与えるため、理想的な保護者の関わり方について情報提供に努めます。

324 スポーツ施設の無料開放

- 市内小中学生のスポーツ施設の個人利用は無料としているため、利用促進に向けて積極的な広報活動に努め、スポーツに親しむ機会の充実を図ります。

基本施策3 家族でのスポーツ機会の充実

331 親子参加型スポーツイベントの開催

- 親子で気軽に参加できるイベント等により、楽しみながらスポーツを始めるきっかけづくりとなるよう、おかやファミリースポーツプログラムをはじめとしたスポーツ機会を提供します。
- 市内のスケートリンクを活用し、本市のスケート文化に触れ、スケートに親しむ機会となる親子参加型の氷上運動会や子どもから高齢者までを対象とした各種スケート教室等を開催します。
- プロスポーツチームの試合観戦に親子対象で招待するなど、「みる」スポーツの充実を図るとともに、親子でスポーツに親しむ機会の創出を図ります。



基本施策4 中学校運動部活動における地域移行の推進

341 学校、地域、競技団体等と連携した組織体制の構築

- 中学校の運動部活動は、少子化に伴って部活動の存続が難しくなっていることや教職員の働き方改革が求められているなかで、地域クラブ活動への移行が国から示されていることから、学校、地域の実情にあったスポーツ環境の整備と充実に努めます。
- 中学校の運動部活動の地域クラブ活動への移行に向け、休日の活動を皮切りに学校、地域、競技団体等との連携、協働により、子どもたちにとって望ましい持続可能なスポーツ環境づくりを促進します。
- 地域クラブ活動における指導者の確保と資質の向上を図ります。

●達成指標

指標名	現状 (令和6年度)	目標 (令和10年度)	備考
体力合計点	50.03点 (令和5年度実績値)	52点台	
岡谷市スポーツ少年団登録単位団数	9団体	12団体	H28~R1:11団体 R2:12団体 R3~R5:10団体
岡谷市スポーツ少年団団員数	186人	250人	

※体力合計点の達成指標数値は、令和5年度体力テスト調査において全国都道府県平均値に相当する点数を参考に設定。体力合計点は、小学5年生男女、中学2年生男女別合計点の平均による。



【基本目標4】 スポーツ環境の整備・充実

利用者が安全で快適にスポーツ活動を行えるように、スポーツ施設の長寿命化を計画的に進め、安全で安心な環境を整備します。

◆ 具体的な取組

基本施策1 スポーツ施設の整備・充実

411 安全で快適に利用できる施設整備

- 公共施設個別施設計画に基づき、適切な維持管理や計画的な改修等に取り組みます。また、信州やまなみ国スポ・全障スポ開催に向けて競技会場となる施設整備を推進します。
- やまびこ国際スケートセンターの施設のあり方についてさらに検討を進め、今後の方向性を決定します。
- 岡谷市スポーツ協会と調整を図り、市民が安全で快適にスポーツに親しめるよう、利用者視点に立った利用しやすい環境整備に努めます。
- 指定管理者と連携しながら、施設や設備など日々の細やかな点検により、利用者の安全確保に努めるとともに、必要な修繕を計画的に実施します。
- 高齢者や障がい者なども含めた市民が安心してスポーツを楽しめるよう、ユニバーサルデザインに配慮したスポーツ環境整備を推進します。
- 学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を開放し、身近でスポーツができる場を提供するとともに、施設の安全確保と利便性向上に必要な修繕等を計画的に進めます。
- 周辺の公共施設などと連携を図り、快適に利用できるスポーツ環境整備を推進します。

基本施策2 スポーツ施設の効率的な管理と有効活用

421 スポーツ施設の安定的な管理運営

- 指定管理者の運営ノウハウを活かして、市民サービスの向上と安定的かつ効率的な管理運営に努めます。また、安全、快適に施設を利用できるよう、利用者の意見を反映した管理運営を図ります。
- 市民水泳プールは、定期的な研修等により監視員の資質向上及び意識啓発を図り、万が一の際にも適切な救命措置がとれるよう、利用者の安全確保を図ります。
- 快適に施設を利用できるよう、岡谷市スポーツ協会と連携し、利用団体によるボランティア清掃等を推進するとともに、利用者のマナー向上を図ります。
- 施設使用料は、受益者負担の原則に基づき、社会情勢や近隣市町村の動向も踏まえた適正な施設使用料を設定するとともに、定期的に見直しを行います。



4 2 2 スポーツ施設の有効活用の推進

- インターネット予約システムの導入により、施設の空き状況の確認や施設予約が可能となるよう、利用しやすい環境に向けた研究を進めます。
- スマートフォンの普及に伴い、利用者の利便性を高めるため、キャッシュレス決済の導入に向けて検討を進めます。
- スポーツ施設の稼働率の低い時間帯の稼働率促進のため、指定管理者と連携しながら、利用者呼び込みのためのPRやスポーツ教室等の事業展開を図ります。
- スポーツ施設のネーミングライツ導入による新たな財源の確保に向けた研究を進めます。

基本施策3 スポーツに関する情報提供の充実

4 3 1 スポーツ機会の創出及び周知

- 大会や教室、健康増進、体力づくりなどの各種イベントの情報を広報おかややホームページ等を活用し、市民等に広く周知されるよう情報発信に努めます。
- 岡谷市スポーツ協会や指定管理者等と連携して効果的な情報提供に努め、スポーツへの関心を高めるとともにきっかけづくりの創出につなげます。

●達成目標

指標名	現状 (令和5年度)	目標 (令和10年度)	備考
スポーツ施設利用者数	357,917人	400,000人	市民総合体育館、市民水泳プール、市営岡谷球場、市営庭球場、湖畔広場、川岸スポーツ広場、やまびこ国際スケートセンター、学校体育施設

◀ 市内スポーツ施設 ▶



市民総合体育館



市民水泳プール



市営岡谷球場



市営庭球場



湖畔広場



川岸スポーツ広場



やまびこ国際スケートセンター



やまびこの森アイスアリーナ

【基本目標5】

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会の推進

令和10(2028)年に開催される第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会に向け、機運醸成を図りながら万全な開催準備を推進します。また、これを契機に、スポーツに対する市民の関心を高めるとともに、大会終了後も大会開催の成果を本市の財産として未来へ継承します。

～開催までのスケジュール予定～（令和7年3月時点）

令和9年9月	トライアスロン競技本大会リハーサル大会
令和9年10月	卓球競技本大会リハーサル大会
令和10年1月	アイスホッケー競技冬季大会
令和10年5月	卓球競技全障スポリハーサル大会
令和10年8月	綱引競技大会(公開競技)
令和10年9月	トライアスロン競技本大会
令和10年10月	卓球競技本大会・全障スポ大会



◆ 具体的な取組

基本施策1 信州やまなみ国スポ・全障スポの推進

511 信州やまなみ国スポ・全障スポの推進

- 信州やまなみ国スポ・全障スポが、昭和53(1978)年の「やまびこ国体」以来50年ぶりに開催され、本市において、本大会で卓球競技、冬季大会でアイスホッケー競技、障害者スポーツ大会で卓球競技、公開競技で綱引競技を実施します。さらに、岡谷市、諏訪市、下諏訪町の3市町共同でトライアスロン競技を実施します。
- 県や競技団体などと連携し、計画的な準備や運営体制の構築を図り、本市における開催競技の成功に向けた取組を推進します。
- 競技会場となるスポーツ施設について、計画的な施設整備を行うとともに競技開催に必要な設備等の充実を図ります。
- 大会には県内外から多くの方が来訪されることから、積極的にまちの魅力や情報を発信することで地域の活性化を図ります。
- 大会開催で得た経験と成果を本市の財産として継承し、スポーツの振興と推進につなげます。

基本施策2 大会に向けた機運の醸成

521 信州やまなみ国スポ・全障スポの魅力発信、機運醸成

- 信州やまなみ国スポ・全障スポが本市で開催されることを積極的に広報し、広く市民に周知されるよう啓発活動を展開します。
- 各種競技団体等と連携し、開催競技の魅力を発信することにより、スポーツに対する興味、関心といった意識の向上につなげます。
- 市民総合体育館が保有する卓球台は県下有数の台数を誇ることを強みに、卓球競技の強化、推進に努めます。

■アイスホッケー競技会場となるやまびこの森アイスアリーナは県下有数の屋内スケートリンクであり、当リンクを活用したアイスホッケー競技やスケート競技等の強化、推進に努めます。

基本施策3 大会に向けた体制づくり

531 岡谷市実行委員会組織の立ち上げ

■実行委員会組織とそれに伴う各種関係機関や団体を立ち上げ、多岐に渡る開催準備を進めます。

532 スポーツボランティアの募集

■50年ぶりに開催される大会の運営を支えるほか、全国から訪れる選手等のおもてなしなど、市民と一体となって大会成功に向けて活動していくため、スポーツボランティアを募集します。

●達成目標

指標名	目標 (令和10年度)	備考
信州やまなみ 国スポ・全障スポ満足度	80%	選手、観客、その他関係者へのアンケートの実施により評価する。

◀ 岡谷市で開催される競技 ▶



正式競技、全障スポ：卓球
(サウンドテーブルテニス含む)



冬季競技：アイスホッケー



正式競技：トライアスロン
(諏訪市、下諏訪町と共同開催)



公開競技：綱引

第4章 計画の推進体制と評価

1 計画の推進体制

関係部局との横断的な連携により実効性のある取組を展開します。

また、地域の関係団体がそれぞれの役割と責任が果たせるよう互いに連携協力を図ります。

2 計画の検証と評価

第5次岡谷市総合計画後期基本計画における成果指標（KPI）により数値目標の達成度を把握します。

また、関係諸団体等からの提言を踏まえ、取組の成果や課題を検証、評価し、次年度の施策展開に反映します。

3 計画の見直し

計画の推進にあたっては、本市の財政状況やスポーツ振興をめぐる情勢の変化を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。

資料編

岡谷市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱	37
岡谷市スポーツ推進計画策定経過	38
岡谷市スポーツ推進計画策定委員会名簿	39
用語解説	40
岡谷市・長野県・全国の体力・運動能力調査データ	42
岡谷市スポーツ施設MAP	44
スポーツ振興に関するアンケート調査集計結果報告書	46

岡谷市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第10条第1項の規定により、岡谷市スポーツ推進計画(以下「推進計画」という。)を策定するため、岡谷市スポーツ推進計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 推進計画の策定に関する事項
- (2) その他岡谷市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が特に必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱又は任命する。

- (1) スポーツ団体関係者
- (2) 学校関係者
- (3) 教育団体関係者
- (4) 障がい者団体関係者
- (5) 医療・健康等学識経験者
- (6) その他教育委員会が必要と認める者

3 委員会に委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

(職務)

第4条 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、委嘱又は任命の日から計画の策定が完了する日までの期間とする。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員長は、必要に応じ委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

(事務局)

第7条 委員会の事務局は、教育部スポーツ振興課に置く。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、令和元年5月1日から施行する。

岡谷市スポーツ推進計画策定経過

年月日	会議等	内容
R6. 5. 21	岡谷市スポーツ推進計画策定委員会の 委嘱書等交付式及び第1回岡谷市スポーツ 推進計画策定委員会	○委嘱書等の交付式 ○正副委員長の選出 ○岡谷市スポーツ推進計画の概要説明 ○次期プラン策定の進め方 ○市民アンケート内容の確認
R6. 7. 16	市民アンケート	○スポーツ振興に関する アンケート調査の実施
R6. 9. 27	第2回岡谷市スポーツ推進計画策定 委員会	○市民アンケート結果報告 ○プランについて協議
R6. 10. 31	第3回岡谷市スポーツ推進計画策定 委員会	○プラン（素案）について協議
R6. 11. 8	岡谷市定例教育委員会	○プラン（素案）について協議
R6. 12. 13	第4回岡谷市スポーツ推進計画策定 委員会	○プラン（案）について協議
R6. 12. 25 R7. 1. 14	パブリックコメント 庁内各部署への照会	○プラン（案）について市民からの 意見聴取
R7. 1. 20	部長会議	○プラン（案）について協議
R7. 2. 3	第5回岡谷市スポーツ推進計画策定 委員会	○プラン（案）について協議
R7. 2. 7	岡谷市定例教育委員会	○プランの決定
R7. 2. 28	行政管理委員会	○プランの報告
R7. 3. 11	岡谷市議会総務委員会	○プランの報告

岡谷市スポーツ推進計画策定委員会名簿

※順不同、敬称略

	氏名	役職
委員長	武井 富美男	公益財団法人 岡谷市スポーツ協会 会長
副委員長	宇治 浩	岡谷市スポーツ少年団 本部長
委員	田中 仁之	岡谷市スポーツ推進委員 委員長
委員	高林 順三	総合型地域スポーツクラブ 理事長
委員	守屋 守	市内小中学校校長会 代表者
委員	小池 修次	社会教育委員の会議 会長
委員	吉川 恭子	ハンデサポートおかや
委員	石橋 百合子	健康推進課（保健師）
委員	濱 敦志	教育総務課（学校教育）
委員	清水 浩史	生涯学習課（生涯学習推進）
委員	高山 理恵	社会福祉課（障がい福祉）
委員	赤羽 恵実	介護福祉課（介護予防）
委員	小口 和久	子ども課（保育）

事務局・・・・・・・・スポーツ振興課

用語解説

ア行	
ウェルビーイング (Well-being)	身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含み、また、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念。
エースドッジボール	エースドッジボールは、昭和 61 年に誕生した岡谷市発祥のスポーツであり、基本的なルールはドッジボールに類似しているが、勝敗は 1 チームに 1 人のエースマンを置き、いかに早くエースマンにボールを当てるかを競う。チーム全員でエースマンを守ることで自らが犠牲となり、人のためになることが人と人とのつながりとなることや、お互いを思いやる気持ちを育むことを目的としている。
おかやキッズ体育塾	受講者に達成したい目標（鉄棒、跳び箱等）を設定させ、指導員がその達成に向けて楽しく体力アップや体の動かし方を教えていく、年長児から小学生を対象とした教室。運動に苦手意識がある子どもも自信が持てるような取組を交えることで、体育授業に取り組む意識改善にも繋がっている。
おかやスピードスケート トータルサポートクラブ	年間を通して、スピードスケートにおける陸上トレーニング及び氷上トレーニングを実施する教室。スケートを始めるきっかけづくりとなる「初心者～上級者コース」と技術習得、向上、大会で好成績を収めることを目的とした「アスリートコース」の 2 コースがあり、自分に合ったコースを選んで受講することができる。
岡谷市スポーツ少年団	子どもたちが自由時間に地域社会でスポーツを中心としたグループ活動を行う団体であり、（公財）日本スポーツ協会が1962年に創立50周年記念事業として、「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを!」、「スポーツを通して青少年のからだところを育てる組織を地域社会の中に!」と願い創設された。スポーツ少年団の指導者は、各種講習会等への参加により、幅広い知識や技能を身に付けることができる。
岡谷市スポーツ協会	岡谷市のスポーツ総括団体であるとともに、市民の体力向上及びスポーツの振興に寄与することを目的とした公益財団法人。各種競技団体が加盟している。
おかやファミリー スポーツプログラム	スポーツを始めるきっかけとして家族を対象にした遊びを通した体験型スポーツイベント。
カ行	
健康寿命の延伸	健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間を指し、健康寿命の延伸とは、健康寿命を延ばすことをめざした取組。生産年齢人口の減少や社会保障費の増加などの課題に対応するため、日本の重要政策として重視されている。適切な食事、睡眠、生活習慣病、がんの発症予防等をはじめとした様々な取組があるなかで、身体活動も一つの要素として取り上げられている。
サ行	
指定管理者制度	多様な住民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上に努め、経費の節減等を図ることを目的として、平成15年の地方自治法改正により創設された。地方公共団体が法人その他の団体（民間事業者等を広く含む）を指定管理者として指定し、公の施設の管理を行わせる制度。
スチューデントファースト	学習者本位の意。運動部活動が適切かつ効果的な活動となることをめざし、示された長野県中学生期のスポーツ活動指針の策定の趣旨に謳われている。

スポーツクラブ	スポーツ愛好者が結成する集団であり、地域社会や学校、企業といった共同体の結びつきによって集まり、スポーツ活動を行っている団体のこと。
スポーツ推進委員	市町村におけるスポーツの推進のため、事業の実施に係る連絡調整並びにスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導及び助言をする者。社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、職務を行うため必要な熱意と能力を有する者を市町村教育委員会が委嘱する。平成23年のスポーツ基本法制定時に、従前の体育指導員から改称された。
スポーツ振興に関するアンケート調査	第3次スポーツ推進計画の策定にあたり、市民からの意見や要望等を聴取し、本市のスポーツ行政における現状や課題を把握するため本市が独自に実施したアンケート調査。※調査対象：岡谷市在住の満18歳以上の1,000人（無作為抽出）
スポーツボランティア	スポーツクラブや団体、大会などの運営や指導活動に、報酬を目的とせずに参加する人のこと。スポーツの普及や振興に貢献する役割を担っており、地域社会に貢献できる活動として捉えられている。
総合型地域スポーツクラブ	「誰でも」「いつでも」「世代をこえて」「好きなレベルで」「いろいろなスポーツ」を楽しむことができ、地域住民が主体的に運営する総合的なスポーツクラブのこと。
タ行	
体力テスト・体力合計点	文部科学省が全国一律に、毎年、小中学生を対象に行う「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、実施する実技種目の握力、50m走、ボール投げ、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン（中学生は、持久走か20mシャトルランのどちらかを選択）、立ち幅とびの8種目を点数化して合計したもの。
トップアスリート	その競技で最高水準の実力を認められているスポーツ選手。
ナ行	
ニュースポーツ	それぞれの体力や年齢、障がいの有無にかかわらず、誰でも気軽に取り組むことのできるスポーツの総称。
ネーミングライツ	公共施設の名称に社名やブランド名を付与する命名権と、付帯する諸権利のこと。
ハ行	
ハンデサポートおकाや	市内の障がい者の支援活動をしている団体及び障がい福祉施設等で構成されており、障がい者の社会参加の促進や市民との交流等を目的とした団体。
パブリックコメント	条例や計画などを作成する過程において、事前にその趣旨や内容を公表し、市民から広く意見を募り、計画等に反映させる手続き。
部活動の地域移行	学校が主体となって行われてきた中学校の部活動の指導を地域のクラブや団体に移行する取組。長野県では2026年までの移行を目標としている。
ヤ行	
ユニバーサルデザイン	「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や性別、身体的能力、言語などの違いにかかわらず、誰もが利用しやすいデザインのこと。

岡谷市・長野県・全国の体力・運動能力調査データ(男子)

		男子								
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
身長 (cm)	岡谷市	118.06	122.99	128.36	132.65	139.06	145.75	153.55	159.07	165.03
	長野県	116.59	122.58	128.37	133.57	139.09	146.13	153.63	160.34	165.59
	全国	117.40	122.60	128.78	133.56	139.76	146.47	154.68	161.39	166.02
体重 (kg)	岡谷市	22.16	24.22	27.57	30.67	33.12	38.44	45.52	48.73	55.83
	長野県	21.47	24.29	27.65	31.00	34.81	39.48	45.09	49.76	55.05
	全国	21.58	23.86	27.22	30.54	34.67	39.00	44.99	49.49	53.75
握力 (kg)	岡谷市	9.79	12.48	13.15	14.33	16.58	20.33	25.36	31.52	36.11
	長野県	9.38	11.36	12.95	14.34	17.11	20.51	24.31	29.70	34.69
	全国	9.13	10.76	12.46	14.31	16.73	19.48	24.69	30.21	34.53
上体 起こし (回)	岡谷市	11.32	15.67	16.20	16.53	20.06	22.44	21.86	26.71	29.59
	長野県	11.19	14.22	15.85	16.66	19.37	20.69	22.76	25.79	27.83
	全国	11.82	14.45	16.05	17.96	20.01	21.63	23.68	26.59	28.63
長座 体前屈 (cm)	岡谷市	27.74	29.19	28.50	34.60	39.80	38.88	49.83	48.39	48.09
	長野県	24.60	26.79	29.22	30.38	34.36	36.49	41.51	45.63	47.28
	全国	26.56	28.15	29.91	31.97	34.35	36.61	40.67	45.14	49.23
反復 横とび (点)	岡谷市	27.94	34.66	36.30	38.45	41.91	46.10	47.42	50.39	52.11
	長野県	26.35	30.88	33.80	36.40	41.18	45.27	46.36	49.48	52.53
	全国	27.36	31.10	34.64	38.30	42.73	45.51	50.14	52.95	56.01
20m シャトルラン (回)	岡谷市	16.39	27.14	38.93	43.12	48.29	58.45	59.74	81.13	73.47
	長野県	19.44	28.48	35.43	39.64	49.23	56.88	62.97	76.52	83.74
	全国	18.11	27.70	35.17	42.79	51.19	57.46	67.24	83.80	90.80
50m走 (秒)	岡谷市	11.50	10.65	10.47	10.07	9.86	8.93	8.45	7.80	7.63
	長野県	11.60	10.88	10.20	10.07	9.51	9.10	8.50	7.90	7.51
	全国	11.47	10.59	10.13	9.70	9.30	8.94	8.37	7.83	7.49
立ち幅 とび (cm)	岡谷市	122.65	136.82	150.02	143.47	157.78	175.76	178.97	200.87	208.86
	長野県	114.94	124.83	135.74	142.41	152.05	164.60	181.75	198.24	214.09
	全国	116.98	127.41	136.59	145.25	156.04	166.14	186.11	203.79	217.30
ボール 投げ (m)	岡谷市	8.75	13.45	15.70	16.06	21.80	27.59	18.06	22.10	23.94
	長野県	8.35	11.80	14.99	17.72	21.39	25.07	17.92	21.04	23.96
	全国	8.27	11.38	14.98	18.17	21.88	25.39	17.98	21.03	23.80
体力 合計点	岡谷市	31.82	40.68	44.48	48.37	54.64	62.02	34.41	43.86	48.13
	長野県	30.16	37.66	43.39	46.62	53.67	59.72	33.47	41.94	48.57
	全国	30.73	37.99	43.41	48.98	55.36	60.26	35.47	44.11	50.55

※2023年度 各市町村と長野県と全国の平均値の比較より

岡谷市・長野県・全国の体力・運動能力調査データ(女子)

		女子								
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
身長 (cm)	岡谷市	115.40	121.81	130.28	133.74	141.02	146.92	150.97	154.29	156.09
	長野県	115.78	121.45	127.87	133.80	140.49	147.38	152.00	154.94	156.24
	全国	116.03	121.86	128.07	134.42	141.42	147.62	152.35	155.24	156.54
体重 (kg)	岡谷市	20.74	23.54	28.29	30.19	34.45	38.10	44.97	47.67	49.19
	長野県	20.84	23.36	26.91	30.21	34.67	40.02	43.60	46.59	49.80
	全国	21.02	23.60	26.93	30.17	34.76	39.78	43.53	46.77	48.88
握力 (kg)	岡谷市	8.64	11.39	11.62	14.38	16.62	19.52	22.25	25.11	26.31
	長野県	8.65	10.44	12.14	13.61	16.41	19.60	21.70	23.79	25.33
	全国	8.52	10.09	11.76	13.88	16.45	18.66	21.38	23.99	25.24
上体 起こし (回)	岡谷市	9.81	15.60	14.62	17.11	18.16	19.50	17.16	19.86	20.91
	長野県	10.85	13.50	14.85	15.86	17.57	18.99	19.30	21.32	22.56
	全国	11.77	13.63	15.70	17.27	18.50	19.48	19.93	22.54	24.00
長座 体前屈 (cm)	岡谷市	29.23	32.33	33.53	35.65	42.30	43.45	48.36	50.00	48.47
	長野県	27.34	29.68	32.34	33.88	38.71	40.77	45.40	47.58	49.61
	全国	28.49	30.64	33.08	35.68	37.81	41.14	44.40	47.30	49.39
反復 横とび (点)	岡谷市	27.29	32.43	34.79	38.31	38.76	43.22	42.77	44.28	46.16
	長野県	26.12	29.86	32.34	34.84	38.53	41.99	42.80	44.11	45.05
	全国	26.88	29.88	33.34	36.89	39.93	42.15	45.20	47.86	48.59
20m シャトルラン (回)	岡谷市	17.31	20.74	28.82	34.53	35.15	44.30	35.79	42.22	43.03
	長野県	16.57	22.11	26.79	31.14	38.24	41.73	44.38	49.62	49.97
	全国	15.60	21.59	27.77	33.98	40.44	45.08	49.37	56.25	56.21
50m走 (秒)	岡谷市	11.97	11.37	10.93	10.06	10.08	9.22	9.45	9.01	8.90
	長野県	11.89	11.15	10.58	10.35	9.81	9.42	9.11	8.87	8.73
	全国	11.77	10.95	10.42	10.00	9.57	9.26	9.02	8.76	8.68
立ち幅 とび (cm)	岡谷市	111.43	124.44	136.65	142.53	155.75	163.54	150.43	152.06	167.47
	長野県	106.99	117.80	128.24	134.26	143.59	152.23	161.92	166.47	172.40
	全国	108.42	119.62	128.26	137.98	148.68	154.71	167.06	172.96	176.01
ボール 投げ (m)	岡谷市	5.81	8.11	9.94	12.84	13.74	16.31	10.43	11.68	13.19
	長野県	5.81	7.82	9.83	11.75	14.10	15.91	11.39	12.65	13.74
	全国	5.63	7.37	9.33	11.53	13.42	15.22	11.58	13.32	14.05
体力 合計点	岡谷市	31.86	40.52	44.79	51.17	55.74	62.37	39.12	45.89	49.50
	長野県	30.48	38.14	43.70	47.81	54.47	59.64	42.78	47.68	50.83
	全国	30.90	38.04	44.20	50.06	55.65	60.23	44.62	51.04	53.39

※2023年度 各市町村と長野県と全国の平均値の比較より

岡谷市スポーツ施設MAP



岡谷市内スポーツ施設

各施設を有効利用してスポーツの振興につなげていきます。

MAP 番号	名 称	所在地	電 話
①	市民総合体育館スワンドーム・東体育館	岡谷市南宮 3-2-1	22-8800
	市民水泳プール		
	市営庭球場		
	スケートボード場		
②	市営岡谷球場	岡谷市神明町 1-1-1	
③	湖畔広場	岡谷市湖畔 4-10020-11	
④	川岸スポーツ広場	岡谷市川岸上 3-1945-14	
⑤	やまびこ国際スケートセンター	岡谷市内山 4769-14	24-5210
⑥	やまびこの森アイスアリーナ		24-2494
⑦	岡谷湖畔公園 多目的広場	岡谷市湖畔 3丁目	22-6313
⑧	岡谷湖畔公園 マレットゴルフ場	岡谷市湖畔 4丁目	
⑨	鳥居平やまびこ公園 スポーツ広場	岡谷市内山4769-14	
	鳥居平やまびこ公園 テニスコート		
-	岡谷湖畔公園 サイクリングロード・ジョギングロード	諏訪湖周	-
-	学校体育施設	市内小中学校体育館、校庭	22-8800

スポーツ振興に関するアンケート調査 集計結果報告書

アンケート調査概要

1 調査目的

市民のみなさまが行う運動やスポーツについての考えや意見を伺い、「第3次岡谷市スポーツ推進計画」の基礎資料とします。

2 調査対象

岡谷市在住の満18歳以上の1,000人（住民基本台帳から無作為抽出）

3 調査期間

令和6年7月16日（火）から8月5日（月）まで

4 調査方法

郵送による配布及び回収、WEB回答（アンケートは無記名回答）

5 回収結果

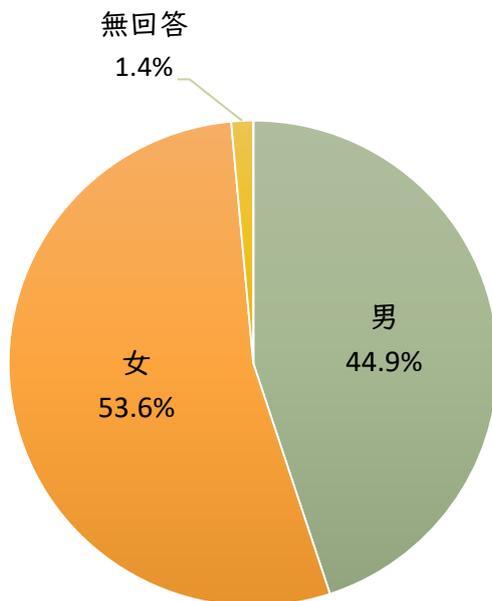
- ・回収数 414 人 (41.4%)
- ・郵送回収 321 人 (32.1%)
- ・WEB回答 93 人 (9.3%)

6 その他

- ・四捨五入の関係から、構成比の合計が100%にならない箇所がある。

【問1】 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

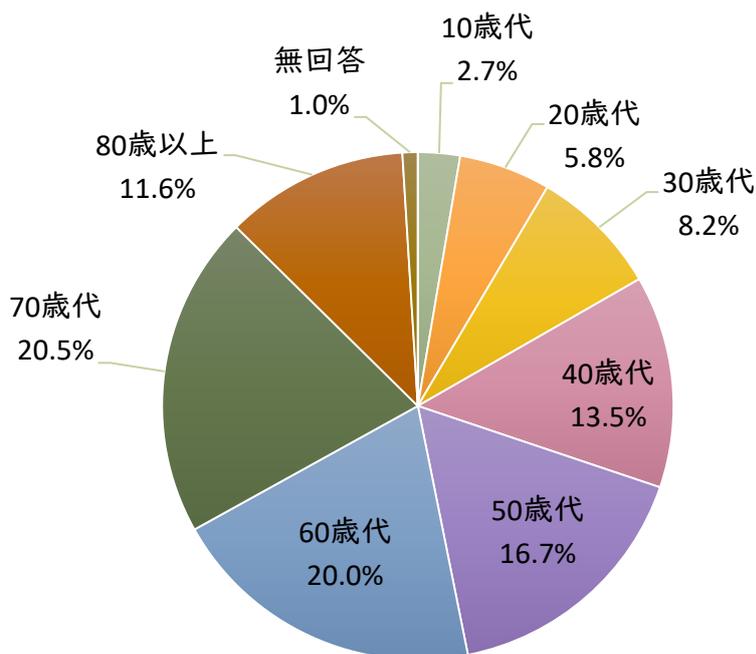
性別は「男」(44.9%)、「女」(53.6%) となった。



回答者414名

【問2】 あなたの年齢を教えてください。(〇は1つ)

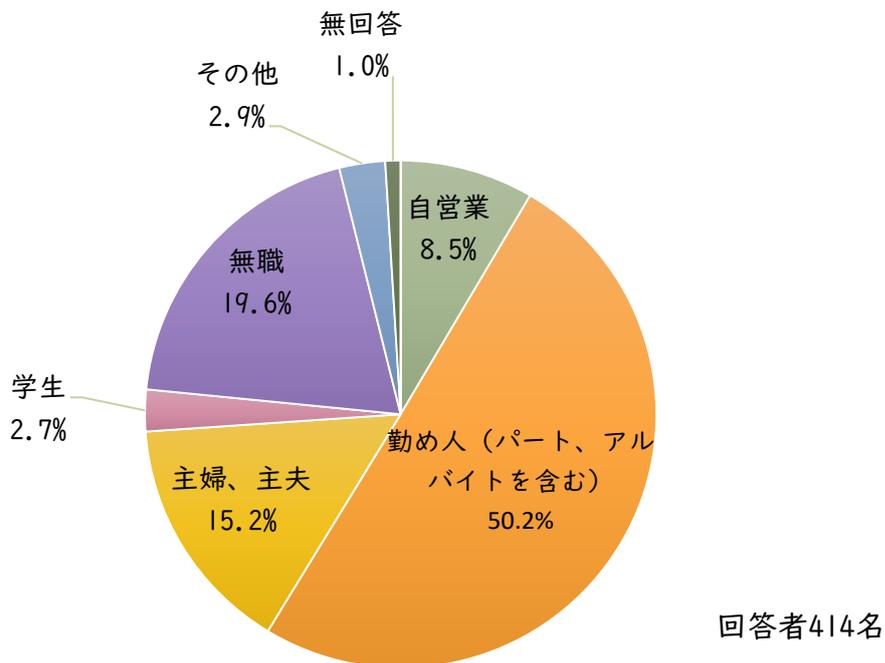
年齢は「70 歳代」(20.5%) が最も高く、次いで「60 歳代」(20.0%)、「50 歳代」(16.7%) の順となった。



回答者414名

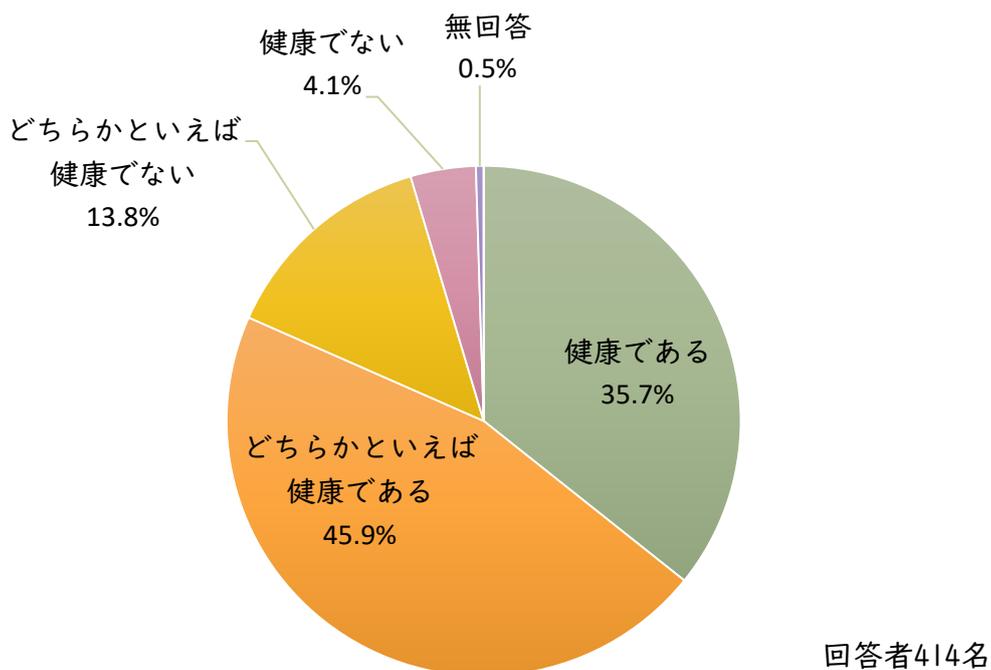
【問3】 あなたの職業を教えてください。(〇は1つ)

職業は「勤め人(パート、アルバイトを含む)」(50.2%)が最も高く、次いで「無職」(19.6%)、「主婦、主夫」(15.2%)の順となった。



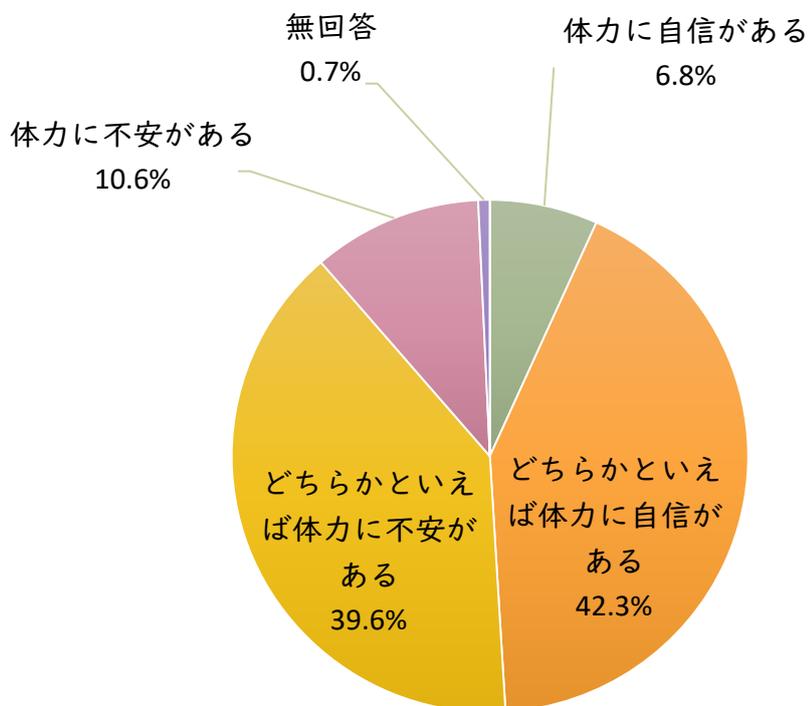
【問4】 あなたの健康状態について、このところ健康だと思いますか。(〇は1つ)

健康状態について、健康だと思うかは「どちらかといえば健康である」(45.9%)が最も高く、次いで「健康である」(35.7%)、「どちらかといえば健康でない」(13.8%)の順となった。



【問5】 あなたは自分の体力について、どのように感じていますか。(〇は1つ)

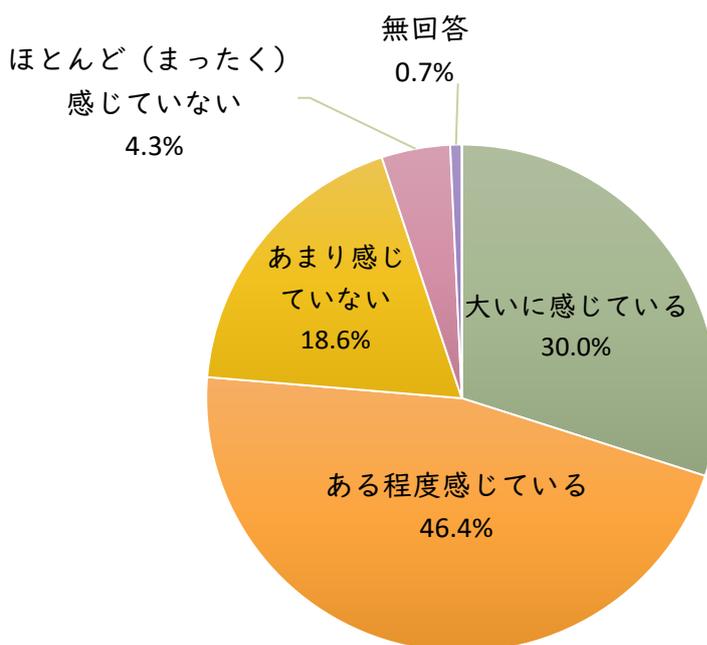
自分の体力について、どのように感じているかは、「どちらかといえば体力に自信がある」(42.3%)が最も高く、次いで「どちらかといえば体力に不安がある」(39.6%)、「体力に不安がある」(10.6%)の順となった。



回答者414名

【問6】 あなたは普段、運動不足を感じていますか。(〇は1つ)

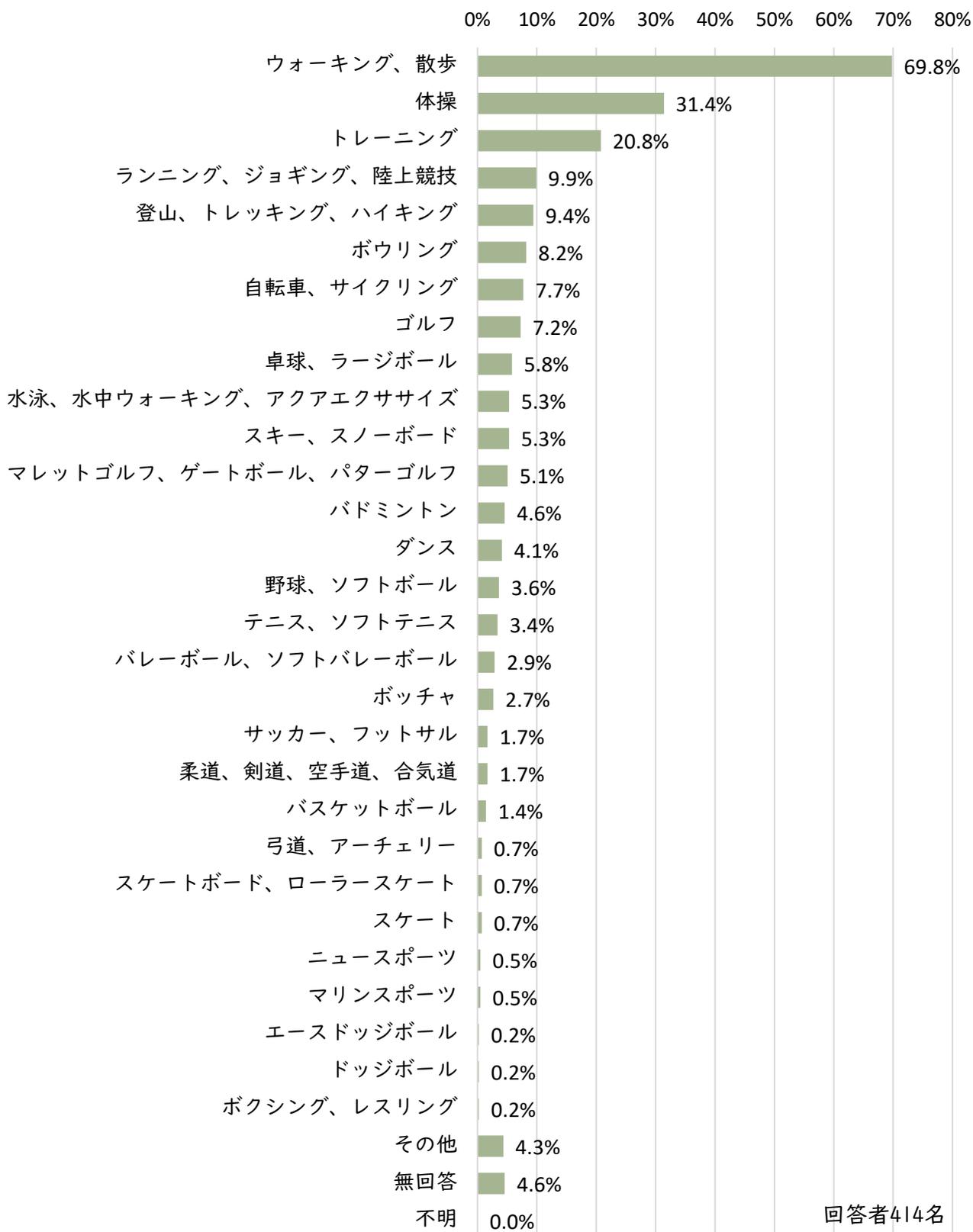
普段、運動不足を感じているかは「ある程度感じている」(46.4%)が最も高く、次いで「大いに感じている」(30.0%)、「あまり感じていない」(18.6%)の順となった。



回答者414名

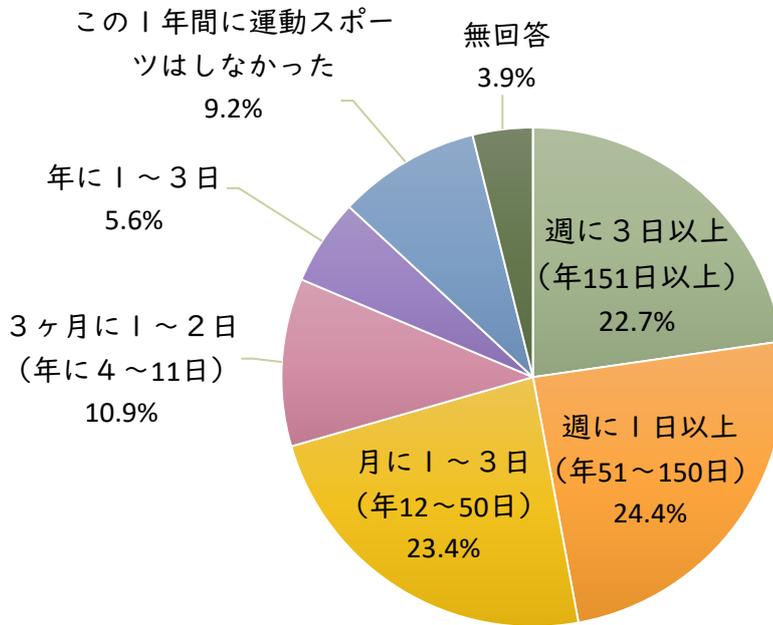
【問7】 あなたがこの1年間に行った運動、スポーツは、どのようなものですか。(〇はいくつでも)

この1年間に行った運動、スポーツは、「ウォーキング、散歩」(69.8%)が最も高く、次いで「体操」(31.4%)、「トレーニング」(20.8%)の順となった。



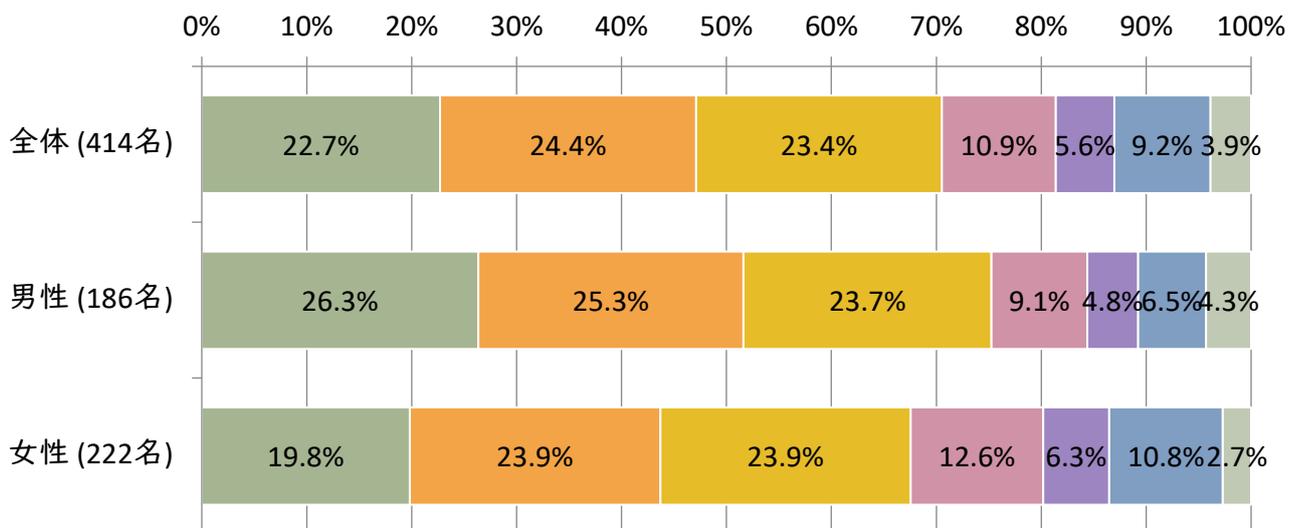
【問8】 【問7】の回答を踏まえ、この1年間に運動スポーツした日数をあわせると何日くらいになりますか。(〇は1つ)

1年間に運動スポーツした日数が何日くらいかは「週に1日以上(年51~150日)」(24.4%)が最も高く、次いで「月に1~3日(年12~50日)」(23.4%)、「週に3日以上(年151日以上)」(22.7%)の順となった。



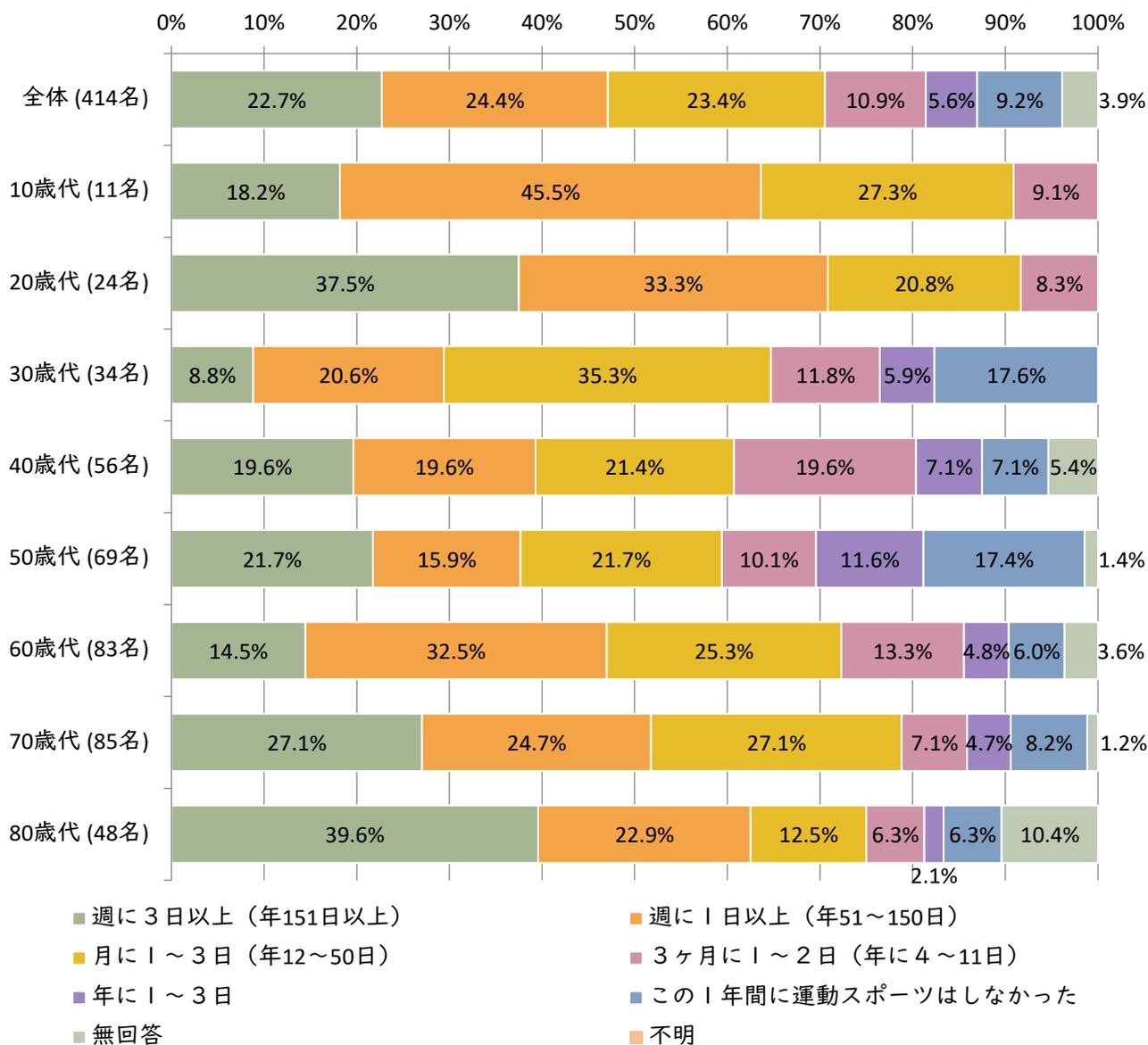
回答者414名

【性別】



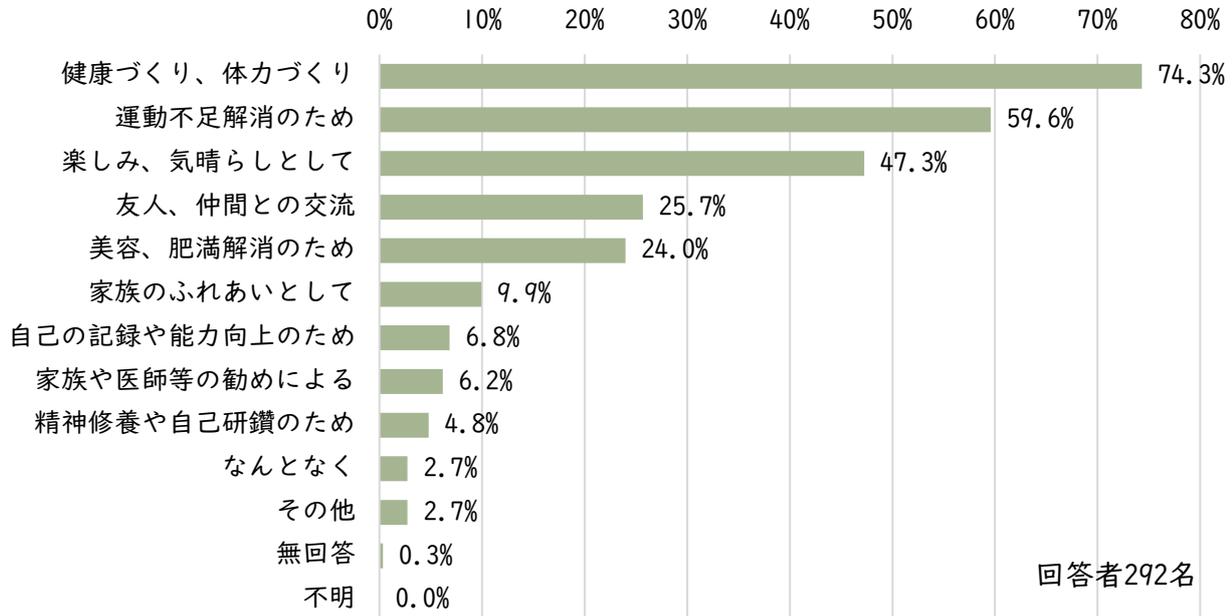
- 週に3日以上 (年151日以上)
- 週に1日以上 (年51~150日)
- 月に1~3日 (年12~50日)
- 3ヶ月に1~2日 (年に4~11日)
- 年に1~3日
- この1年間に運動スポーツはしなかった
- 無回答
- 不明

【年代】

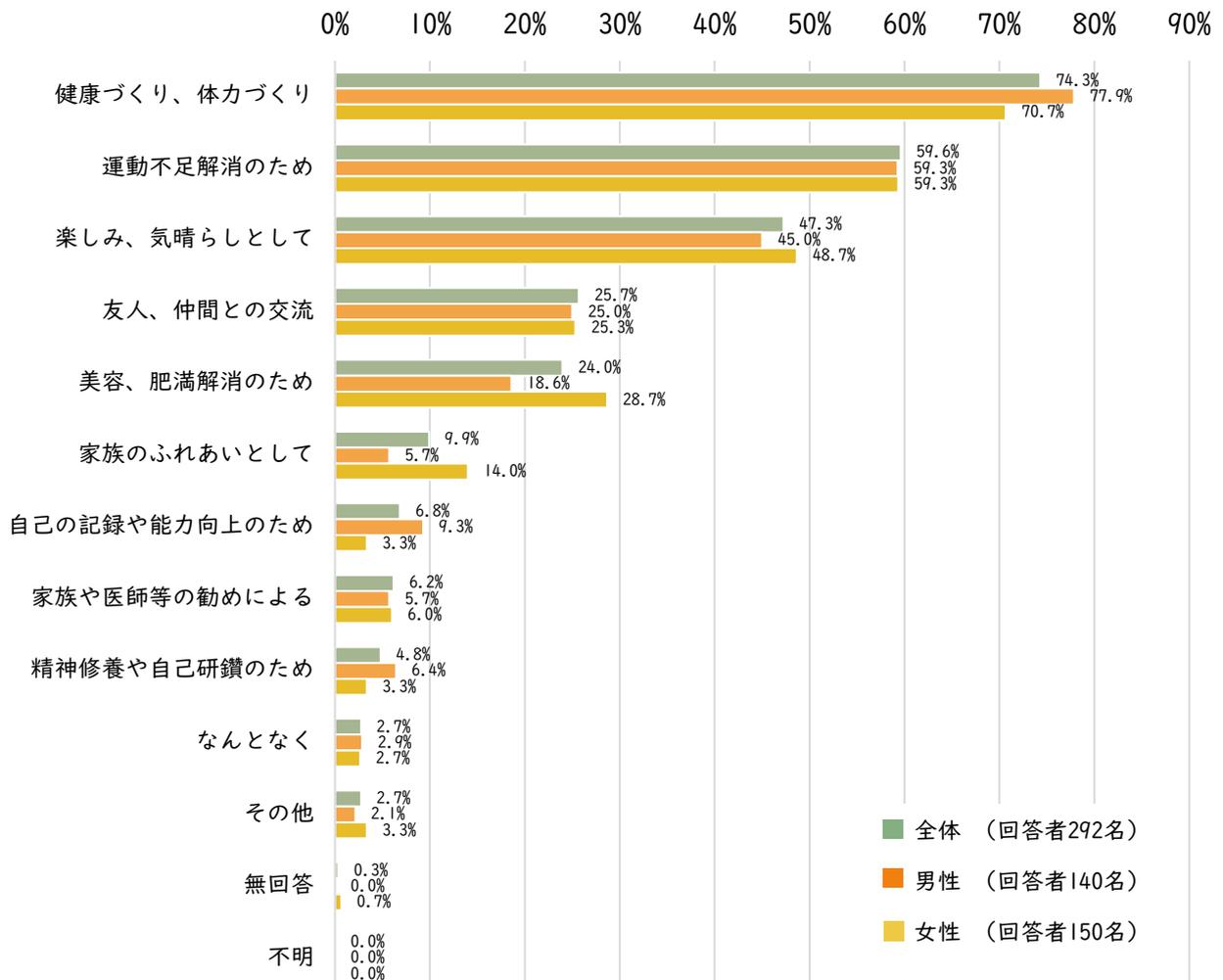


【問9】あなたが運動スポーツをする目的はなんですか。(〇はいくつでも)

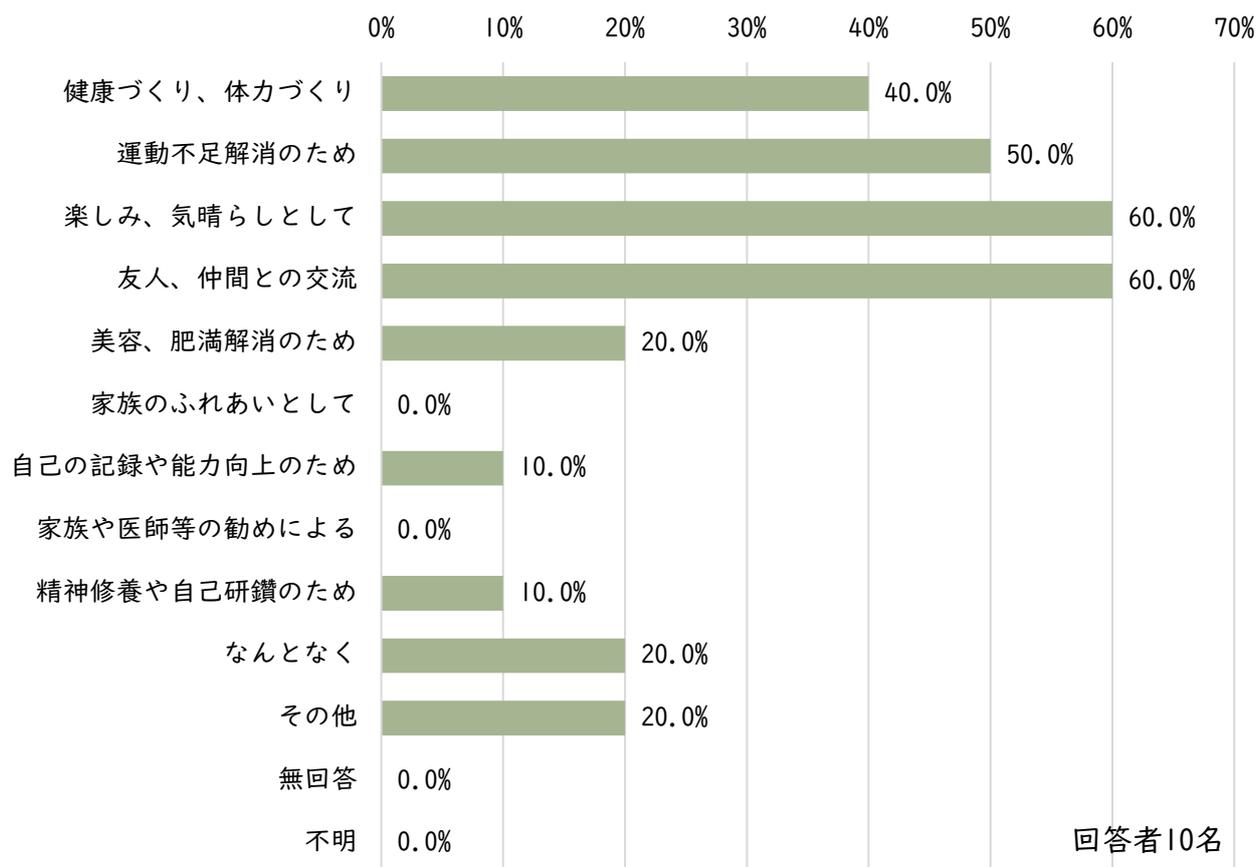
運動スポーツをする目的は、「健康づくり、体力づくり」(74.3%)が最も高く、次いで「運動不足解消のため」(59.6%)、「楽しみ、気晴らしとして」(47.3%)の順となった。



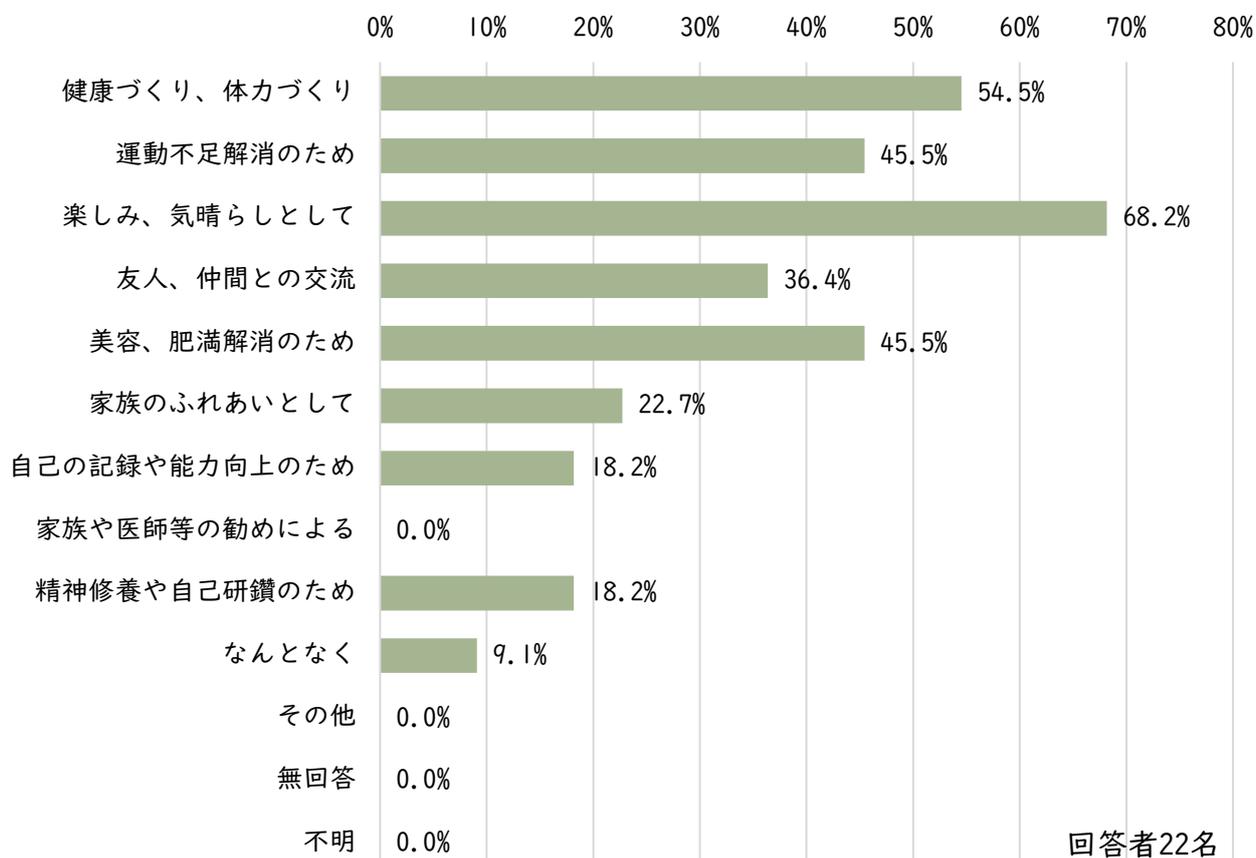
【性別】



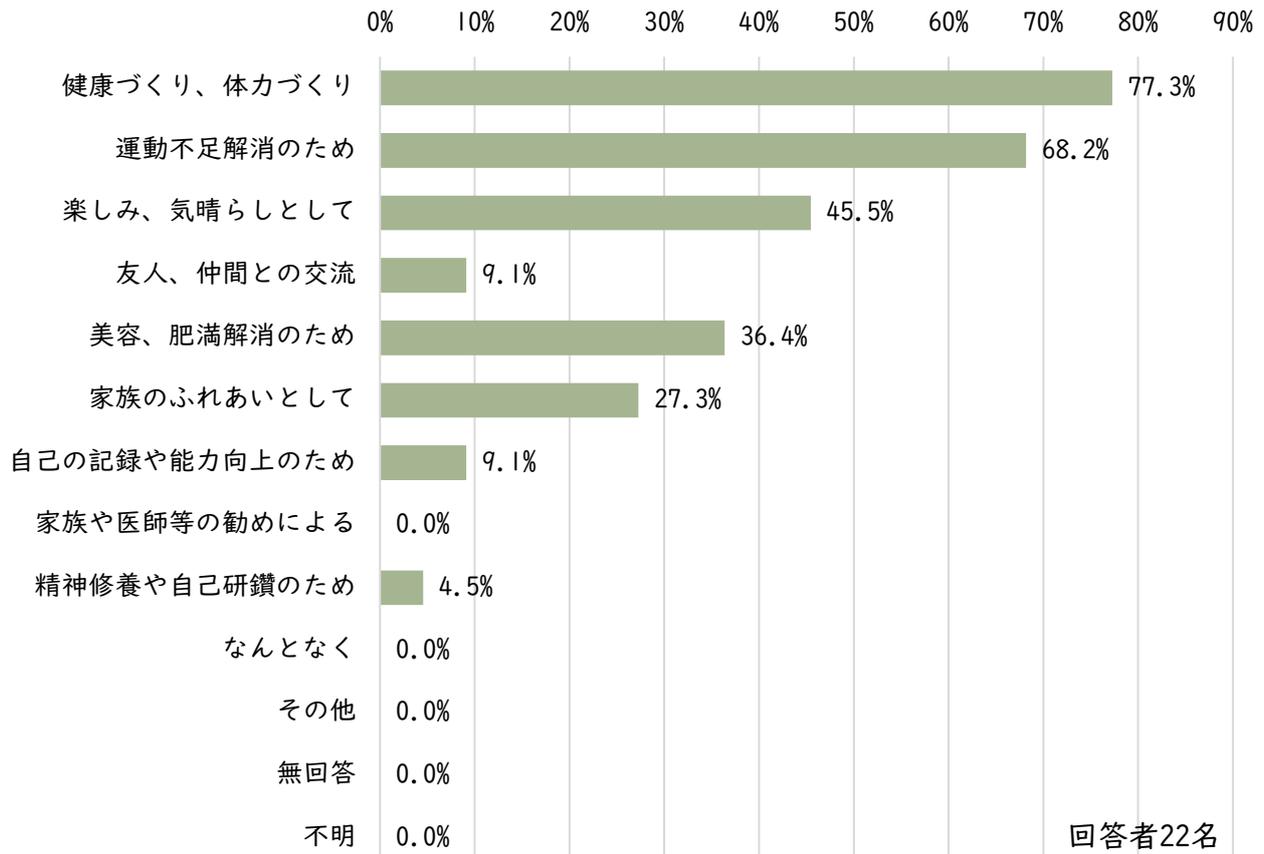
【10 歳代】



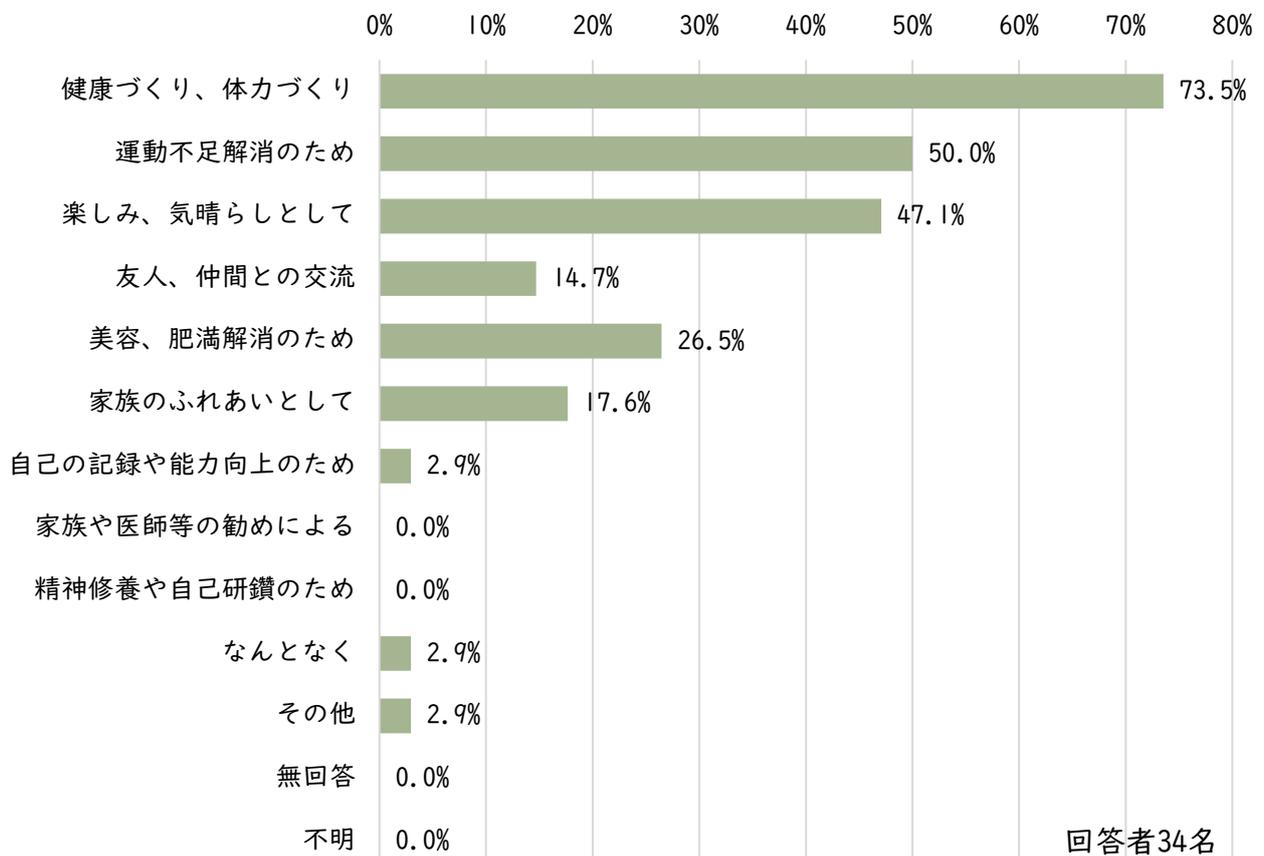
【20 歳代】



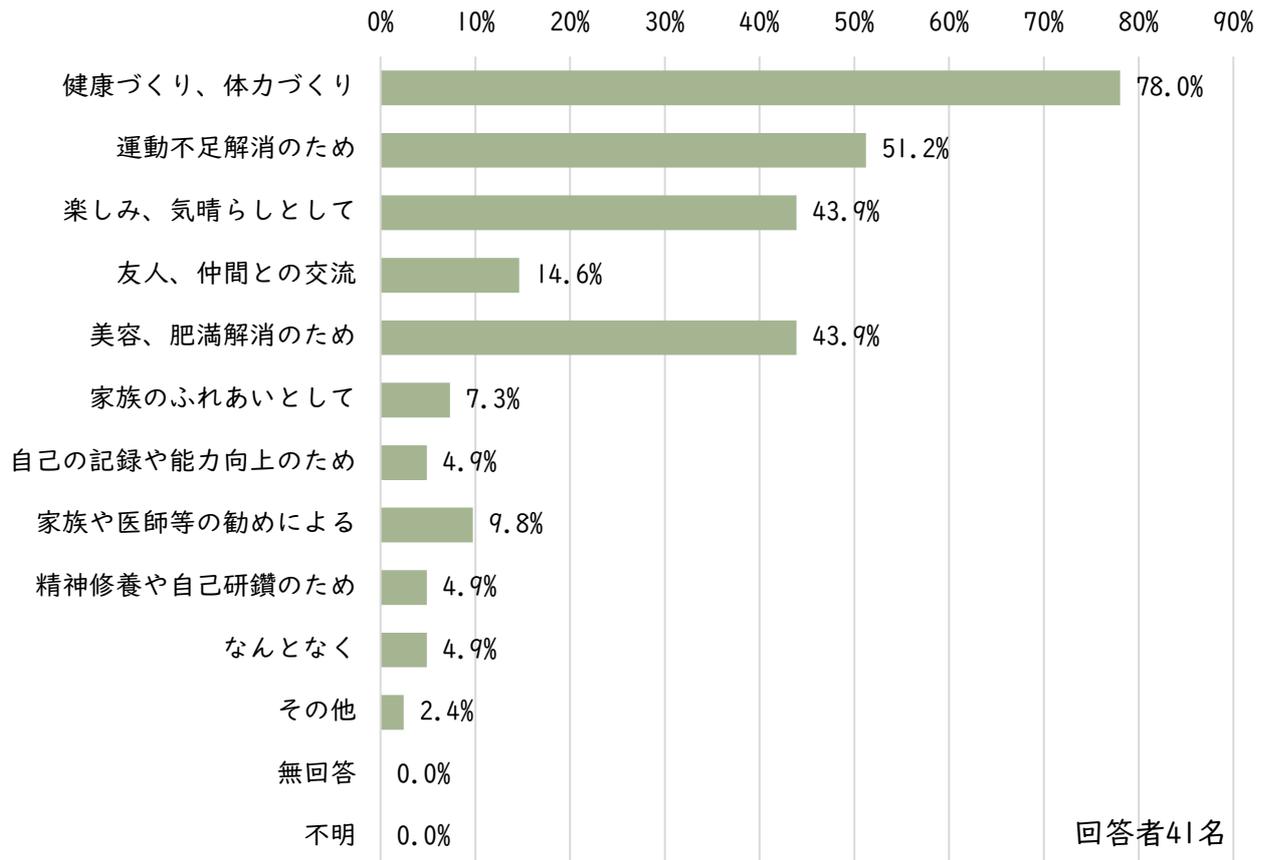
【30 歳代】



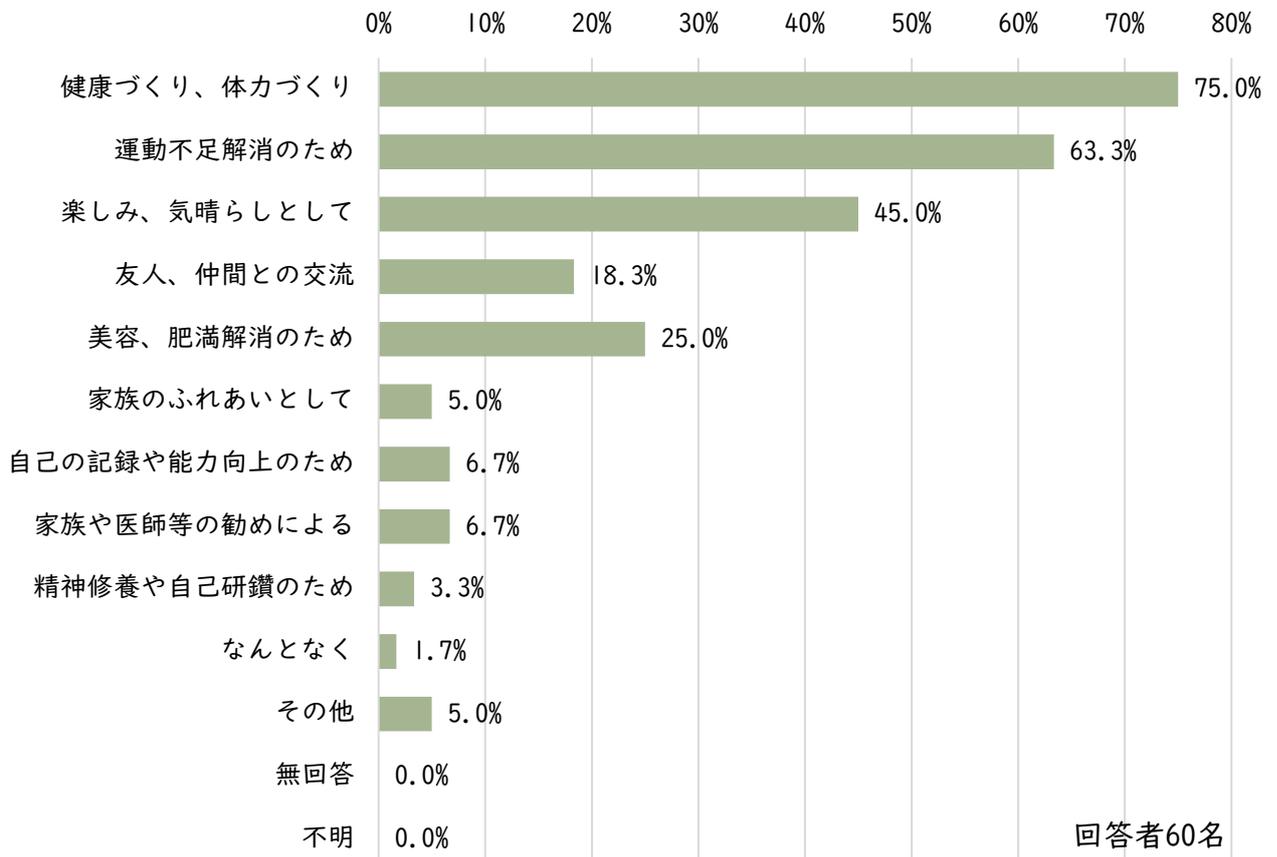
【40 歳代】



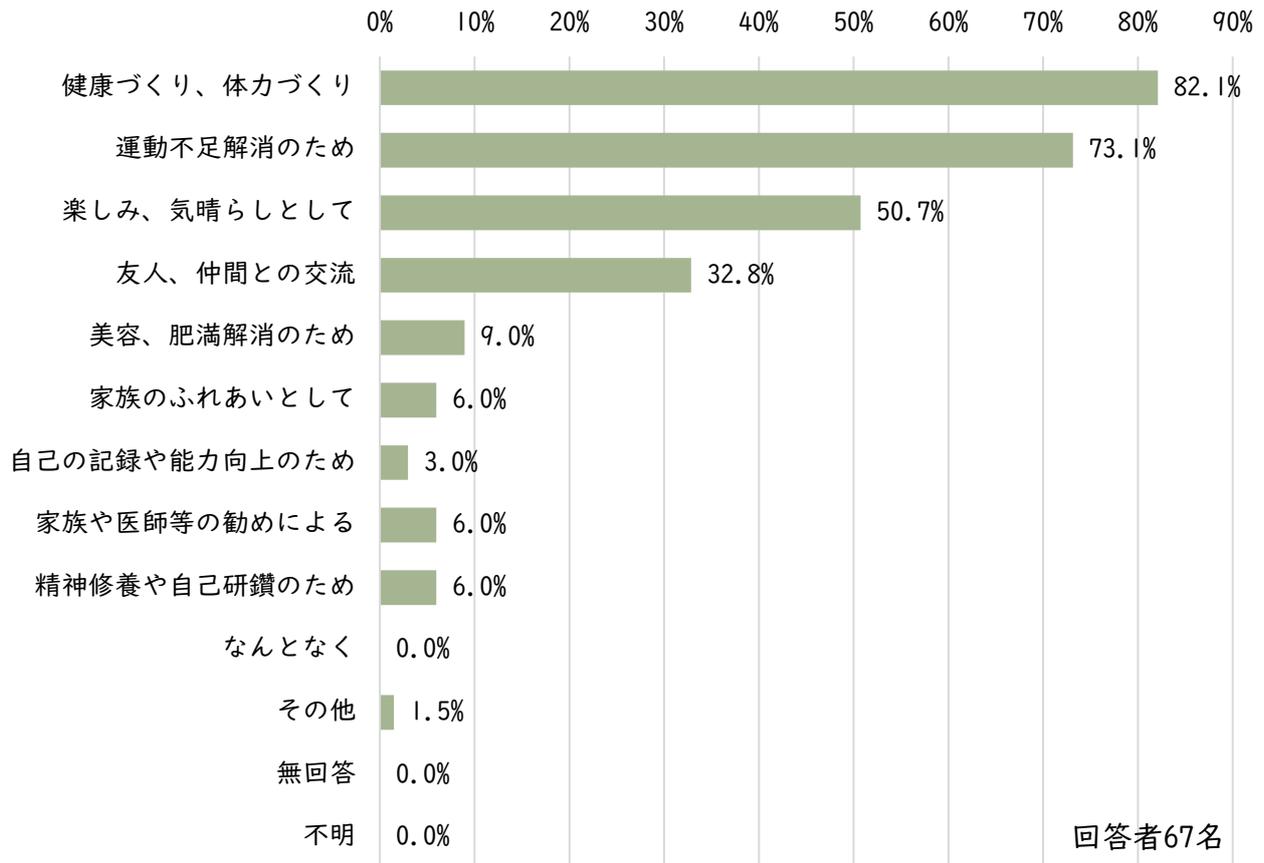
【50 歳代】



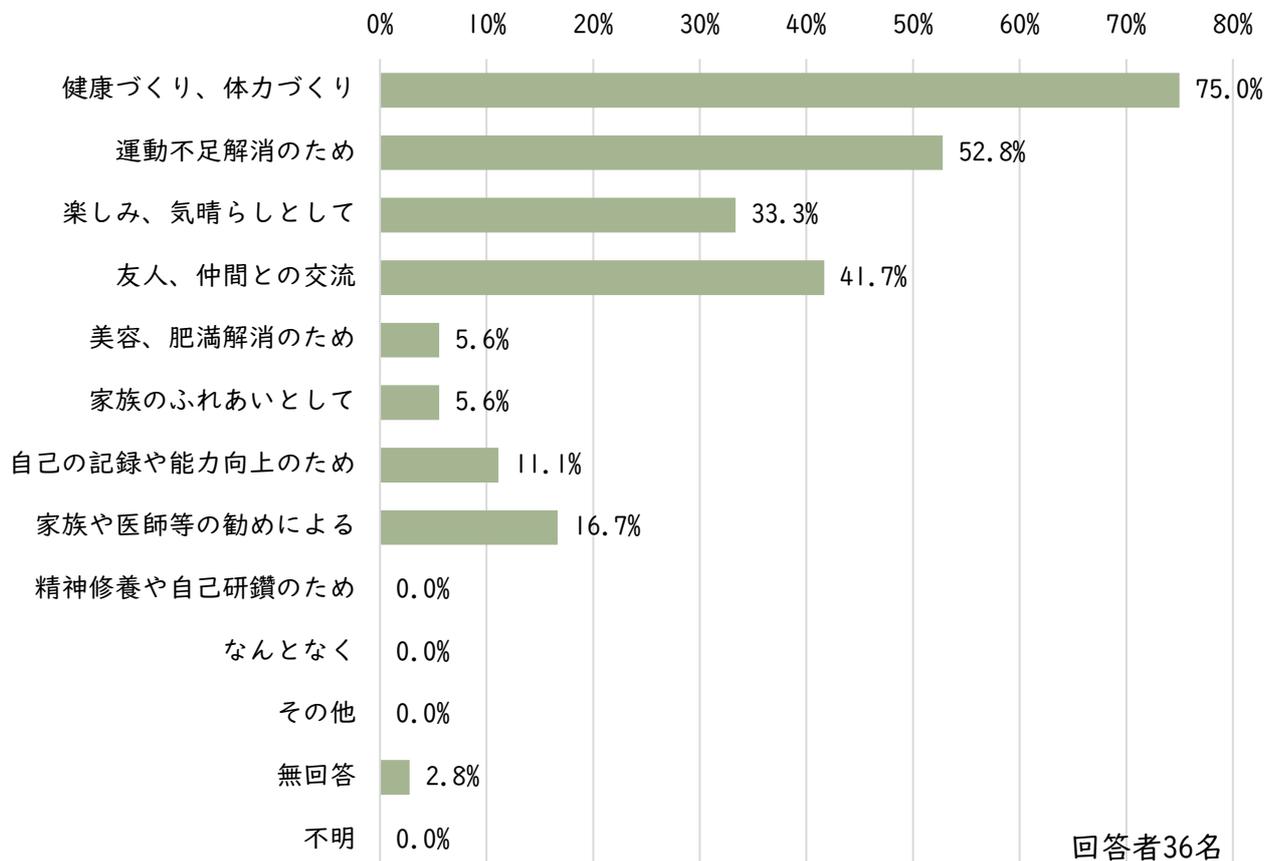
【60 歳代】



【70 歳代】

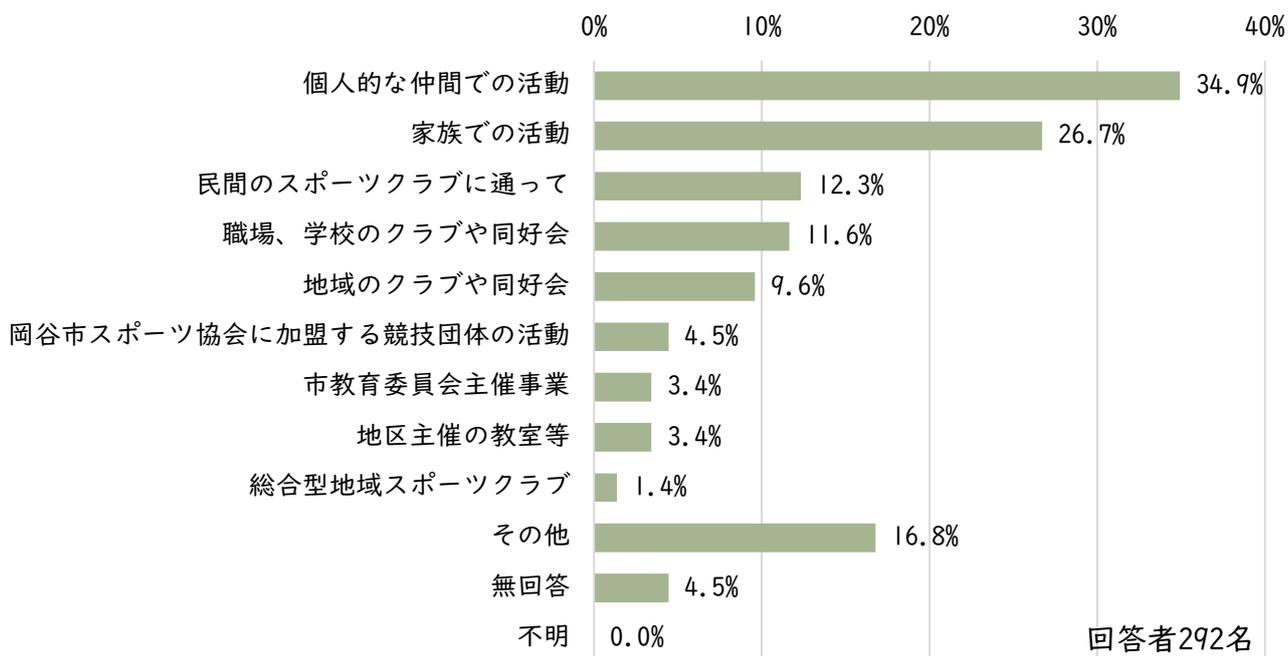


【80 歳代】



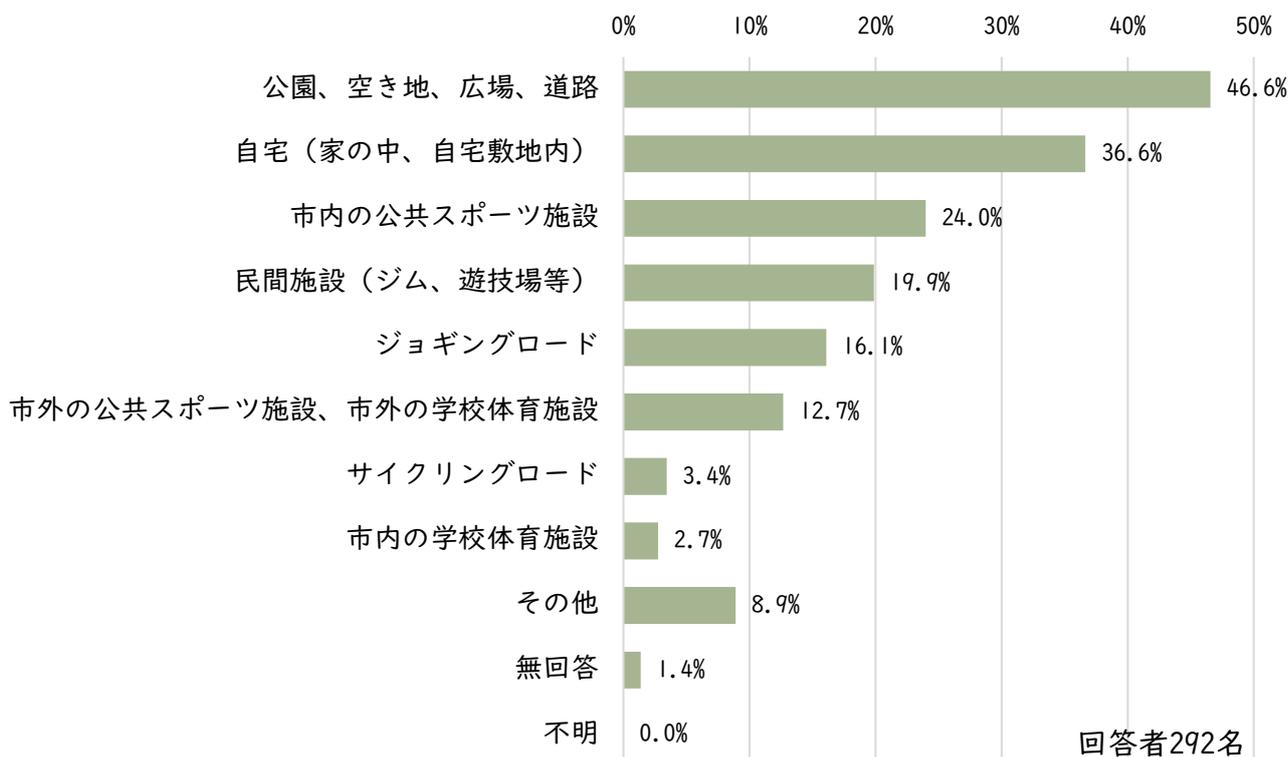
【問10】 あなたはこの1年間に、どのような環境でスポーツを行いましたか。(〇はいくつでも)

1年間に、どのような環境でスポーツを行ったかは、「個人的な仲間での活動」(34.9%)が最も高く、次いで「家族での活動」(26.7%)、「民間のスポーツクラブに通って」(12.3%)の順となった。



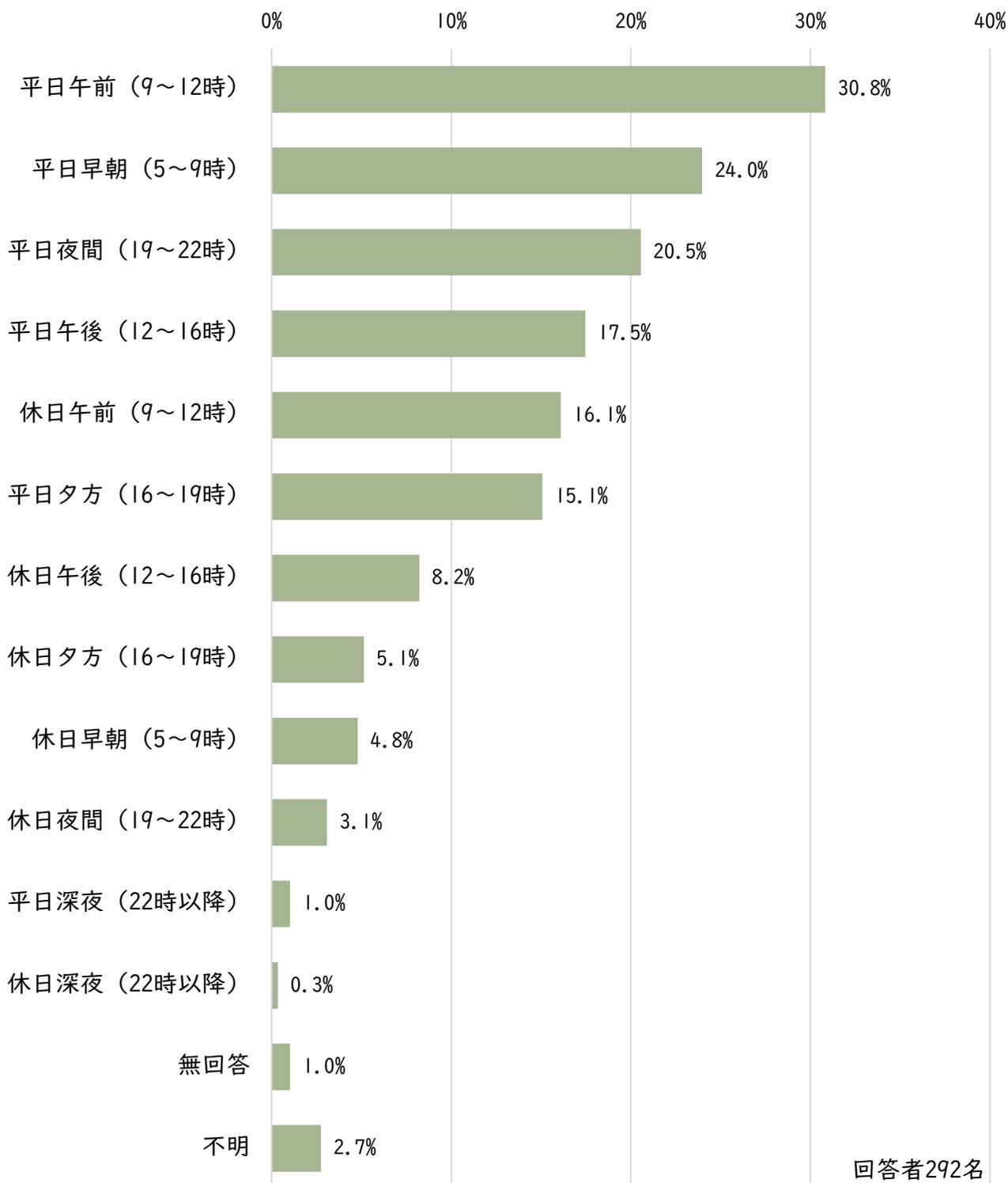
【問11】 あなたがこの1年間にスポーツをした場所は、どこですか。(〇はいくつでも)

1年間にスポーツをした場所は、「公園、空き地、広場、道路」(46.6%)が最も高く、次いで「自宅(家の中、自宅敷地内)」(36.6%)、「市内の公共スポーツ施設」(24.0%)の順となった。



【問12】 あなたが主に運動スポーツをする時間帯は、いつですか。(特に多いものに2つまで○)

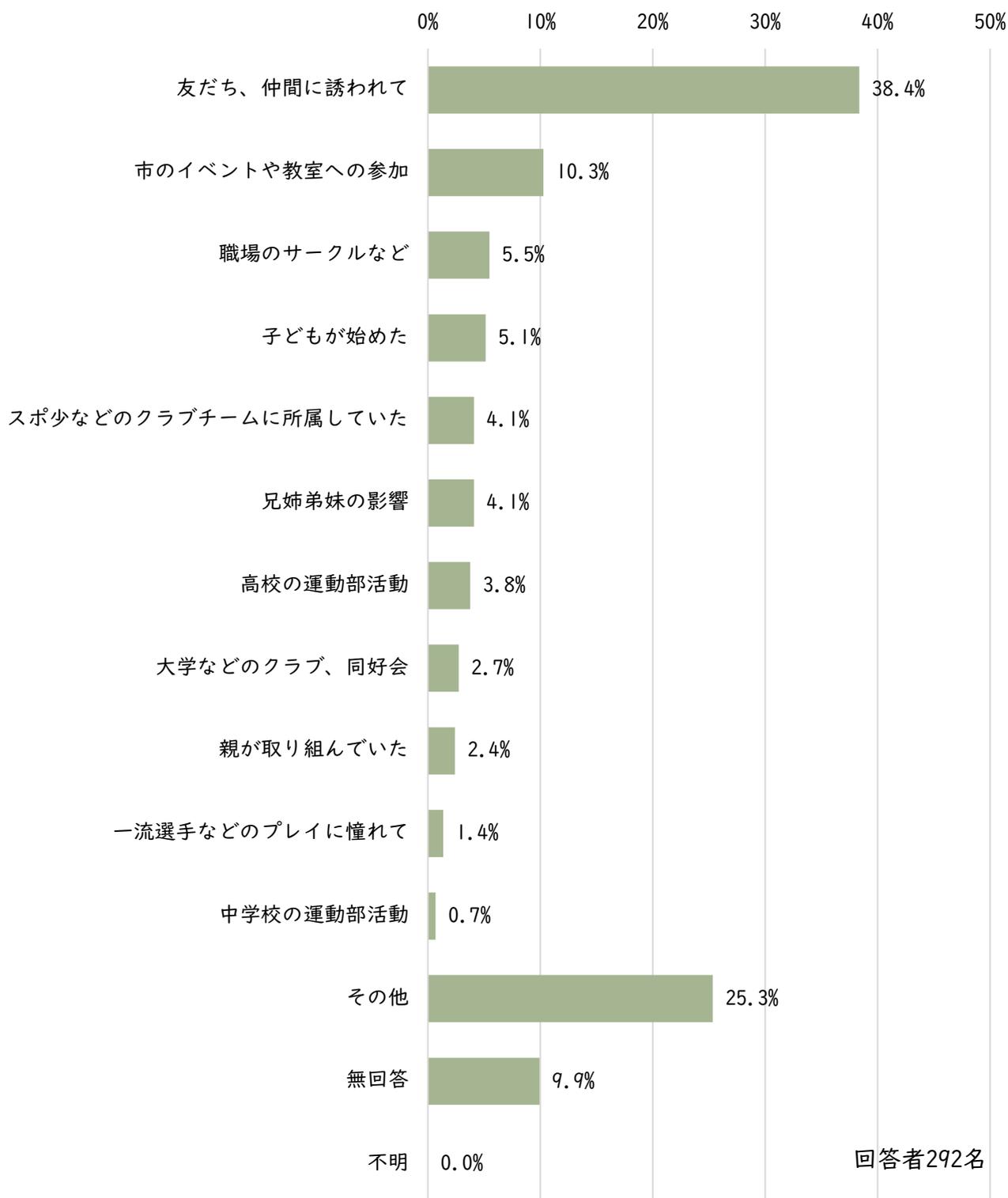
運動スポーツをする時間帯は、「平日午前(9~12時)」(30.8%)が最も高く、次いで「平日早朝(5~9時)」(24.0%)、「平日夜間(19~22時)」(20.5%)の順となった。



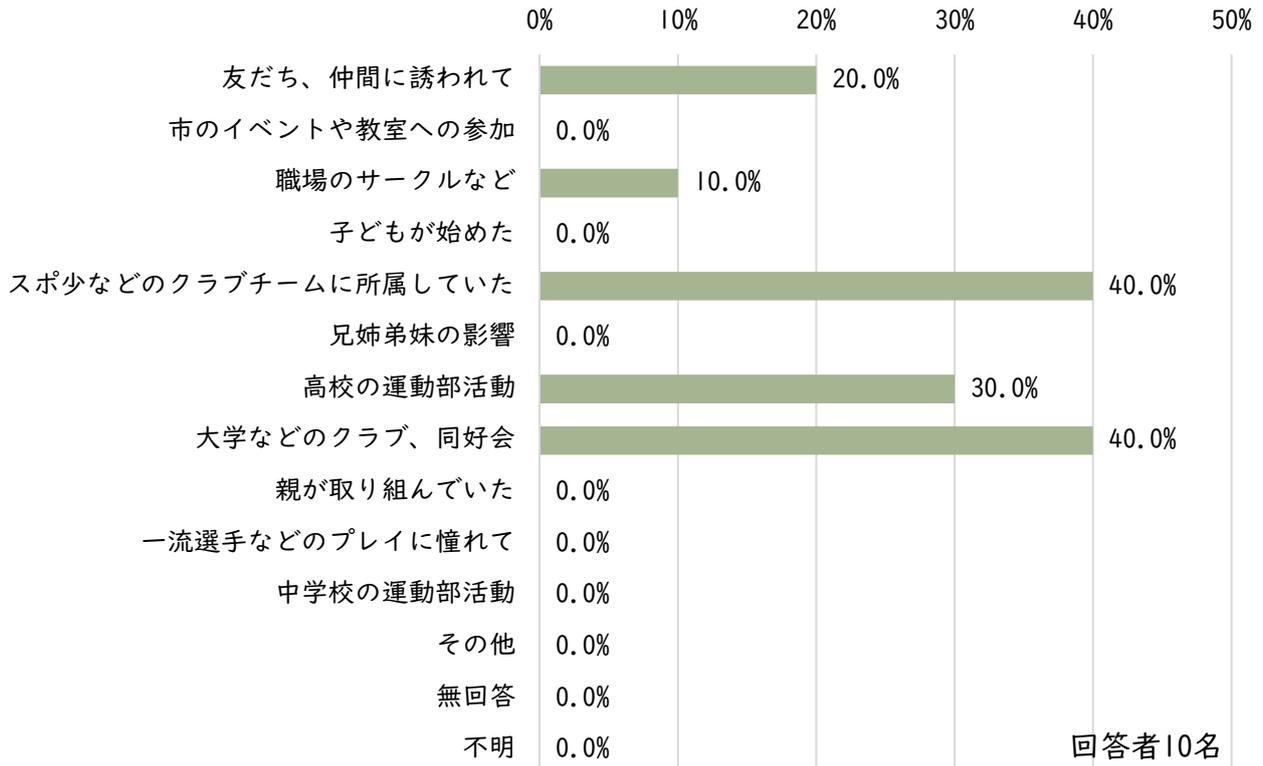
【問13】あなたが、現在、継続して行っている主なスポーツ(種目)を始めたきっかけはなんですか。

(特に主な理由2つまで○)

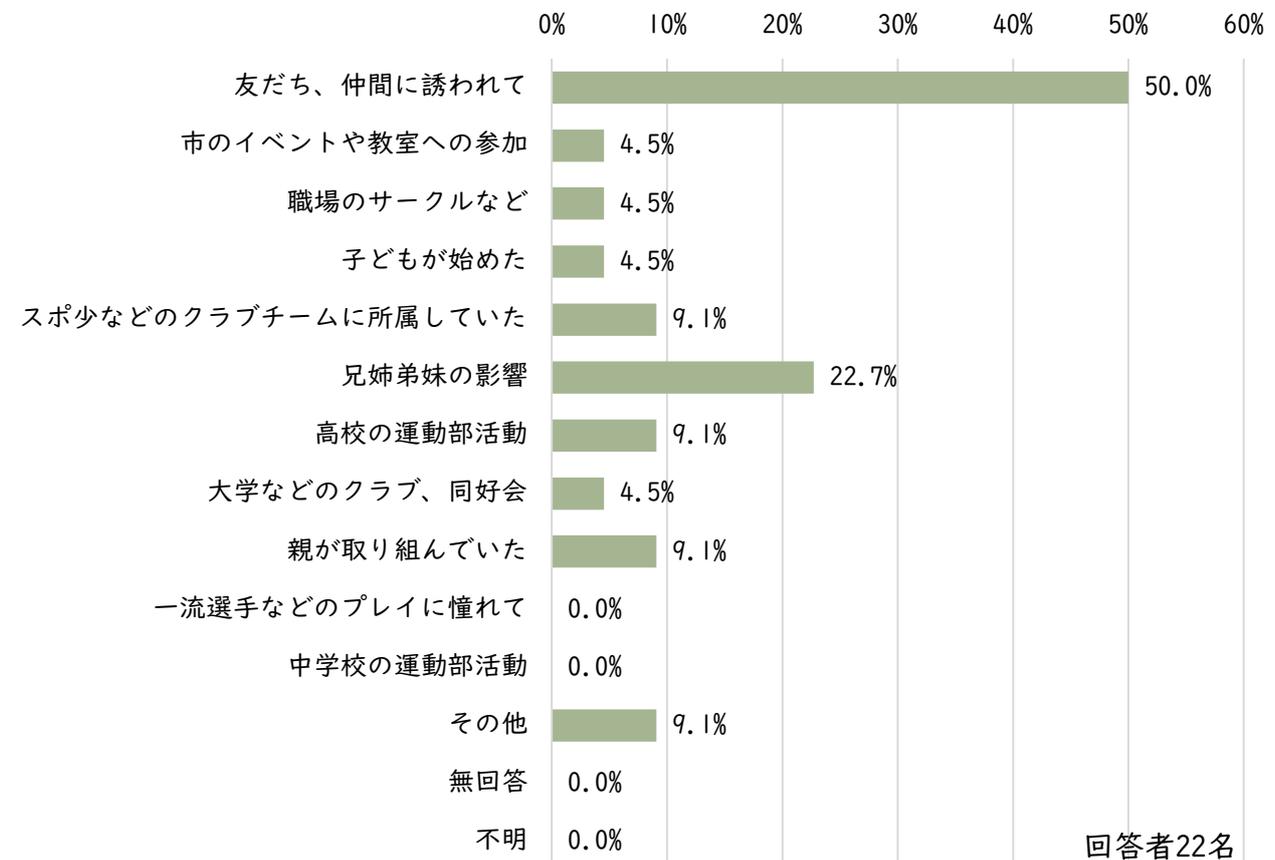
継続して行っている主なスポーツを始めたきっかけは、「友だち、仲間に誘われて」(38.4%)が最も高く、次いで「市のイベントや教室への参加」(10.3%)、「職場のサークルなど」(5.5%)の順となった。



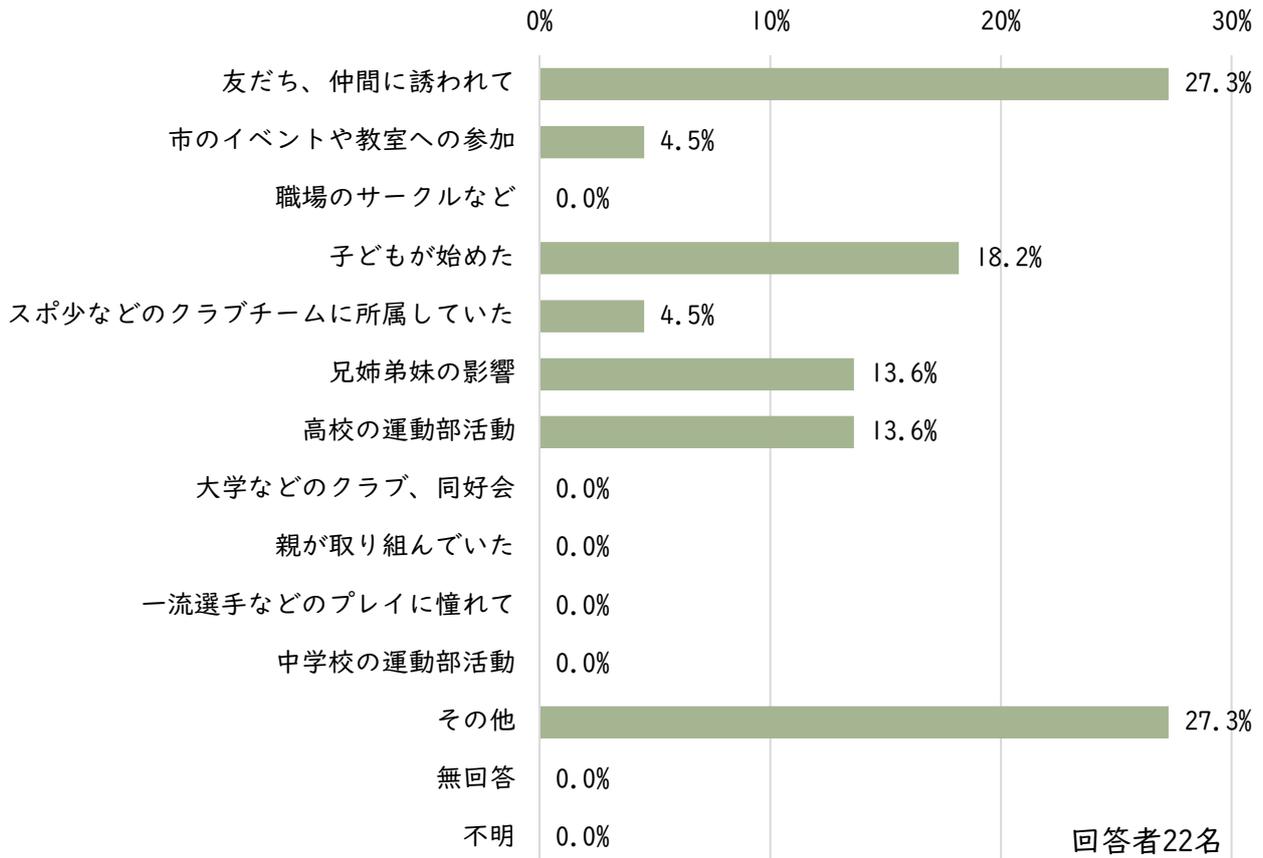
【10 歳代】



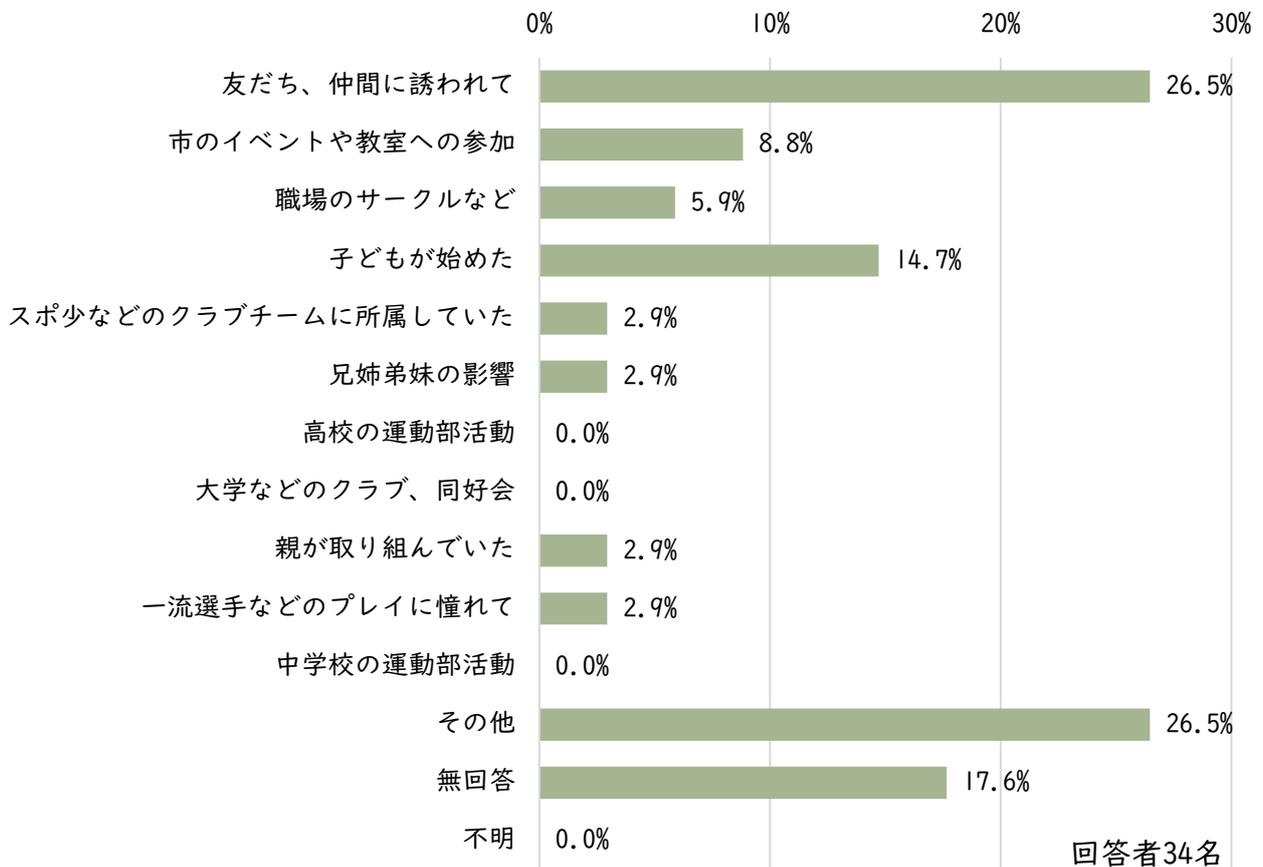
【20 歳代】



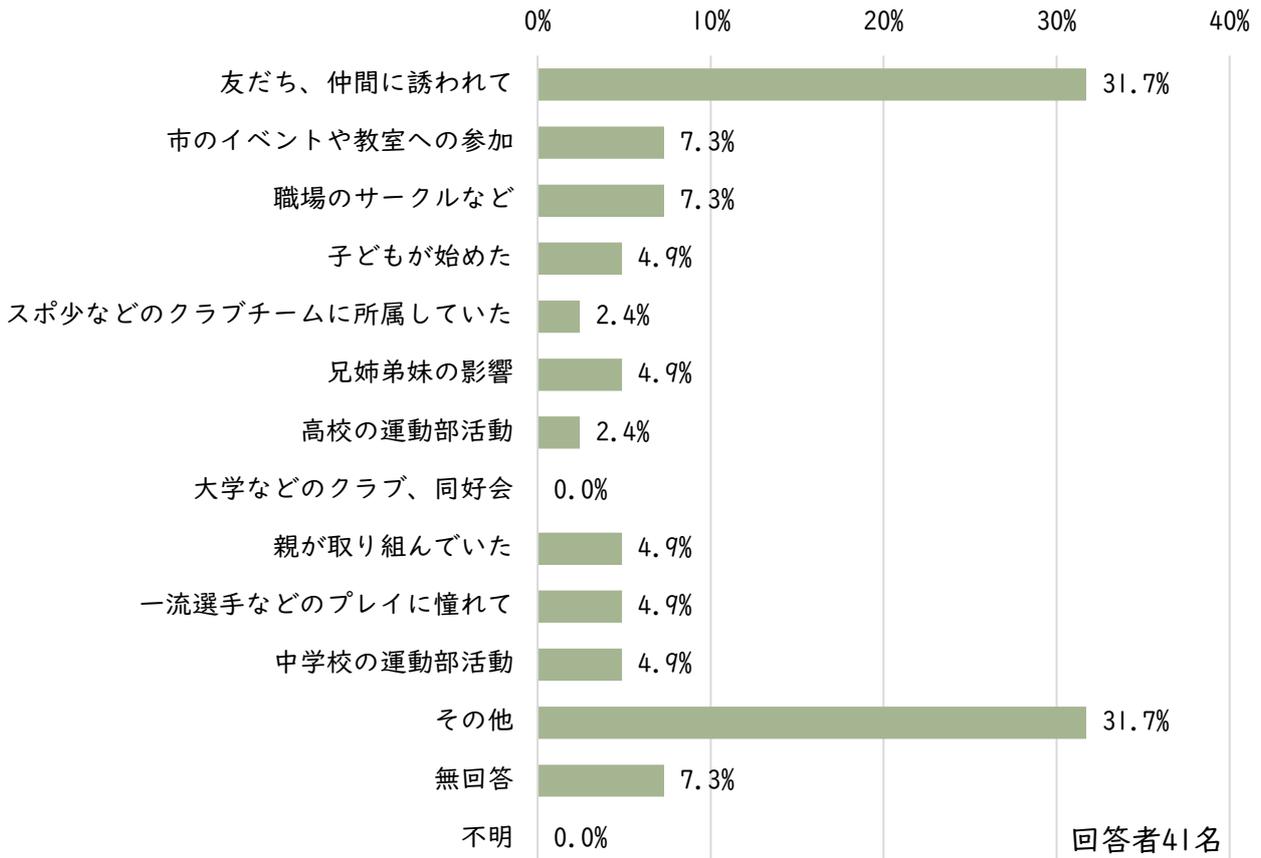
【30 歳代】



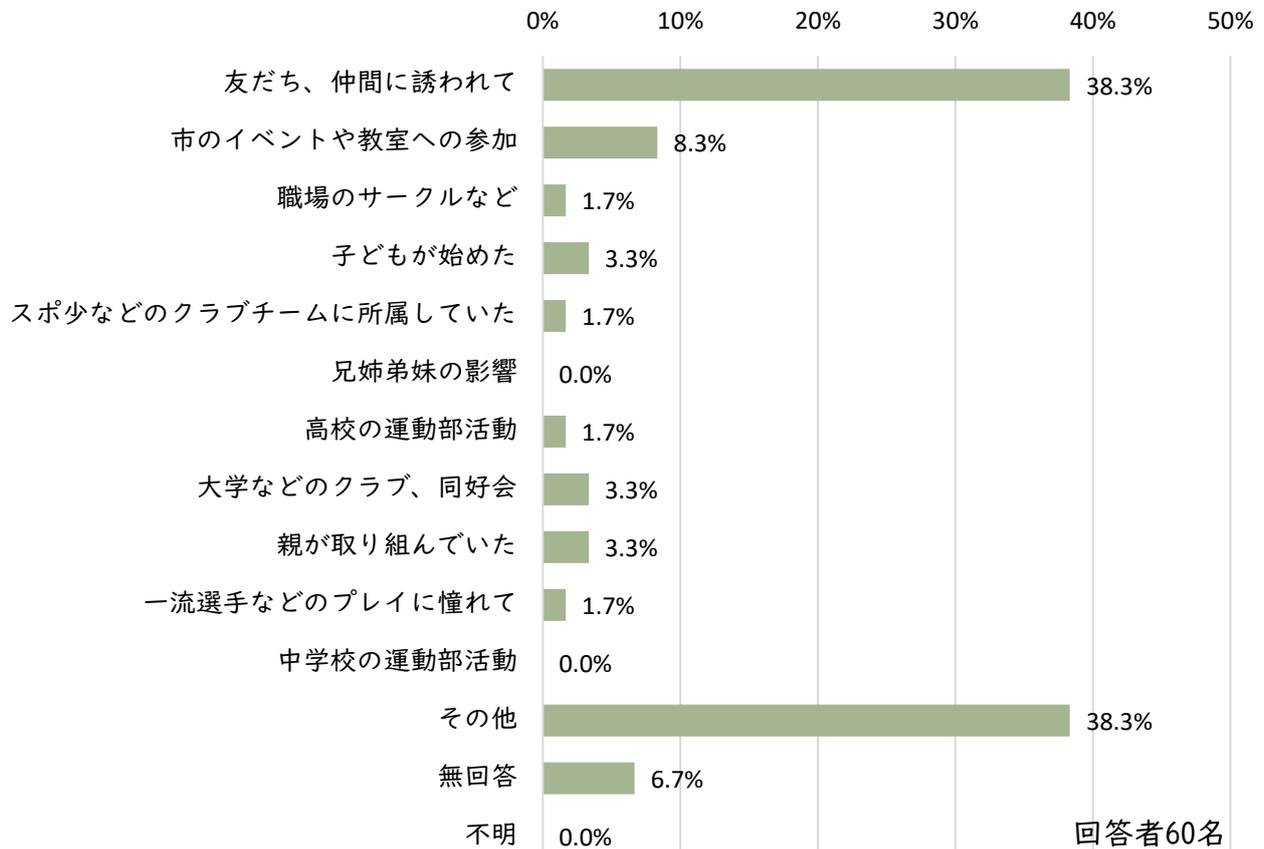
【40 歳代】



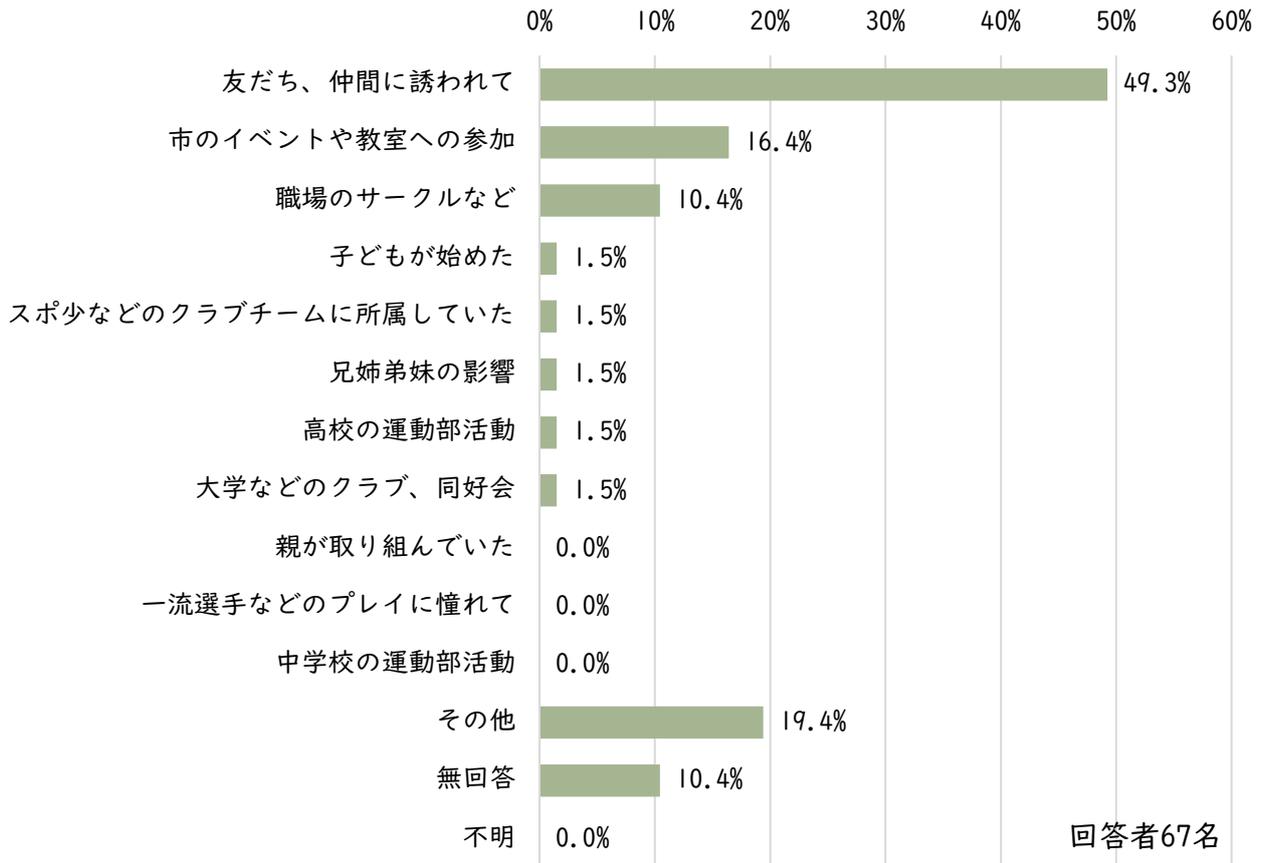
【50 歳代】



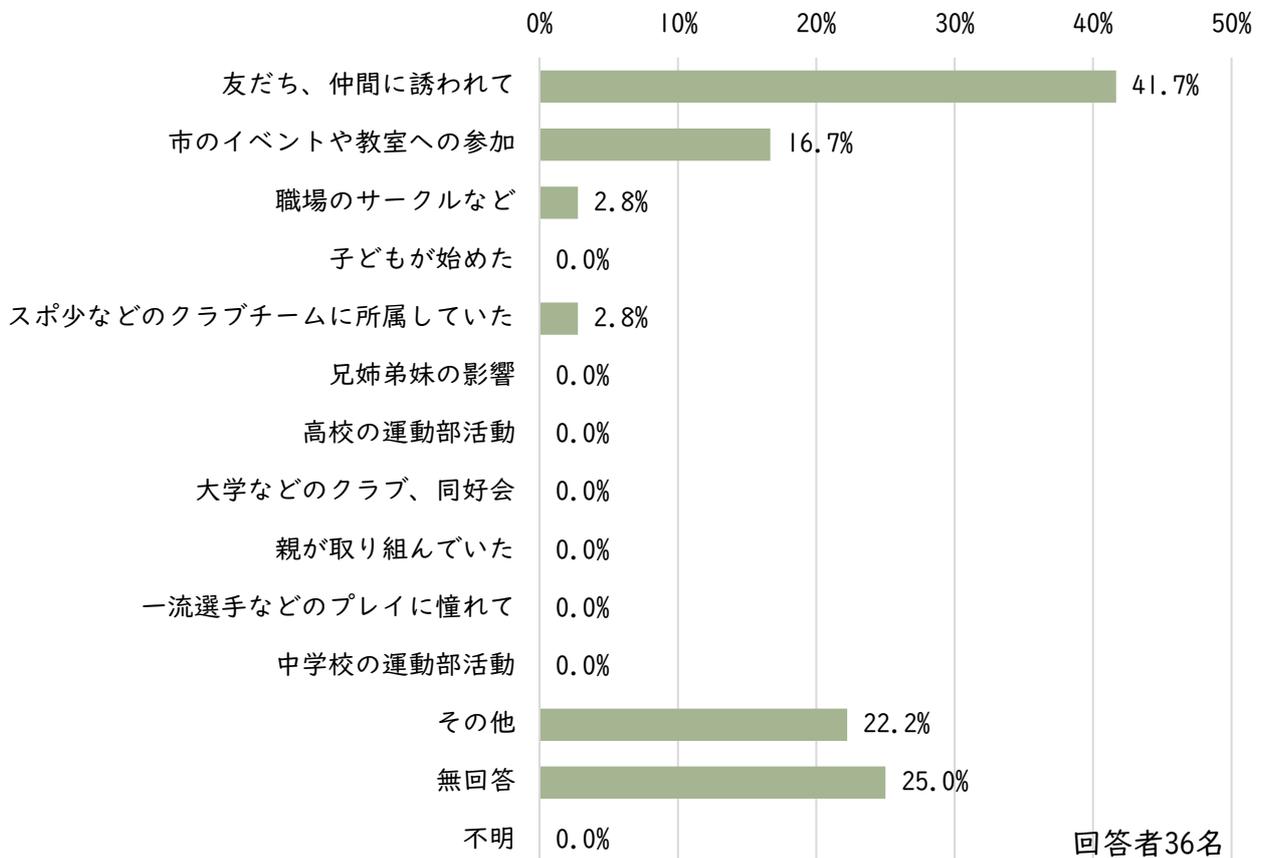
【60 歳代】



【70 歳代】



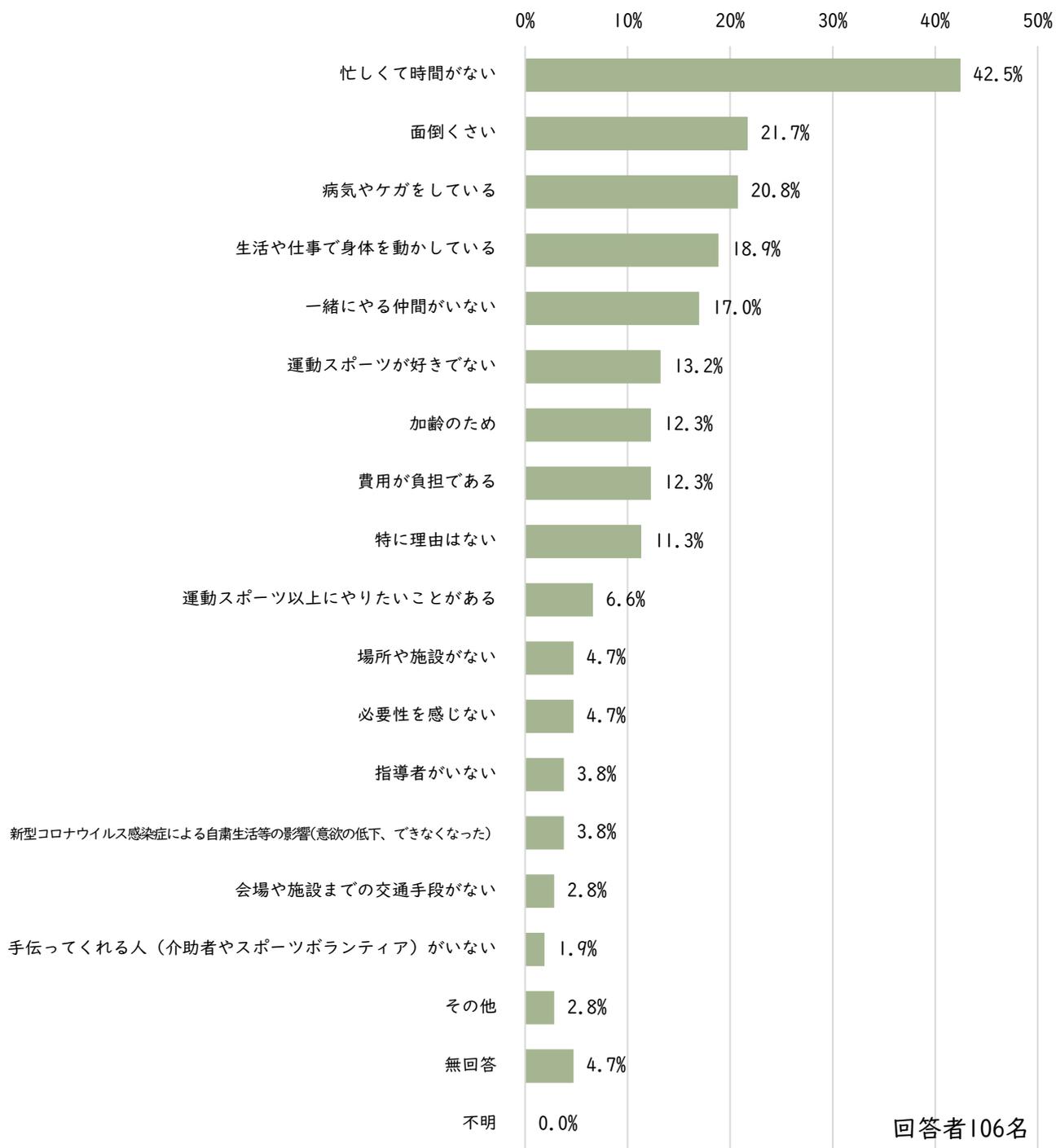
【80 歳以上】



【問14】【問8】で4、5、6を選択した方にお聞きします。

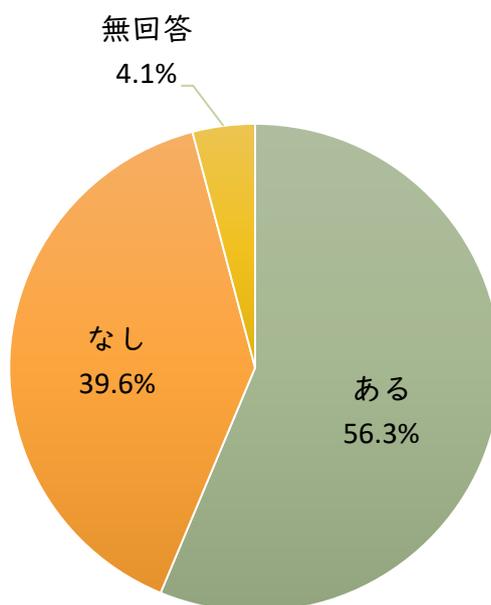
この1年間にスポーツをした日数が1～3日以下であった主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

スポーツをした日数が1～3日以下であった主な理由は、「忙しくて時間がない」(42.5%)が最も高く、次いで「面倒くさい」(21.7%)、「病気やケガをしている」(20.8%)の順となった。



【問15】あなたは、この1年間にスポーツ観戦をしたことがありますか（○は1つ）

1年間にスポーツ観戦をしたことがあるかは「ある」(56.3%)、「なし」(39.6%)となった。

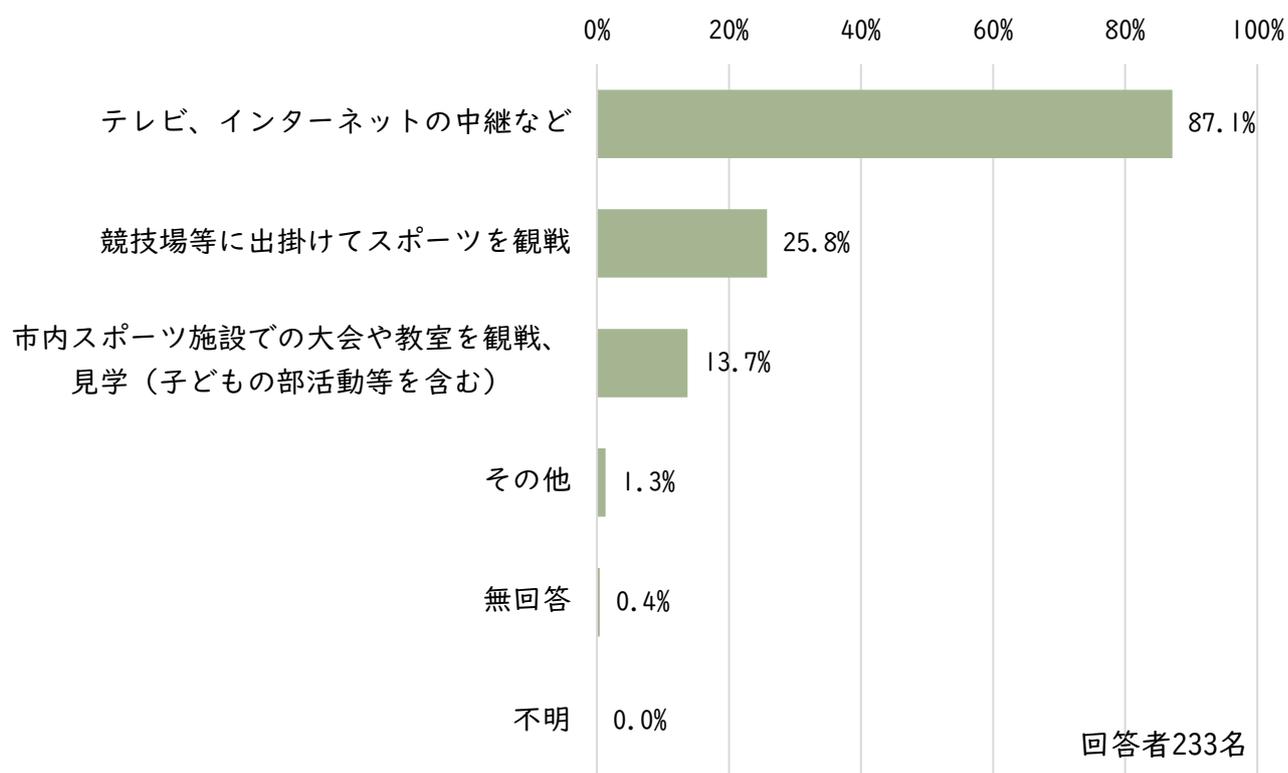


回答者414名

「ある」と答えた方にお聞きします。

どのような方法で観戦しましたか。また、その競技種目を教えてください。（○はいくつでも）

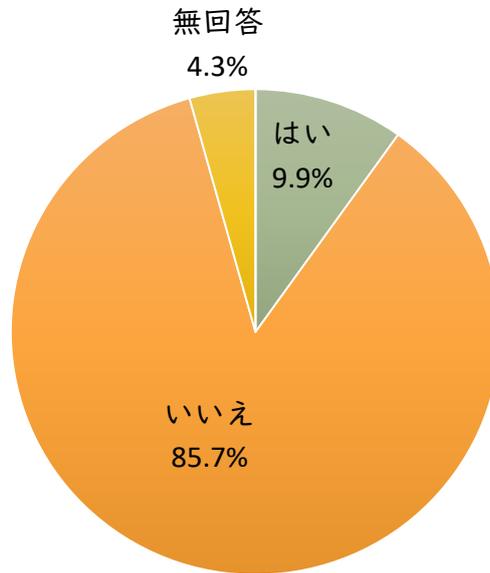
どのような方法で観戦したかは「テレビ、インターネットの中継など」(87.1%)が最も高く、次いで「競技場等に出掛けてスポーツを観戦」(25.8%)、「市内スポーツ施設での大会や教室を観戦、見学（子どもの部活動等を含む）」(13.7%)の順となった。



回答者233名

【問 16】 あなたはこの1年間にスポーツの指導、クラブの運営や補助、イベントや行事への協力など、スポーツに関するボランティア活動を行いましたか。(〇は1つ)

スポーツに関するボランティア活動を行ったかは、「はい」(9.9%)、「いいえ」(85.7%)となった。

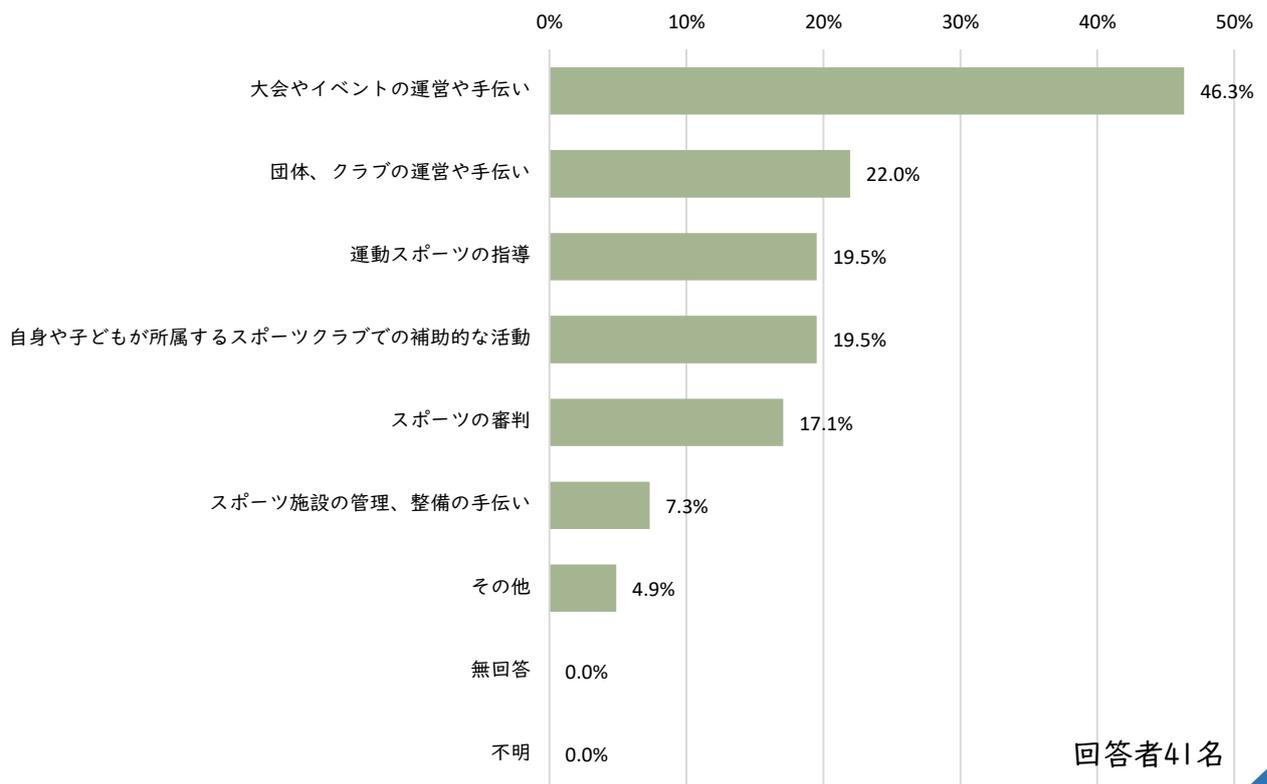


回答者414名

「はい」と答えた方にお聞きします。

どのようなボランティア活動を行いましたか。(〇はいくつでも)

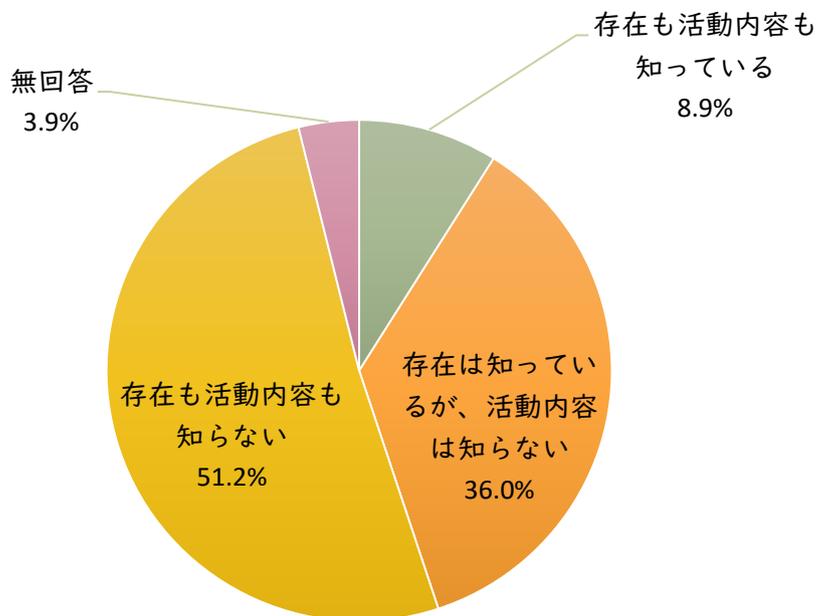
どのようなボランティア活動を行ったかは、「大会やイベントの運営や手伝い」(46.3%)が最も高く、次いで「団体、クラブの運営や手伝い」(22.0%)、「運動スポーツの指導」(19.5%)、「自身や子どもが所属するスポーツクラブでの補助的な活動」(19.5%)の順となった。



回答者41名

【問17】 市民に対するスポーツの推進に向け、岡谷市スポーツ推進委員が熱意を持って活動していますが、その存在をご存知ですか。(〇は1つ)

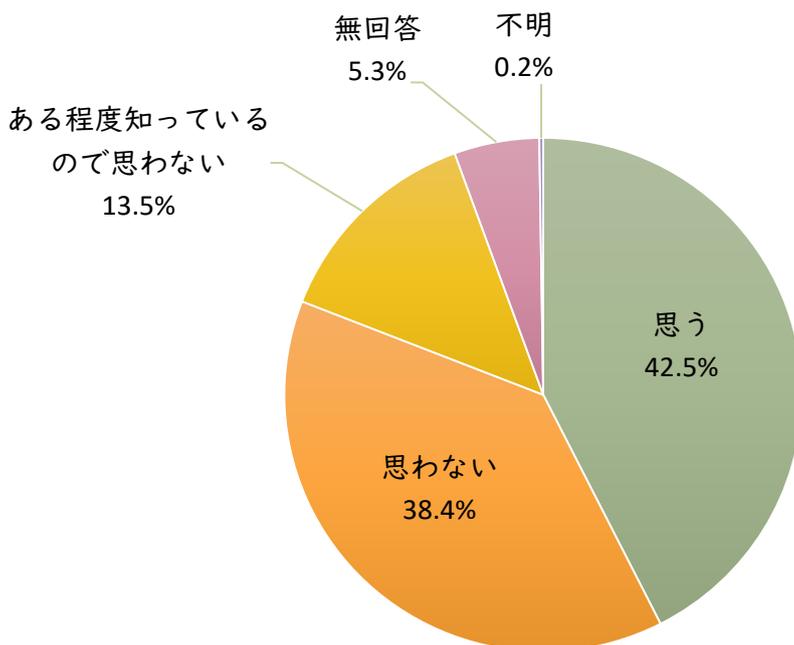
岡谷市スポーツ推進委員が熱意を持って活動している存在を知っているかは、「存在も活動内容も知らない」(51.2%)が最も高く、次いで「存在は知っているが、活動内容は知らない」(36.0%)、「存在も活動内容も知っている」(8.9%)の順となった。



回答者414名

【問18】 岡谷市スポーツ推進委員の活動内容をもっとよく知りたいと思いますか。(〇は1つ)

岡谷市スポーツ推進委員の活動内容をもっとよく知りたいかは、「思う」(42.5%)が最も高く、次いで「思わない」(38.4%)、「ある程度知っているので思わない」(13.5%)の順となった。

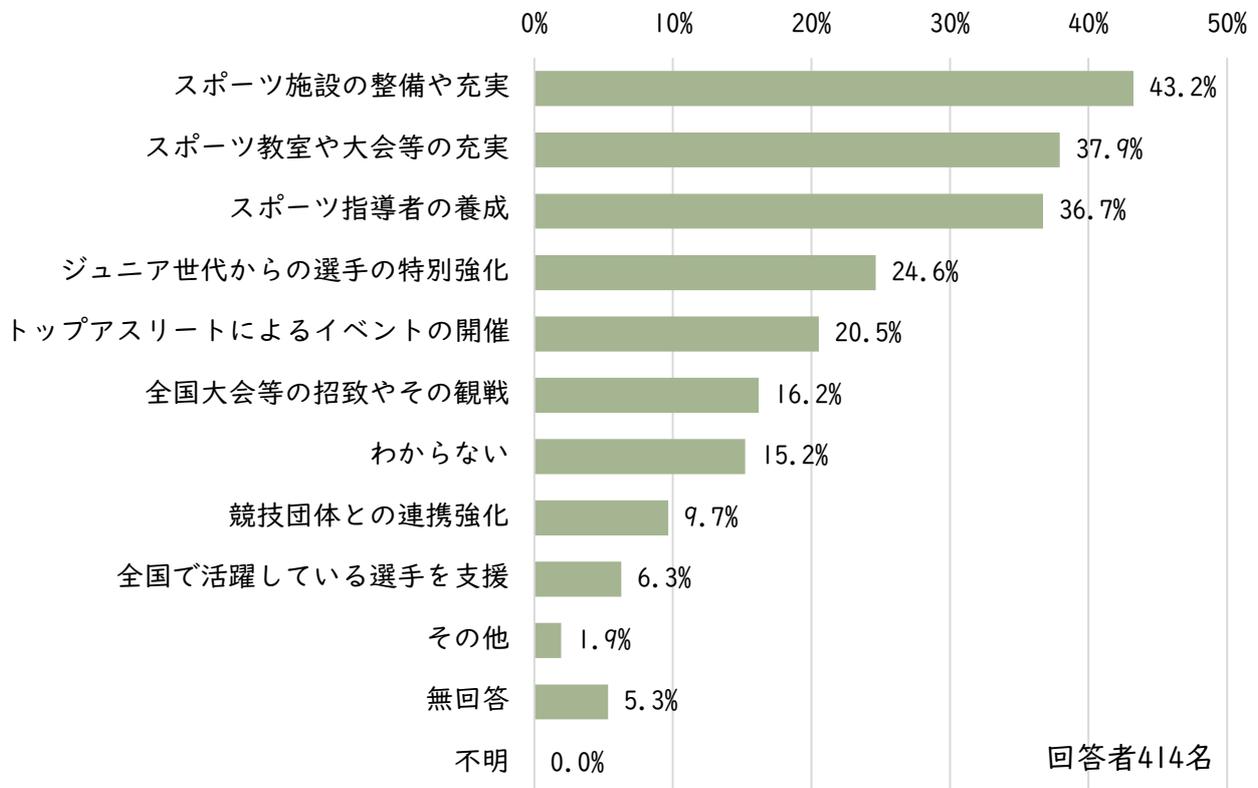


回答者414名

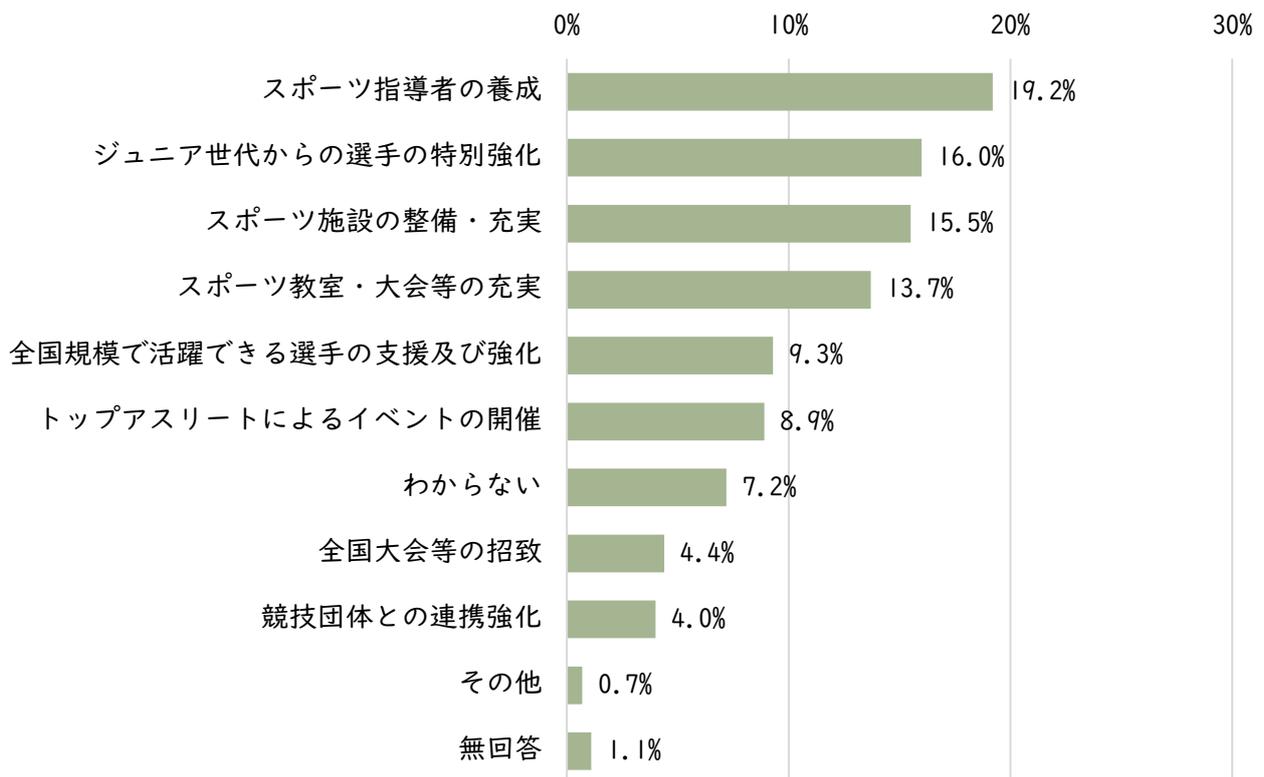
【問19】岡谷市のスポーツ選手が競技力向上を図るために、どんなことが必要だと思いますか。

(〇はいくつでも)

競技力向上を図るためにどんなことが必要だと思うかは、「スポーツ施設の整備や充実」(43.2%)が最も高く、次いで「スポーツ教室や大会等の充実」(37.9%)、「スポーツ指導者の養成」(36.7%)の順となった。

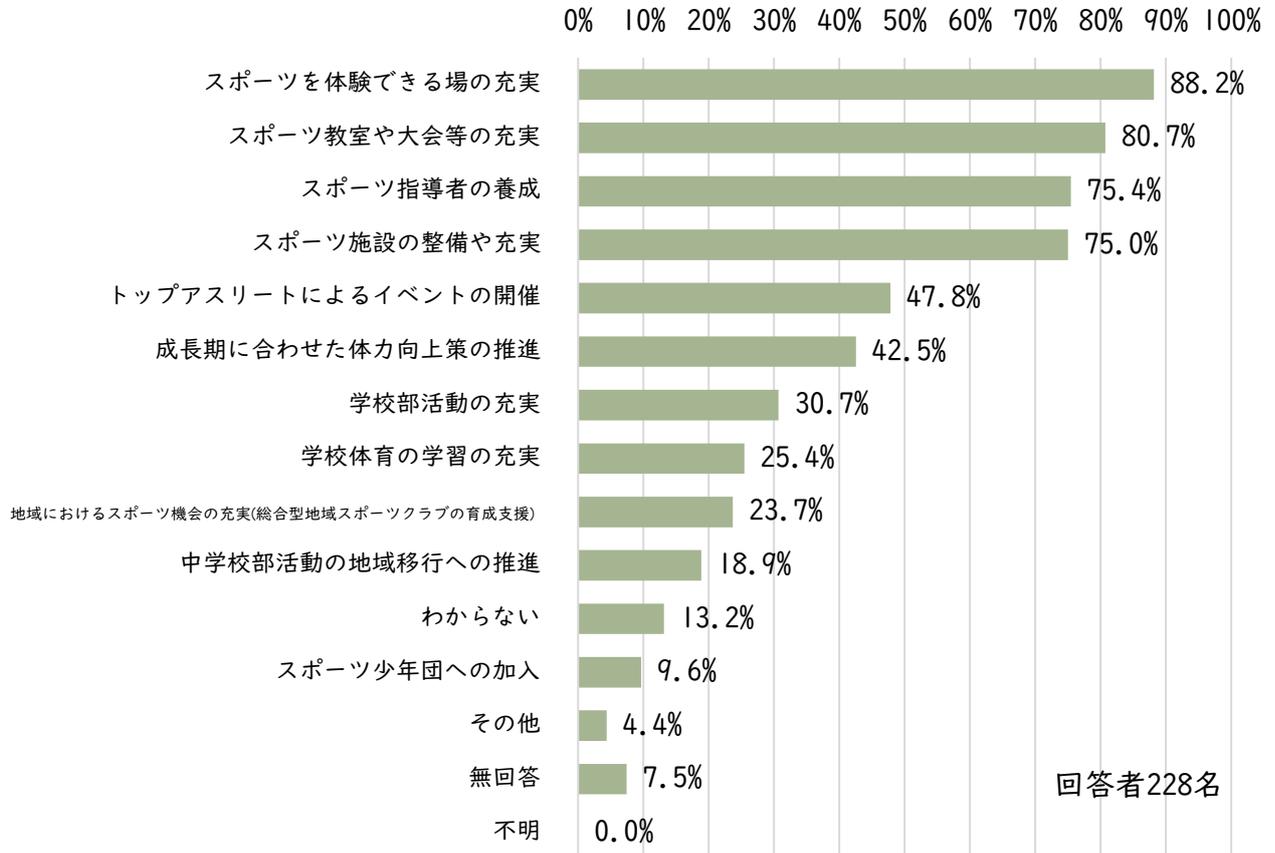


【前回調査（令和元年度）】

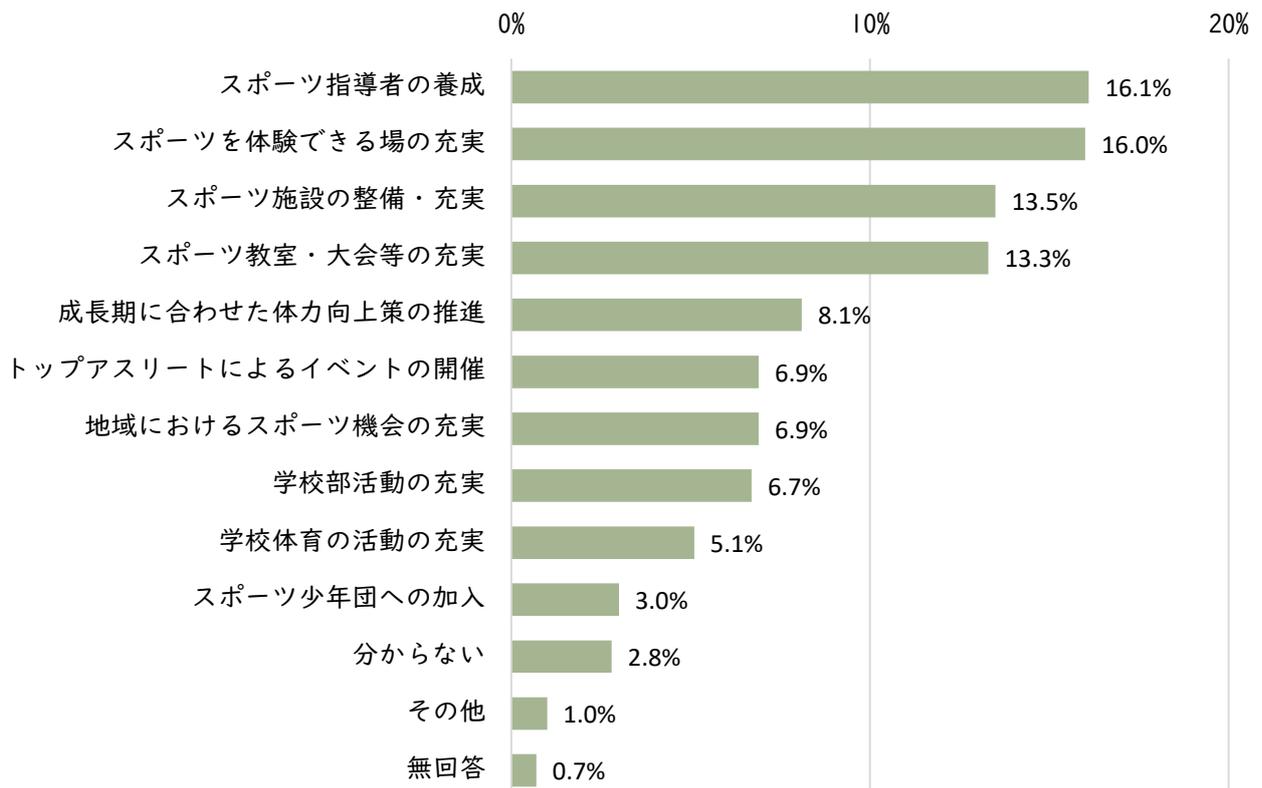


【問20】子どもたちのスポーツ活動や運動を推進するために、どんなことが重要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

子どもたちのスポーツ活動や運動を推進するためにどんなことが必要だと思うかは、「スポーツを体験できる場の充実」(88.2%)が最も高く、次いで「スポーツ教室や大会等の充実」(80.7%)、「スポーツ指導者の養成」(75.4%)の順となった。

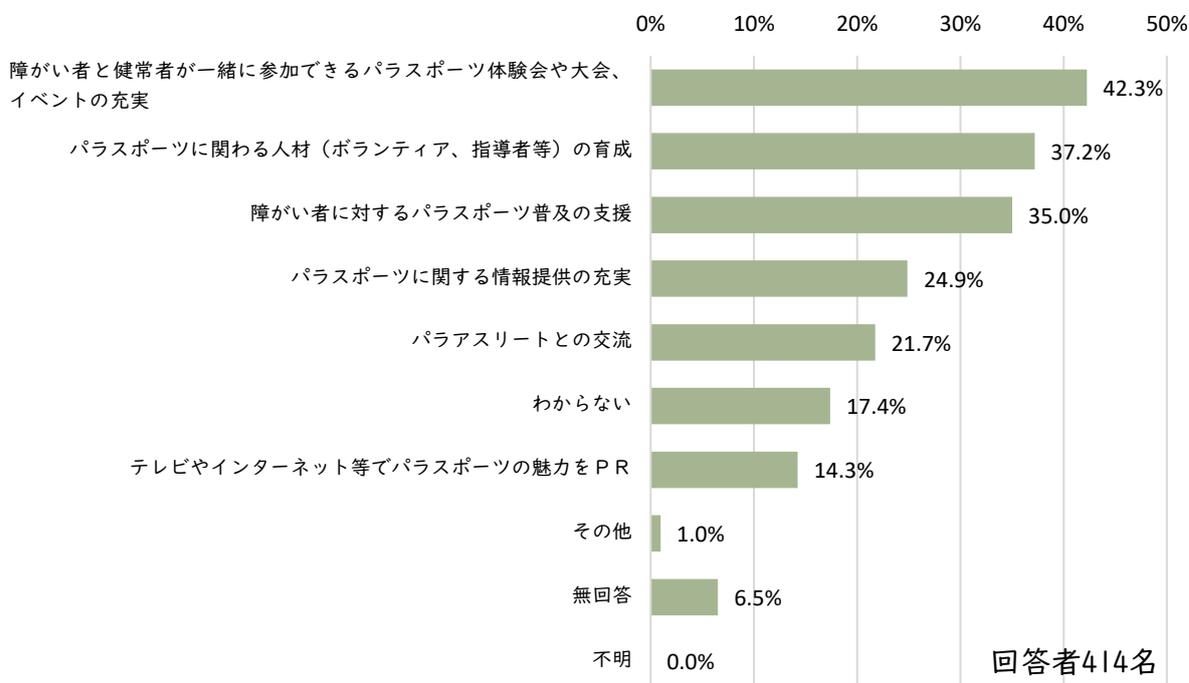


【前回調査 (令和元年度)】



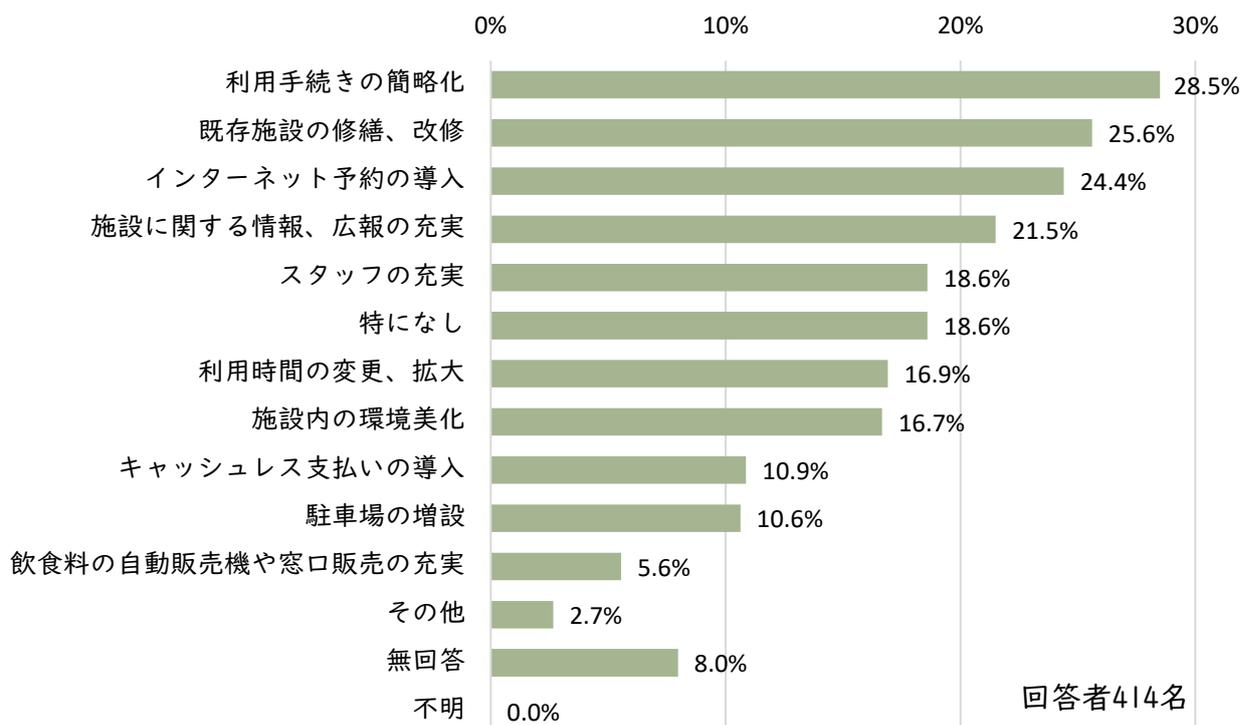
【問21】 パラスポーツの充実や発展には、どのようなことが重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

パラスポーツの充実や発展に重要なことは、「障がい者と健常者が一緒に参加できるパラスポーツ体験会や大会、イベントの充実」(42.3%)が最も高く、次いで「パラスポーツに関わる人材(ボランティア、指導者等)の育成」(37.2%)、「障がい者に対するパラスポーツ普及の支援」(35.0%)の順となった。



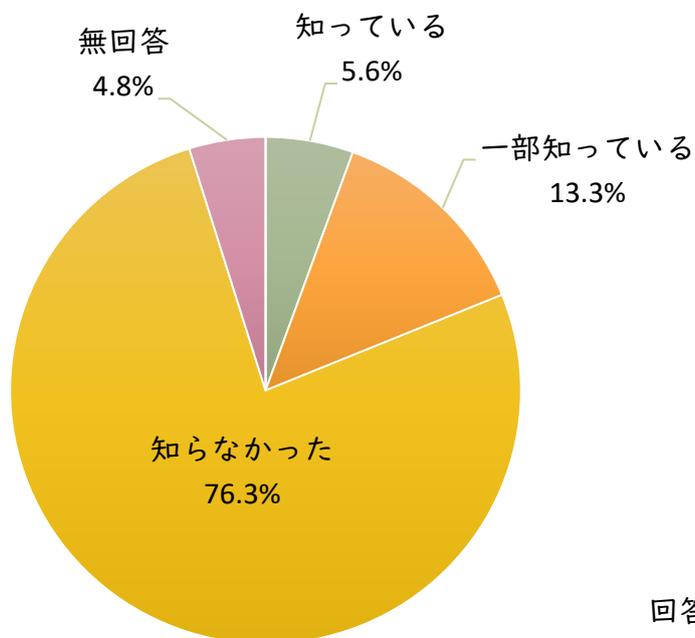
【問22】 岡谷市のスポーツ施設について、求めることはありますか。(〇はいくつでも)

スポーツ施設について、求めることはあるかは、「利用手続きの簡略化」(28.5%)が最も高く、次いで「既存施設の修繕、改修」(25.6%)、「インターネット予約の導入」(24.4%)の順となった。



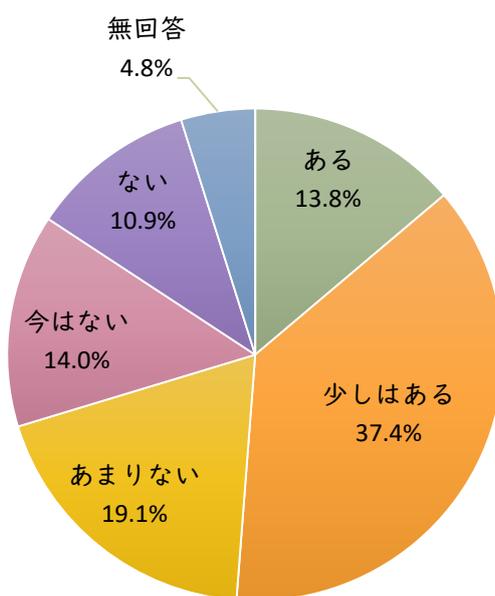
【問23】 令和10年(2028年)に長野県で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催され、岡谷市で正式競技として卓球競技、トライアスロン競技、アイスホッケー競技が開催される予定ですが、ご存知ですか。(〇は1つ)

長野県で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催され、岡谷市で正式競技として、卓球、トライアスロン競技、アイスホッケー競技が開催される予定を知っているかは、「知らなかった」(76.3%)が最も高く、次いで「一部知っている」(13.3%)、「知っている」(5.6%)の順となった。



【問24】 あなたは岡谷市で開催される国民スポーツ大会等に興味、関心がありますか。(〇は1つ)

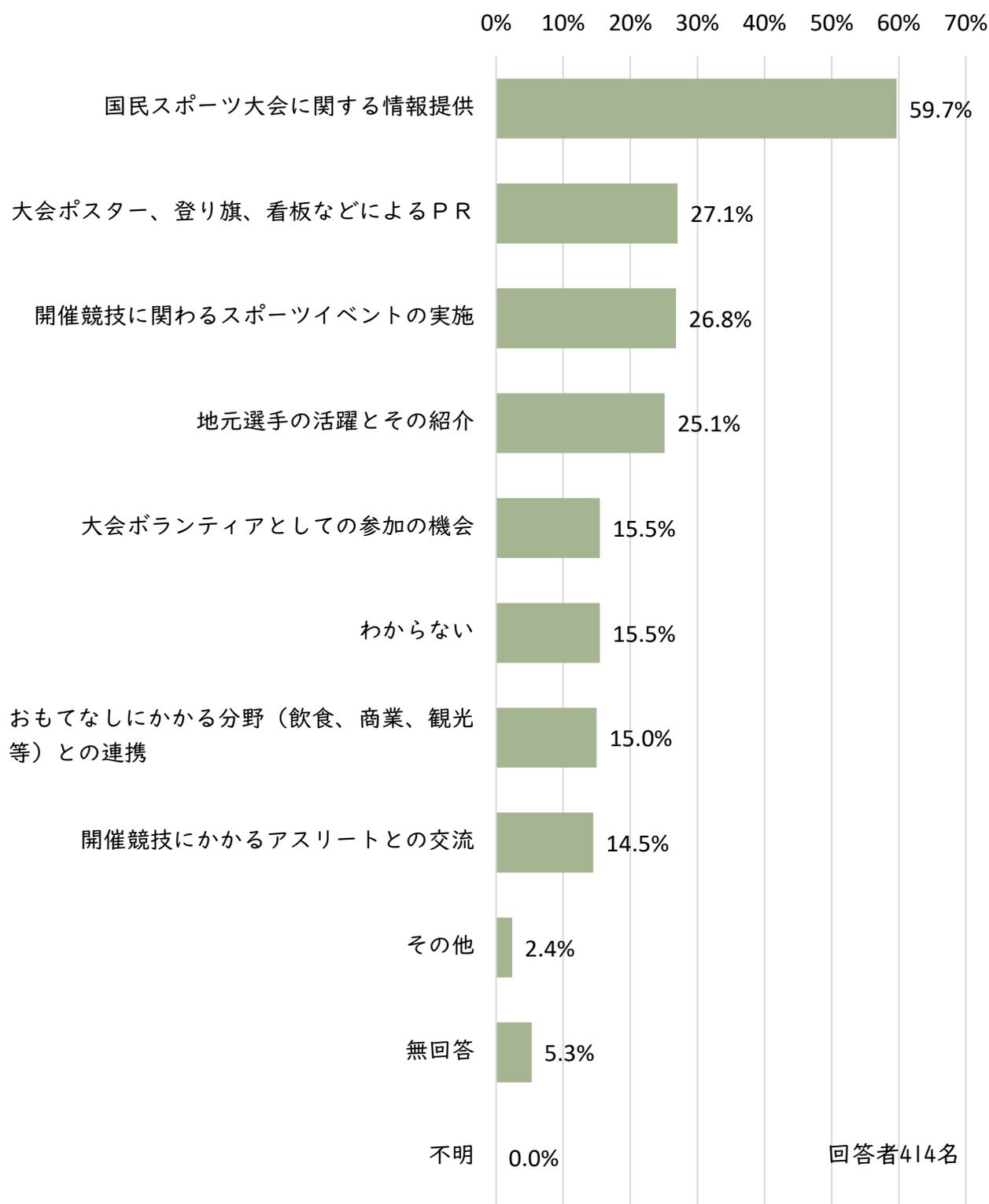
岡谷市で開催される国民スポーツ大会等に、興味、関心があるかは、「少しはある」(37.4%)が最も高く、次いで「あまりない」(19.1%)、「今はない」(14.0%)の順となった。



【問 25】 国民スポーツ大会の興味や関心の向上に向けて、どんなことが必要だと思いますか。

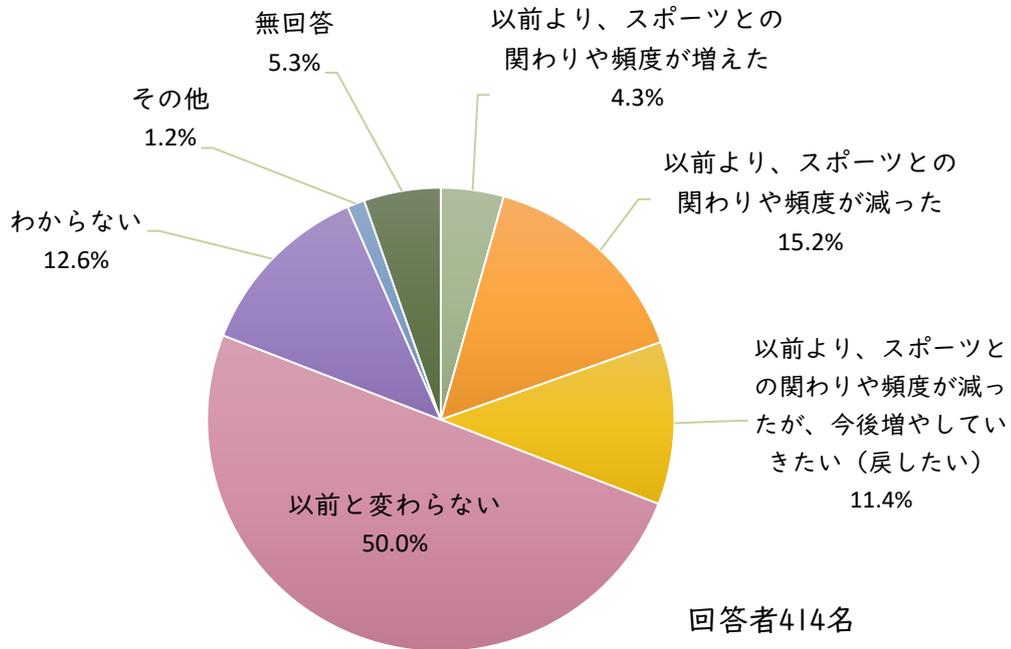
(〇はいくつでも)

国民スポーツ大会の興味や関心の向上に向けて必要なことは、「国民スポーツ大会に関する情報提供」(59.7%) が最も高く、次いで「大会ポスター、登り旗、看板などによる PR」(27.1%)、「開催競技に関わるスポーツイベントの実施」(26.8%) の順となった。



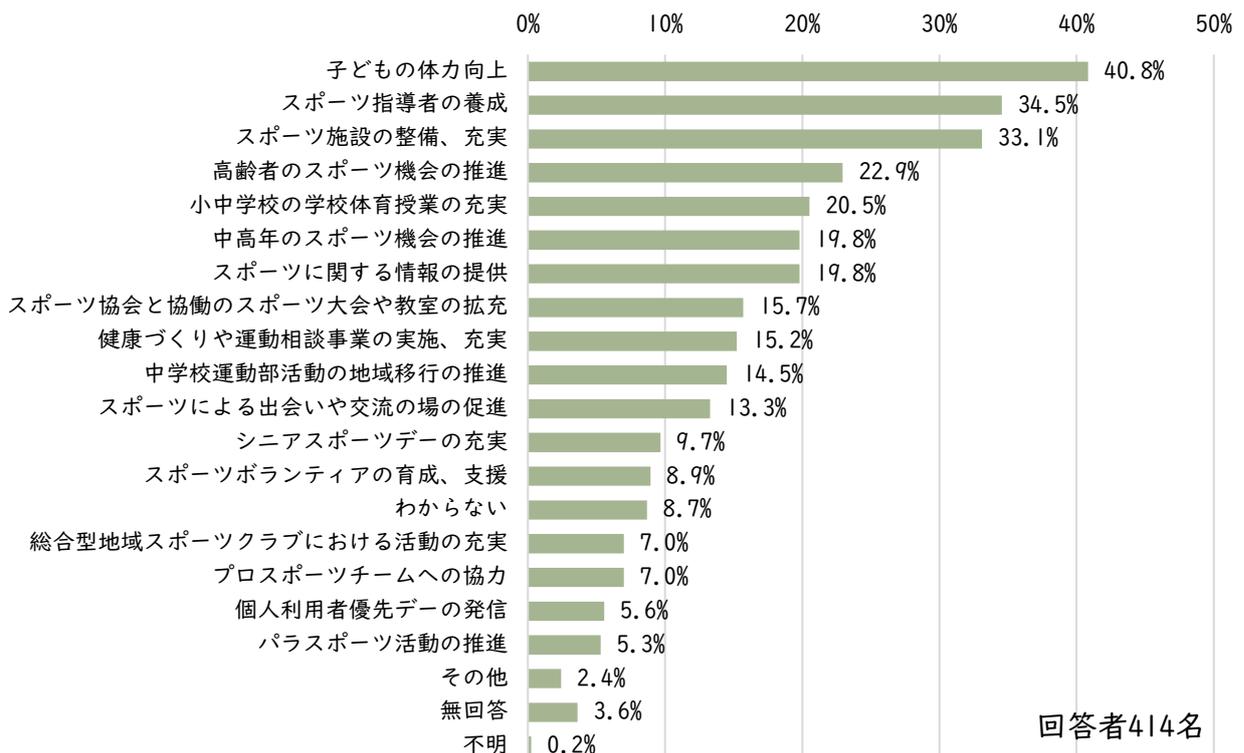
【問26】新型コロナウイルス感染症は、現在のあなたのスポーツ活動に影響を及ぼしていますか。
(〇は1つ)

新型コロナウイルス感染症は、現在のあなたのスポーツ活動に影響を及ぼしているかは、「以前と変わらない」(50.0%)が最も高く、次いで「以前より、スポーツとの関わりや頻度が減った」(15.2%)、「わからない」(12.6%)の順となった。



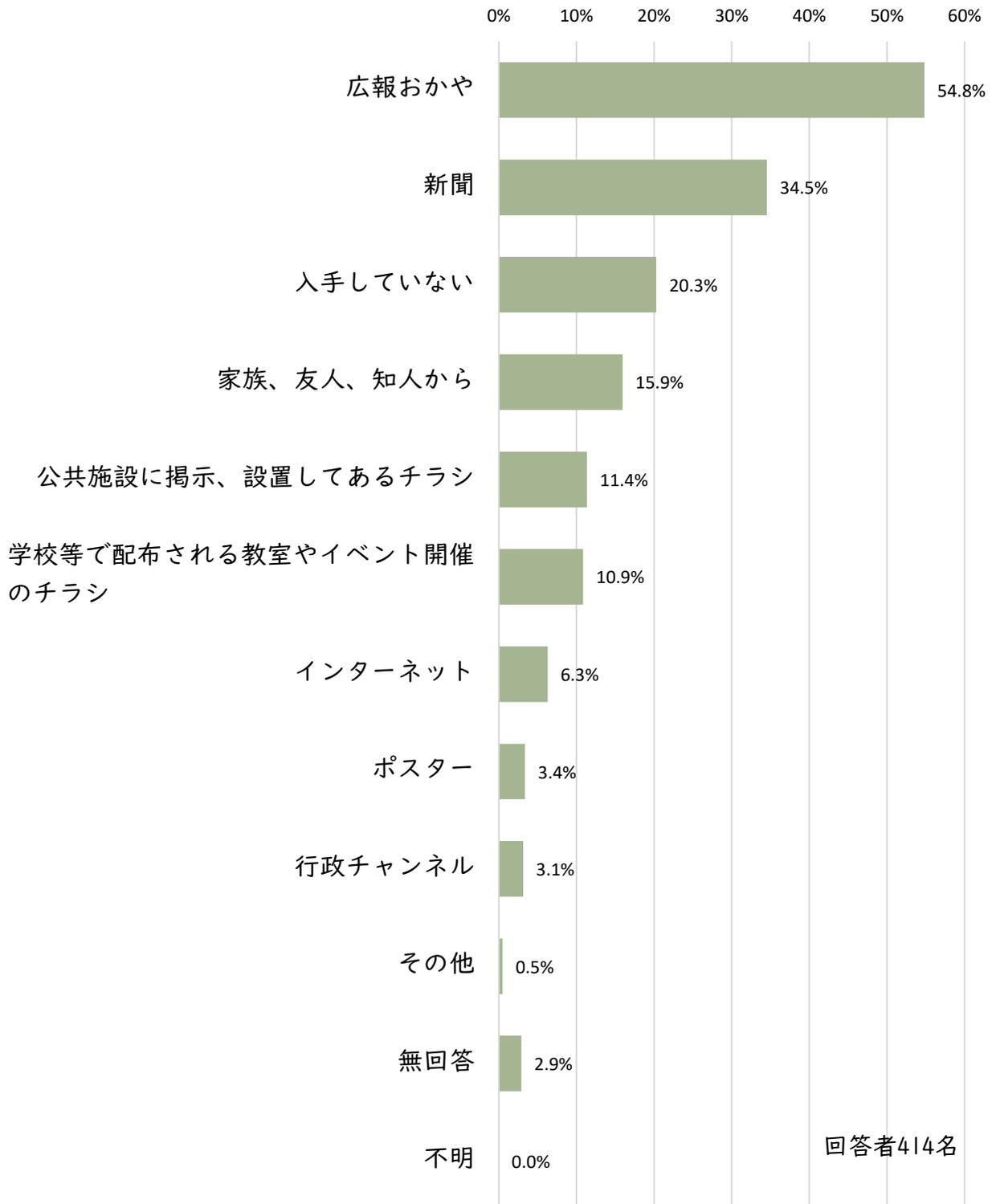
【問27】岡谷市がスポーツを推進するため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(〇はいくつでも)

スポーツを推進するため、力を入れるべきことは、「子どもの体力向上」(40.8%)が最も高く、次いで「スポーツ指導者の養成」(34.5%)、「スポーツ施設の整備、充実」(33.1%)の順となった。



【問28】 普段市内のスポーツ情報をどのような方法で入手していますか。(〇はいくつでも)

スポーツ情報をどのような方法で入手してるかは、「広報おかや」(54.8%)が最も高く、次いで、「新聞」(34.5%)、「入手していない」(20.3%)の順となった。



【問29】岡谷市の既存のスポーツ施設に対するご意見があれば、お書きください。(一部抜粋)
 (市民総合体育館、市営庭球場、岡谷球場、市民水泳プール、湖畔広場、川岸スポーツ広場、
 やまびこ国際スケートセンター(屋外リンク)について)

大項目	中項目	内容
市民総合体育館	整備・充実	市民総合体育館のトレーニングームについて。更衣室の美化・改修をお願いしたい。シャワー(東体育館)も使えるように要望いたします。(男・50歳代・勤め人)
		スワンドームでバドミントンをやっていますが、照明が暗いことがあります。(女・70歳代・主婦、主夫)
		夏場の体育館使用時の室温を下げてほしい。(男・60歳代・無職)
		夏季の総合体育館でのサッカー教室(東体育館)について。館内がとても暑く、窓開いているが換気も悪く、熱中症の心配がある。(女・40歳代・勤め人)
		市民体育館のエアコン、雨漏り修理。(男・50歳代・勤め人)
		市民総合体育館で全国大会を開催するとなると、競技者の安全を確保する上で空調設備の充実は重要だと思う。(男・20歳代・勤め人)
		市外の体育館では、ボール等の準備はない所がほとんどでした。市外の人から岡谷、諏訪方面に来ていることが多いことも聞きました。(女・40歳代・勤め人)
		体育館にある子どもが遊べる体育室がもう少し広い場所で充実するとうれしい。小さな子どもがいる家庭が親子共に気軽に体を動かせるような場所があると利用者が増えたり、親も助かると思います。暑い日が多いので室内で体を動かせるとうれしい。(女・30歳代・主婦、主夫)
		利用料金が上がっても市民総合体育館のジム施設の器具をもう少し充実させてほしい。例えばロータリートルソーなど。(男・20歳代・勤め人)
		体育館のトイレを全てきれいにしてほしい。(女・30歳代・勤め人)
		体育館のジムを、下諏訪やすわっこランドのような規模に充実できないでしょうか。(男・70歳代・無職)
	5,000人が収容できるアリーナにしてほしい。(女・30歳代・主婦、主夫)	
駐車場	プロバレーボールチームの試合がスワンドームで開催される時、駐車場が少ない。(女・30歳代・主婦、主夫)	
利用方法	体育館のネット予約導入(男・30歳代・勤め人)	
市営庭球場	整備・充実	市営庭球場の北側6面を人工芝にしてもらいたい。(男・80歳以上・無職)
		庭球場の人工芝コート6面の工事を楽しみにしています。(女・50歳代・勤め人)
		庭球場の人工芝の張り替えに尽力いただき、大変感謝している。(男・30歳代・勤め人)
岡谷球場	整備・充実	市営球場に関して、硬式ボールを使用する大会の開催ができるようにしてほしい。是非検討を願う。(男・60歳代・自営業)
市民水泳プール	整備・充実	水泳プールは狭くて古い(すわっこランドへ行ってます)。(男・60歳代・勤め人)
		市民プールの25mプールの水位をもう少し下げてください。水中ウォーキング時に歩きにくいので、あまり利用できないです。(女・30歳代・勤め人)
		自分が子どもの頃は、市民プールへ行くことがひとつのイベントでした。昔のように屋内、外と利用できたら楽しいのになあと感じます。この辺にプール施設がないので余計に思います。(女・40歳代・勤め人)
		市民プールは、子どもが利用しています。設備も良いと話しています。(女・40歳代・その他)

大項目	中項目	内容
市民水泳 プール	整備・充実	屋外プールのスケートボード等に整備、全体をイベント会場として利用。 (男・70歳代・無職)
	バリアフリー	将来は少し暇を見つけて泳ぎたいと思いますが、体に障がいを持っています。 更衣室はどうなのかという心配があります。(女・70歳代・勤め人)
	利用時間	市民プールの利用時間が夏季の期間が短い。昨今、梅雨明け前より暑いので、 保育園や小学校でプールが開始される時期(6月後半)には午前から開場して もらいたい。園児は午後お昼寝してしまうので、午前から開けてほしい。 (女・60歳代・勤め人)
		市民プールに子どもと行きたいのですが、昼寝の加減もあり、午前中に行きたい です。開館時間を長くしてくださると、もっと手軽に通えるのですが。 (女・30歳代・勤め人)
	その他 意見・要望	市民プールはなくさないでほしい。市民プールでの水泳教室は続けてほしい。 (女・60歳代・勤め人)
		孫が水泳教室に行く時があり施設を見たことがありました。大いに利用してほ しい。(女・70歳代・主婦、主夫)
		学校のプールの老朽化が気になります。今後、市民プールでの授業などに移行 できればと思います。(女・40歳代・勤め人)
湖畔広場 川岸スポーツ 広場	環境美化	野球をやる場所(湖畔広場、川岸)なのに草が多すぎる。あれでは危ない。 (男・20歳代・勤め人)
		川岸スポーツ広場について。木が伸びすぎている、周りが汚い。もっときれい にして。(女・70歳代・主婦、主夫)
	備品	グラウンド整備するトンボが古い。(男・20歳代・勤め人)
やまびこ国際 スケートセン ター	経営管理	維持していくことも大変かと思いますが、特にスケートセンターの継続維持を 望みます。(男・70歳代・自営業)
		やまびこ国際スケートセンターについて、広報などで老朽化などにより維持が 難しいと拝見しましたが、是非経営を維持していただきたいと思っています。 以前は小学校の冬の体育といえばスケートでしたが、今は低学年で年3回、 高学年では年に1回程度です。子どもの頃に経験していたからこそ、大人にな ってからも行ってみようと思いますし、子どもがスケートをしたいと言えば、 自分もやってみようと思う保護者の方も多くいらっしゃると思います。小学生 は滑走料が無料であることを広く伝え、スケート教室の回数を増やすなどして、 ぜひ維持していただきたいです。(女・40歳代・自営業)
		屋内リンクの利用者が減っている現状に加え、多額の維持費がかかっていると 聞いたことがある。ニーズを把握し、適切な管理計画のもと対応していただ きたい。(男・30歳代・勤め人)
		国際スケートセンターは利用者が増えてこないようなら、廃止もやむを得ない と思います。温暖化が進んでいる中で氷をつくるのに温暖化を更に進めてしま うこととなります。(女・50歳代・勤め人)
		スケートリンクの維持管理については、高額な管理費が必要となるが、施設数 が少なく選手にとっては替えがきかないものであることから、施設を所有して いる岡谷市や茅野市のみが負担するのではなく、諏訪広域での維持管理を検討 してみてはどうか。(男・20歳代・勤め人)
	有効利用	屋外リンクの夏期の使用。(例)仮設の陸上レースに使用など。稼働性の低い ものは統合する(コスト減)。(男・80歳以上・無職)
	やまびこ屋外リンクは山にあるので、夏はフェスのような音楽イベントを やっても面白いと思う。(男・40歳代・勤め人)	

大項目	中項目	内 容
やまびこ国際スケートセンター	その他 意見・要望	今はあまりやりませんが、スケートセンターが合宿等で使用できず、一般に施設利用の機会を開放している雰囲気がありませんでした。 (男・60歳代・勤め人)
施設全般	整備・充実	建物がきれいで使いやすいようにいつもメンテナンスできていれば良いのではと思います。(女・50歳代・主婦、主夫)
		財政上大変ではあるが、順次手入れは必要。(男・80歳以上・無職)
		施設の老朽化が気になります。まず、トイレから来場者にアピールできるように、シャワートイレにする等を進めてほしい。(男・80歳以上・勤め人)
		上記の施設のほとんどが古い、整備ができていない、使用する備品、器具が古いか傷んでいます。特にやまびこ国際スケートセンター(屋外)は地面が剥がれていて利用しづらいと思います。立派な施設なのにもったいないと思いますと同時に利用客が少ないのもっとPRしてほしいです。 (女・60歳代・勤め人)
		諏訪湖沿いの公園を歩いていると、バスケットボールの施設が人気があるようで、使えず、諦めている子どもたちを見たので、バスケットボールをする施設(公園のゴール)を増やしてあげたらいいなと思いました。 (女・40歳代・その他)
		諏訪地域には芝のサッカー場がないので、子どもたちのためにも芝でサッカーのできる環境を整えてほしいと思います。(女・40歳代・勤め人)
		野球ができるグラウンドがもう一つ欲しい。(男・60歳代・無職)
		市民総合体育館と湖畔広場付近へ、諏訪にある「すわっこランド」と同様のスポーツジムと温泉、プール施設を兼ね合わせたスポーツ施設の整備、充実。 (男・40歳代・自営業)
大会・合宿等の誘致	県及び全国大会の誘致、有名スポーツ団体の合宿等誘致 (男・40歳代・勤め人)	
経営管理	スポーツ施設が市内に分散した形で運用されていることから、スポーツ公園として集中活用できるような環境が望まれる。管理費用を抑え、活用しやすくすることが必要に思われる。(男・70歳代・勤め人)	
	運用する施設を厳選し、少しでも財政的な負担を減らしてもらいたい。スケートはやめてもいいと思う。(女・40歳代・勤め人)	
	予算の許す限り改修、また古い施設は解体、予算がなければ使わない。 (男・50歳代・勤め人)	
	市の施設じゃないと運営できないではなく、地域、個人経営の会場でも運営できることも良いのでは。大きな市じゃないので、近隣の市町村と協力して施設に費やす財政を節約しても良いと思っている。(男・30歳代・勤め人)	
	施設の閉鎖はとても簡単なこと。作ることと維持が大変。第1は子どもを育てる(関心を持つ・やってみる)。第2.そのための指導者の養成(組織と技術指導者)(男・70歳代・無職)	
利用方法	自販機のキャッシュレス対応(男・50歳代・自営業)	
	施設の使い方、申し込み方がもっと簡単でわかりやすかったら良いと思います。 (女・50歳代・勤め人)	
教室・イベント	誰でも簡単にできる体操(リズム)教室があれば、通いたい。 (女・60歳代・勤め人)	
	夜に活動できるものを増やしてほしい。ヨガやピラティスなど昼間の時間帯に設定されていることが多く、参加したくてもできないため。 (女・50歳代・勤め人)	

大項目	中項目	内容
施設全般	教室・イベント	子育て中は各施設ともに行く機会もあったが、今はほとんどないです。ステキなイベントや教室等あったら行きたいと思う。仕事があり、主婦のため平日の夜は無理なので、休日。(女・50歳代・勤め人)
		全体的に古くなってきて、子どもなどが活用する機会も減っていると思うので、少しでもきれいにしているいろいろなイベントを開いていけば良いと思います。(男・20歳代・勤め人)
		各施設案内の特集かなんかを広報おかやでやっていただき、簡単に親子やシニア、ファミリー、あるいは一人だけでも気軽にスポーツに参加できるイベントを企画していただければと思います。(女・50歳代・勤め人)
	交通手段	車がないから歩いていくには不便でなかなか運動ができない。近場を歩いて頑張っております。(女・80歳以上・無職)
	情報・広報	施設の使用状況、目的などを配信してほしい。(女・60歳代・勤め人)
		スポーツ施設によってはどのように予約するか、料金等わからないところがあるので、全てを具体的にわかりやすく、一覧にして表示するなどして知らせしてほしいです(若い人はスマホなどで見たりするでしょうが、高齢の人にも誰にでも簡単にわかるようにお願いします。)(女・50歳代・主婦、主夫)
		広報おかやに情報が少ない、市のWeb(ホームページ)で探しにくい。(スポーツに限ったものではない)(男・60歳代・勤め人)
	その他 意見・要望	子どもから高齢者まで、幅広く利用しやすいような環境などの整備が必要かと思えます。(女・50歳代・勤め人)
		子どもの頃や学生時代には利用したことがあっても、社会人となると時間に余裕がなくなったりすることで利用が減ってくるかと思えます。大人でも利用しやすい時間や雰囲気づくりが大切と感じます。(女・20歳代・勤め人)
		公園をスポーツに利用したい(トレーニング等)。(男・70歳代・無職)
いつもお世話になっています。 (女・20歳代・勤め人(パート、アルバイトを含む))		

【問30】 岡谷市のスポーツ行政全般について、感じることをご自由にお書きください。(一部抜粋)

大項目	中項目	内容
行政	財政問題	魅力ある(人が集まる)スポーツ施設、最低でも県下一番。人口減少と高齢、市財政を総合的に検討する必要があると思います。(男・70歳代・無職)
	職員への要望	高齢者にスポーツを通じて健康維持につながる形を、「提供してやっている」といった形ではない導入の仕方を実践していただきたいです。 (男・60歳代・勤め人)
	広報	スポーツに限ったことではないが、ふだん使っていない人にとって情報が少なく探しにくい。広報とかインターネットを活用してほしい。 (男・60歳代・勤め人)
		興味のない人には全然情報が届くことはないと思うので、もう少し積極的なアピールが必要だと思います。(女・40歳代・勤め人)
	長野県内にはプロのスポーツチームもあります。そのようなチーム(例えばサッカー、野球)との触れ合いを通じて、もっと岡谷市をアピールしても良いのでは、と思います。(女・50歳代・勤め人)	
	スケートリンク、プール、テニスコート、体育館や武道場など、とても施設が充実していること、スポーツをするチャンスが多いことを市内はもちろん、近隣市町村にも発信できたら良いと思います。(女・40歳代・自営業)	

大項目	中項目	内容
行政	広報	PR 不足(男・50 歳代・自営業)
	支援	いろいろ企画してくれていて有り難いです。これからも市民新聞を利用して広報してください。(女・70 歳代・無職)
		高齢者向け支援がより充実すると有り難い。(男・50 歳代・勤め人)
		子どものスポーツの体験が親の収入などの格差により、大きな違いが生まれなないように、公的な事業の充実を願います。(女・70 歳代・勤め人)
		広域のプロスポーツ観戦の提供(チケットの割引等)(男・60 歳代・無職)
	費用	スポーツ行政に対する費用を(スポーツは人を育てるを基に)計画的に増していく。先々を見つめて子どもを育ててください。(男・70 歳代・無職)
		文化、芸術の会にも予算を増額してください。スポーツ9:文化1、10分の1くらいか。バランス考えてください。(男・70 歳代・無職)
	その他	全般的に停滞していると思う。(男・60 歳代・無職)
		使わせてあげるという発想を感じる。利用者が一番ではない。(男・50 歳代・勤め人)
		スポーツで健康促進もわかるが、公約の給食費無償化も進めてほしい。(女・40 歳代・勤め人)
		市の人口増につながるスポーツ振興をお願いします。(男・50 歳代・勤め人)
		諏訪圏で協力して盛り上げていくのがよいと思います。頑張ってください。(女・20 歳代・勤め人)
		特にシニア、介護予防にもつながりますが、閉じこもりが一番よくないと思います。介護福祉課との協同も必要だと思います。(男・30 歳代・勤め人)
		岡谷市がスポーツ推進により、健康・体力向上のほか、何を目指しているのかよくわからない(発信していると思うが)。また本来のスポーツは自発的に行うもの、年とともに減っていくのは仕方ないこと。(男・70 歳代・無職)
		今後も頑張っていたきたい。(男・30 歳代・勤め人)
		維持管理が大変だと思いますが、頑張ってください。(女・10 歳代・学生)
無難にまとめず、とがった方向性が必要かと思う。(男・40 歳代・勤め人)		
健康	高齢化	高齢になるとスポーツに関わる機会が少なく、筋力が衰えたりしがちです。でもなかなかスポーツ施設に出掛けたりもできません。自宅でもできる体力トレーニング等の情報を更に増やしていただけると有り難いです。(女・60 歳代・自営業)
		高齢者ができるようなこと、近所にあると良いと思います。プールなども泳ぐことも大切ですが、健康になる意味とか注意とかわかることが大切な。(女・70 歳代・勤め人)
	健康維持	スポーツというと、若い人でないとできないと思うので。高齢者が増えてゆく時代、家に居る年寄りが、たとえ一つでもNHKでやっている何回かの(毎日)手軽にできる体操なんかも、年寄りにはスポーツとしてシルキーチャンネルで流していただきたい(動かすときに行う、呼吸と体の動き等含めて)。(女・80 歳以上・無職)
		日常の健康づくりと、大会等出場とに分けて切れ目なく進めてほしい。(女・80 歳以上・無職)
		私は今、ねこまぬ体操に行っています。送迎をしてもらい大変有り難いです。これからも身体の健康のため続けたいと思います。(男・80 歳以上・無回答)
		若い人たちがスポーツに親しむことは健康の面でもとても大切なこと、より良い方向に向くことを願っています。(女・80 歳以上・無職)

大項目	中項目	内容
健康	健康維持	やらなすぎるので、もうちょっと身体を動かす機会を持ちたいとは思っている。 (女・50歳代・勤め人)
	活動制限	体調を崩してしまい、いろいろの面でできなかった一年でしたが、スポーツを見たり聞いたりはできます。自身ももう少し気力を出していきたいと思っております。静かな岡谷でなく明るい岡谷にしてほしいです。(女・80歳以上・無職)
	部活動	中学の部活での先生の負担が大きいとの問題で、指導者を一般に切り替えていく話はあるだけ早くやってほしいと願う。(無回答・80歳以上・その他) 中学校の部活の地域移行が責任転嫁のように感じています。学校名で大会に出たり、団体戦が学校名であるのに不思議に思います。個人名ならば移行しても良いと思います。指導者が責任を取ることは大変だと思います。クラブを作るべきかもしれません。(男・80歳以上・主婦、主夫)
施設	安全面	予算のこともあると思うが、各施設場所、用具など老朽化してきている所をよく見に回ってほしい。安全にスポーツを楽しめるようお願いいたします。 (女・60歳代・自営業)
	活用不足	ジョギングロードやスケートセンターが十分に活用されていない印象。諏訪地区の他市町村に比べジュニア育成が低調と思われる。(女・60歳代・勤め人)
	施設の整備	各スポーツの施設は、岡谷にはあり、スポーツ協会もしっかりしているので、施設の整備、充実をさせて広域な大会もできるようになればいいと思います。 (男・70歳代・無職)
		子どもたちが使える芝生のサッカーコートを作ってほしい。 (女・30歳代・勤め人)
	ジムなどの充実(男・50歳代・勤め人)	
スポーツ 振興	負担	高齢者の仲間で体操教室をしているのですが、会の運営を担う人がいなくなり、会が消滅してしまう経験をしています。特に会場の場所取り、特にイルフは3か月前の手続きが大変です。介護保険の世話になる前のほぼ健康な人たちへの手助けを願いたいと思います。(女・80歳以上・無職)
	環境づくり	年長者にもスポーツの機会を。(女・60歳代・主婦、主夫)
		健康づくりとスポーツがうまくジョイントできる仕組みができると、多くの市民が参加しやすくなるかと感じます。(女・60歳代・主婦、主夫)
		運営・管理等に課題はあると思いますが、いつでも気軽にスポーツが楽しめる環境づくりを主にお願いでければ。(女・70歳代・無職)
		市民が楽しく体を動かせる、そこに焦点を当てるべき。(男・50歳代・勤め人)
		社会人が気軽にスポーツをする環境が整ってないと思います。また、仕事が忙しくてできないこともあり、理想と現実のギャップは大きいかなと思います。あえて、やる時間を作る努力も人それぞれ大事なことだと思います。このようなことをアンケートに書くことにより、考える機会を得ることができ良かったと思います。(女・60歳代・その他)
	高齢者が興味を感じ、参加したいと思える、そして参加(一人でも)できるやさしさがあるといいですね。(男・70歳代・主婦、主夫)	
大会	各競技大会が行われるも、スポーツ団体、各地区公民館活動的なもので、団体等に属していないと参加ができないことが多い。誰でも参加型の市民大会等が開催できたら。(女・70歳代・無職)	
イベント	市民参加型のイベントなど行ったらいいと思います。頑張ってください。 (男・50歳代・勤め人)	
	岡谷市全体で盛り上がるようなイベントや大会があればいいかと思います。 (男・20歳代・勤め人)	

大項目	中項目	内 容
スポーツ 振興	イベント	地域のみで、体育競技を行おうとしても、なかなか参加しづらい。トップアスリートを招致し、イベントを行い、合わせて地元選手との交流イベントの開催と合同スポーツをイベントの際に行う。特に小中学生対象（人格形成）とする。「未来からの預かり者を、きちんとした形にして未来へ還す」期待しております。（女・40歳代・自営業）
		メダリストや中央大会で活躍していた人、いる人を活用し、市民との接点を作り、スポーツ拡大に努める。（男・80歳以上・無職）
		各区対抗にウィンタースポーツもやってみてはと思う（スノーボードなど）。（男・40歳代・勤め人）
		たくさんの教室やイベントが開催されていますが、大勢の方に参加してもらいようになるといいと思います。職員の皆さん頑張ってください。（男・50歳代・勤め人）
		子ども、シニアのスポーツイベントはあるが、中間層のイベントがなかなかないと思います。（女・40歳代・勤め人）
	関心の低下	70歳になるとスポーツに接することがなくなり関心が薄れる。（男・60歳代・自営業）
		仕事、家事、育児に毎日忙しくスポーツに関心を寄せる余裕と体力、財力がありません。（男・40歳代・勤め人）
	スポーツ 教室	昼間の講座が多いので、もう少し夜間の講座が増えると行かれる機会が増えるかもしれない。（女・50歳代・勤め人）
		子どもの体操教室やバスケットに参加させていただいたことがあります。値段も有り難くいろいろな経験ができて良いので引き続きいろいろな教室をやってほしいです。（女・30歳代・主婦、主夫）
		発信が足りないように思います。スポーツ教室も一部の方しか参加できない日程。気軽にスポーツに触れられる機会も少ないので充実してほしいです。（女・50歳代・勤め人）
広報おかげで、いくつか筋力アップや体力向上の講座に参加したことがあります。気分転換にもなりとても楽しいのですが、私が参加できる条件が、子どもがまだ小さく親に預けなくてはいけないこと（旦那は仕事終わりが遅くワンオペです）と、仕事が忙しいことから、開始時間が19時以降で、回数が少ないと参加できません。私に限らず同じような気持ちの方は多いのではないかと思います。ヨガやピラティスなどもやってみたいのですが、平日の日中だと参加は難しいです。開講時間や頻度をご検討いただけるとうれしいです。（女・30歳代・勤め人）		
	小学生からのスポーツ体験はあるが、未就学児のスポーツ体験できる場が欲しい。（女・30歳代・勤め人）	

はつらつ岡谷スポーツプラン
(第3次岡谷市スポーツ推進計画)

発行日
令和7(2025)年3月

発行
岡谷市教育委員会

編集
岡谷市教育委員会スポーツ振興課

